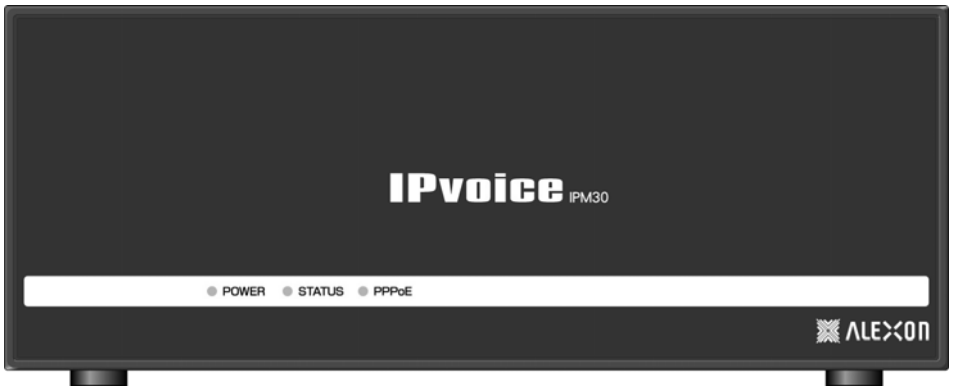
IPM30

取扱説明書



ALEXON

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、正しくご使用下さい。

■絵表示の説明

表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される場合。

⚠警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合か、軽傷または、物的損害※が発生する頻度が高い場合。

⚠注意：取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険性が想定される場合、ならびに物的損害※のみの発生が想定される場合。

※物的損害とは、家屋家財及び家畜ペットに関わる拡大損害を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。

△-クは、危険、警告を含む「注意」を示しています。

左図の例は、「特定しない一般的な注意、警告、危険の通告」を示しています。

⃠ マークは、してはいけない「禁止」を示しています。

左図の例は、「分解禁止」を示しています。

● マークは、必ず実行していただく「強制」や「指示」を示しています。

左図の例は、「差込プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

輸出する際の注意事項

注意　本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内向けの製品です。海外の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。あらかじめご了承下さい。

This Unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご注意

（1）　本書及び本製品の内容の一部又は全部を無断で複写、複製することを禁じます。

（2）　本書及び本製品の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。

（3）　本書及び本製品は内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら、ご連絡下さい。

（4）　本製品（ハードウェア、ソフトウェア及び関連文書）を運用した結果については、（3）項に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

（5）　本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電時の外部要因によって異常な課金が発生や、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純正経済損失につきましては、いっさいその責任を負いかねます。あらかじめご了承下さい。

（6）　設定値を保存中に停電が発生した場合など、設定データが異常になることが有ります。その場合は再起動時に全ての設定値を初期化しますので、再度設定をやり直して下さい。

- INSネット64　はNTTの商標です。ドットフォンオフィスはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Windows95/98/Me/2000/XP、Internet ExplorerはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。

⚠警告

●万一異常が発生したら、すぐに電源スイッチをOFFにして電源コードを抜く！
煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないでください。
火災や感電の原因となります。このようなときには、すぐに電源スイッチをOFFにして電源コードを抜き、お買い上げの販売会社や弊社にお問い合わせください。

●AC 100V(50または60Hz)以外の電源電圧では使用しない
定格以外の電源電圧で使用しますと火災や故障の原因となります。

●異物を入れない
本機に金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
万一異物が入った場合、すぐに電源スイッチをOFFにして、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●本機付属以外の電源コードを使用しない
火災や故障の原因となります。

●分解したり改造したりしない
本体カバーをはずして内部を触ったり、本機を改造しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。
修理の際は、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●本機の近くに水や飲料などの液体、ヘアースプレーなどの可燃物の入っている容器を置かない
内部に液体や可燃性の強い気体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

●水・薬品がかからないように
引火・火災や感電の恐れがあります。

●電源コードを大切に
コードに重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
コードが損傷します。コードに傷がつくと火災や感電、故障の原因となります。
また、コードを加工したり、無理に曲げたり引っ張ったりすると、火災や感電の原因となります。コードが痛んだ場合には、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●本機を落としたり破損した場合は
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源スイッチをOFFにして、背面のコネクタをすべて抜いて、お買い上げの販売会社か弊社にお問い合わせください。

●極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない
本機は一般オフィスや家庭のOA機器と接続する用途の製品として設計されています。幹線通信機器や業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。

⚠注意

●本機は日本国内のみで使用
国外での使用は、電源電圧等の問題により、本機が故障することがあります。

●電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くと電源コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグにさわらない
ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。感電や火災、故障の原因となることがあります。

●上にものを置かない
本機の上にものをのせないでください。故障の原因となることがあります。また本機の上に乗らないで下さい。倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。
特にお子様のいらっしゃる家庭では注意をお願いします。

●電源プラグとコンセントの定期点検を
電源プラグとコンセントは長時間つないだままですと、ほこりがたまります。
そのままの状態で使用を続けますと、火災や感電の原因となることがあります。
１年に１回は電源プラグとコンセントの定期的な掃除をし、接触不良などを点検してください。

●アース端子を接地する
本機は、落雷などの影響を最小限に抑えるための落雷対策を行っていますが、必ず本機のアース端子を使って接地してください。

●お手入れのときは
本機の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください（決して、プラグやコネクタ等の外部機器接続部をこの方法で拭かないでください）。
薬品類（ベンジン・シンナーなど）は使わないでください。変質・変色する場合があります。プラグやコネクタ等の外部接続部にほこりがたまった場合は、接続先からはずし、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず、電源スイッチをOFFにして、背面のコネクタをすべて抜いてから行ってください。

●本機を長期間使用しないときは
本機を長期間使用にならないときは、電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜き、背面のコネクタを全てはずして保管してください。

●雷が鳴り始めたら、電源プラグをコンセントから抜く
落雷の恐れのあるときには、ただちに使用をやめ、本機の電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜き、背面のコネクタから接続ケーブルをはずしてください。落雷時に内部に電流が流れ込むと、本機を破壊する恐れがあります。

⚠設置に関する注意

●風通しの悪いところに置かない
本機をラック内など、密閉された場所に置かないでください。また、本機を直接積み重ねて使用するなど、本機の上にものを置いて使用しないでください。
熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。

●温度が高くなるところに置かない
直射日光の当たるところや発熱する器具の近くなど高温になるところに置かないでください。熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多いところに置かない
湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くに置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

●ラジオやテレビなどのすぐ近くに置かない
ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害が発生する恐れがあります。

●不安定な場所やお子様の手の届くところに置かない
ぐらついた台や本機より面積が小さいものの上や傾いたところ、また衝撃や振動の加わるところなど、不安定な場所やお子様の手の届くところに置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●指定以外の方法で設置しない
本機指定以外の方法で設置しないでください。
また、布等でくるんだ状態での使用もおやめください。特にビニールやゴム製品が接触している状態での使用もおやめください。火災や故障の原因となることがあります。

⚠設置に関する注意

●指定外の接続をしない
指定外の接続をしますと、火災や故障の原因となることがあります。

本機の保証について

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、弊社では設置工事・出張修理は行っておりません。

●保証期間を過ぎている場合には
修理によって使用できる場合には、ご要望によって有償で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

目次

1. はじめに ..... - 1 -

1.1. 概要 ..... - 1 -
1.2. お客様にご準備して頂くこと ..... - 2 -
1.3. 製品の構成（梱包内容） ..... - 2 -
1.4. ご利用までの流れ ..... - 3 -

2. 各部の名称とはたらき ..... - 4 -

2.1. 正面図 ..... - 4 -
2.2. 背面 ..... - 5 -
2.3. ボタン電話機（SIP フォン：IS） ..... - 6 -

3. 本機を接続するには ..... - 7 -

3.1. 接続に関する注意点 ..... - 7 -
3.2. 本機との接続例 ..... - 7 -
3.3. ボタン電話との接続（IS） ..... - 8 -
3.4. アクセスポイント及び N900iL の接続 ..... - 8 -

4. パソコン側を設定するには ..... - 9 -

4.1. WINDOWS2000 の場合 ..... - 9 -
4.2. WINDOWSXP の場合（カテゴリ表示の場合） ..... - 11 -
4.3. インターネットオプションの設定 ..... - 13 -

5. 本機を設定するには ..... - 15 -

5.1. 電源投入 ..... - 15 -
5.2. WEB 設定を使用する ..... - 15 -
5.3. リモートメンテナンスの設定 ..... - 16 -
5.4. ネットワーク設定メニュー ..... - 17 -
5.5. 設定の反映 ..... - 19 -
5.6. バージョンアップ情報 ..... - 19 -

6. 設定確認と簡単 WAN 設定 ..... - 20 -

6.1. 設定一覧 ..... - 20 -
6.2. 簡単 WAN 設定 ..... - 21 -

7. ルータ機能 ..... - 22 -

7.1. WAN 設定 ..... - 22 -
7.1.1. WAN モード設定 ..... - 22 -
7.2. PPPOE モード（WAN 設定） ..... - 23 -
7.2.1. PPPoE モードメニュー ..... - 23 -
7.2.2. 接続先設定 ..... - 24 -

7.2.3. 接続先の追加／訂正 - 25 -
7.2.4. PPPoE 接続先選択 - 26 -
7.2.5. PPPoE 接続先条件の追加／修正 - 27 -
7.3. DHCP 設定（WAN 設定） - 28 -
7.3.1. DHCP モードメニュー - 28 -
7.4. 固定 IP 設定（WAN 設定） - 29 -
7.4.1. 固定 IP モードメニュー - 29 -
7.4.2. 固定 IP 設定 - 29 -
7.5. ブリッジ設定 - 30 -
7.6. LAN 設定 - 31 -
7.6.1. LAN 設定／DHCP サーバ設定 - 31 -
7.7. セキュリティ設定 - 33 -
7.7.1. パケットフィルタ - 33 -
7.7.2. パケットフィルタ追加／修正 - 34 -
7.7.3. 不正アクセス設定 - 36 -
7.8. ネットワーク設定 - 37 -
7.8.1. DMZ ホスト - 37 -
7.8.2. ポート転送の設定 - 38 -
7.8.3. ポート転送の追加／修正 - 39 -
7.8.4. アドレスマッピング設定 - 40 -
7.8.5. アドレスマッピングの追加／修正 - 41 -
7.8.6. スタティックルーティング - 42 -
7.8.7. スタティックルーティングの追加／修正 - 43 -
7.8.8. ダイナミック DNS - 44 -
7.8.9. QoS 設定 - 46 -
8. 電話機能 - 47 -
8.1. VoIP 電話設定 - 47 -
8.1.1. VoIP 電話設定 - 47 -
8.1.2. VoIP サーバ設定 - 48 -
8.1.3. ダイヤルイン番号の追加 - 49 -
8.1.4. VoIP 電話基本設定 - 50 -
8.1.5. VoIP 電話情報 - 50 -
8.1.6. VoIP 電話接続結果 - 51 -
8.2. ISDN 設定 - 52 -
8.2.1. 代表組み設定 - 52 -
8.2.2. 代表組み設定（追加、変更） - 53 -
8.2.3. 回線番号１～４ - 54 -
8.2.4. ISDN 回線音声設定 - 55 -
8.3. アナログ電話設定 - 56 -
8.3.1. アナログ電話設定 - 56 -

9. 管理 ..... - 58 -

9.1. ルータ情報 ..... - 58 -

9.1.1. システム情報 ..... - 58 -

9.1.2. PPPoE 接続結果確認 ..... - 59 -

9.1.3. PPPoE 切断結果確認 ..... - 59 -

9.2. ログ情報 ..... - 60 -

9.2.1. システムログ ..... - 60 -

9.2.2. VoIP ログ ..... - 61 -

9.2.3. ISDN 電話ログ ..... - 62 -

9.3. システム管理 ..... - 63 -

9.3.1. PBX モード／GW モード ..... - 63 -

9.3.2. リモートメンテナンス ..... - 64 -

9.3.3. Ping テスト ..... - 65 -

9.3.4. Ping テスト実行結果 ..... - 65 -

9.3.5. パスワード変更 ..... - 66 -

9.3.6. ファームウェアの更新 ..... - 67 -

9.3.7. ファームウェア更新内容の確認 ..... - 68 -

9.3.8. 過去の更新内容の確認 ..... - 68 -

9.3.9. 再起動 ..... - 69 -

9.3.10. 設定の初期化 ..... - 69 -

9.3.11. システムの再構築 ..... - 69 -

9.3.12. 設定のバックアップ／リストア ..... - 70 -

10. PBX の設定 ..... - 71 -

10.1. ログイン ..... - 71 -

10.2. PBX 設定用メニュー ..... - 72 -

11. 内線・グループ設定 ..... - 73 -

11.1. 内線・グループ設定ウィザード ..... - 74 -

11.2. 内線・グループ設定ウィザード ..... - 75 -

11.2.1. 内線・グループ設定 ..... - 75 -

11.2.2. 内線・グループ追加／修正／削除 ..... - 76 -

11.2.3. グループ着信設定 ..... - 78 -

11.2.4. ダイヤルイン設定 ..... - 79 -

11.2.5. グループダイヤルアウト設定 ..... - 81 -

11.2.6. 内線機種選択 ..... - 82 -

12. 詳細設定 ..... - 83 -

12.1. 内線個別設定 ..... - 83 -

12.1.1. 内線設定確認 ..... - 83 -

12.1.2. 内線設定修正 ..... - 84 -

12.2. ダイヤルイン設定 ..... - 85 -
12.2.1. ダイヤルインの設定 ..... - 85 -
12.3. 回線選択テーブルの設定 ..... - 87 -
12.4. コールバック中継発信の設定 ..... - 89 -
12.5. NT ポート設定 ..... - 94 -
12.5.1. ダイヤルインの設定 ..... - 95 -
12.5.2. i・ナンバーの設定 ..... - 96 -
12.5.3. 代表ダイヤルインの設定 ..... - 97 -
12.5.4. 代表組の設定 ..... - 98 -
13. 管理 ..... - 99 -
13.1. パスワード変更 ..... - 99 -
14. 情報 ..... - 100 -
14.1. 設定情報 ..... - 100 -
14.2. ダイヤルイン情報 ..... - 101 -
14.3. 通話履歴 ..... - 102 -
15. ボタン電話機設定（IS） ..... - 103 -
15.1. 電話機自動設定 ..... - 103 -
15.1.1. 環境構築（事前準備） ..... - 104 -
15.1.2. 電話機を DHCP に設定 ..... - 105 -
15.1.3. 電話機をローカル保守に設定 ..... - 106 -
15.1.4. 電話機・内線番号の検索 ..... - 107 -
15.1.5. 電話機・内線番号の検索結果と電話機設定 ..... - 108 -
15.1.6. 電話機・内線番号の設定結果 ..... - 109 -
15.2. 電話機設定 ..... - 110 -
15.2.1. 電話機・内線番号の設定 ..... - 111 -
15.2.2. 電話機・内線番号の設定結果 ..... - 112 -
16. プレゼンスユーザ管理（ADMIN） ..... - 113 -
16.1. ログイン、ADMIN メニュー ..... - 113 -
16.1.1. ログイン ..... - 113 -
16.1.2. admin メニュー ..... - 114 -
16.2. 設定の初期化 ..... - 115 -
16.2.1. ユーザの初期化 ..... - 115 -
16.2.2. パスワードの初期化 ..... - 116 -
16.3. ユーザ設定 ..... - 117 -
16.3.1. ユーザ追加 ..... - 117 -
16.3.2. 登録ユーザ一覧 ..... - 118 -
16.3.3. ユーザ削除 ..... - 119 -
16.4. 会社電話帳設定 ..... - 120 -

16.4.1. 会社電話帳メニュー ..... - 120 -
16.4.2. 全件表示 ..... - 121 -
16.4.3. 人名検索 ..... - 122 -
16.4.4. 社名検索 ..... - 123 -
16.4.5. 新規登録 ..... - 124 -
17. プレゼンス機能（ユーザ） ..... - 125 -
17.1. はじめに ..... - 125 -
17.1.1. 概要 ..... - 125 -
17.1.2. 対応ブラウザ ..... - 125 -
17.2. ログイン・メニュー ..... - 126 -
17.2.1. ログイン ..... - 126 -
17.2.2. メニュー ..... - 127 -
17.3. 個人電話帳 ..... - 128 -
17.3.1. 個人電話帳メニュー ..... - 128 -
17.3.2. 個人電話帳・全件表示 ..... - 129 -
17.3.3. 個人電話帳・人名検索 ..... - 130 -
17.3.3.1 人名検索 ..... - 130 -
17.3.3.2 人名検索リスト ..... - 130 -
17.3.4. 個人電話帳・社名検索 ..... - 131 -
17.3.4.1 社名検索 ..... - 131 -
17.3.4.2 社名検索リスト ..... - 131 -
17.3.5. 個人電話帳・詳細 ..... - 132 -
17.3.6. 個人電話帳の登録・変更・削除 ..... - 132 -
17.3.6.1 新規登録 ..... - 132 -
17.3.6.2 変更・削除 ..... - 134 -
17.3.6.3 社名の変更 ..... - 135 -
17.3.6.4 登録情報の削除・確認 ..... - 135 -
17.3.7. 個人電話帳の全削除 ..... - 136 -
17. 4. 会社電話帳 ..... - 137 -
17.4.1. 会社電話帳メニュー ..... - 137 -
17.4.2. 全件表示 ..... - 138 -
17.4.3. 会社電話帳・人名検索 ..... - 138 -
17.4.3.1 人名検索 ..... - 138 -
17.4.3.2 人名検索リスト ..... - 139 -
17.4.4. 会社電話帳・社名検索 ..... - 139 -
17.4.4.1 社名検索 ..... - 139 -
17.4.4.2 社名検索リスト ..... - 140 -
17.4.5. 会社電話帳・詳細 ..... - 140 -
17.4.6. 会社電話帳の登録・変更･削除 ..... - 141 -
17.4.6.1 新規登録 ..... - 141 -

17.4.6.2 変更・削除 ..... - 142 -
17.4.6.3 社名の変更 ..... - 143 -
17.4.6.4 登録情報の削除・確認 ..... - 144 -
17.5. プレゼンス(在籍状況) ..... - 145 -
17.5.1. プレゼンスリスト ..... - 145 -
17.5.1.1 リスト表示 ..... - 145 -
17.5.1.2 プレゼンス・詳細 ..... - 146 -
17.5.1.3 プレゼンス・ユーザ削除 ..... - 146 -
17.5.1.4 プレゼンス・ユーザ追加 ..... - 147 -
17.5.2. プレゼンス設定 ..... - 147 -
17.5.2.1FOMA「N900iL」端末時の設定 ..... - 147 -
17.5.2.2FOMA「N900iL」のプレゼンス機能紹介 ..... - 148 -
17.5.2.3FOMA「N900iL」端末以外のプレゼンス設定 ..... - 149 -
17.6. 発信通話履歴 ..... - 149 -
17.6.1. 履歴リスト ..... - 149 -
17.6.2. 発信通話履歴・リダイヤル ..... - 150 -
17.7. 着信通話履歴 ..... - 151 -
17.7.1. 着信リスト ..... - 151 -
17.7.2. 着信通話履歴・コールバック ..... - 152 -
17.8. パスワード ..... - 152 -
17. 8. 1. パスワード変更 ..... - 152 -

18. 運用例（PBX モード） ..... - 153 -

18.1. 構成 ..... - 153 -
18.2. 構成図 ..... - 154 -
18. 3. 準備するもの ..... - 154 -
18. 4. 設定の流れ ..... - 155 -
18. 5. 設定の詳細 ..... - 156 -

19. 運用例（GW モード） ..... - 167 -

19.1. 構成 ..... - 167 -
19.2. 構成図 ..... - 168 -
19. 3. 準備するもの ..... - 168 -
19. 4. 設定の流れ ..... - 169 -
19. 5. 設定の詳細 ..... - 170 -

20. ご参考 ..... - 175 -

20.1. INS ネット 64（ISDN）の付加サービスについて ..... - 175 -
20.2. IP 電話の付加サービスについて ..... - 175 -
20.3. N900iL を内線コードレスとしてご利用する場合の注意点 ..... - 176 -
20.4. その他の注意点 ..... - 177 -

20.5. 内線機能について ..... - 178 -
20.6. 主な仕様..... - 179 -

1. はじめに

1.1. 概要

本機IPM30はNTTコミュニケーションズ（株）が提供するIP電話サービス（OCNドットフォン オフィス）に対応したIP PBXです。

SIPフォンからの発信をISDN回線またはIP網に自動で振り分け、かつISDNポートおよびIP網の両方からの着信も可能にします。

特に、本機の回線選択テーブルに電話番号を登録しますと、登録済みの電話番号で発信する時にご希望される ISDN ポートまたは IP 電話を自動的に選択します。これにより、通話品質と通話費用を発信先に応じて選ぶことができます。

また、外出していても登録した電話番号に転送させる機能（「17.5.2 プレゼンス設定」参照）や、本機を中継して外部に電話発信させる機能（「12.4 コールバック中継発信の設定」参照）を搭載しております。登録した電話番号は、本機設置先電話端末に対して通話料を本機側に負担させることができます。

その他、企業用途で使用できる電話帳、社内の人員の状況が把握できるプレゼンス機能や、無線 IP 電話端末 N900iL を使用できます。

主な特徴として、

- 本機1台でIP電話が同時に8通話 可能です。※1
- 本機で接続可能な子機（ボタン電話機IS・N900iL等）は30台迄です。
- コールバック機能により、登録電話の通話料金を本機持ちにできます。
- コールバック中継発信機能により、登録電話が本機を経由して発信し通話料金を本機（中継器）側に負担させる事が可能です。
- TELポートを2ch装備し、FAX等にご利用可能です。

※１：同時８通話するには、4ch プラン＋追加 ch サービス 4ch の契約が必要です。

ご使用上の注意

- フレックスホンはサポートしていません。(詳しくは、「INSネット64の付加サービスについて」をご参照下さい。)
- 本機に電源が入っていない時、通話ができません。
- ISDN回線契約が現在P-P接続のお客様は本機をご利用できません。P-MP接続（呼毎）に契約を変更する必要が有ります。
- 問題なく通話するには、IP網が少なくとも上り下り共　１通話あたり約180Kbps以上の回線速度が必要です。回線速度が遅いと通話品質が落ちたり通話ができないことがあります。
- IP電話でのFAXの通信は保証しておりません。ISDN回線をご使用下さい。
- 本機では一般公衆(アナログ)回線は収容できません。
- 本機にグローバルIPアドレスがご利用可能であることが必要です。
- IP電話でご利用できない電話番号はISDNポートを使って通話が可能です。(通話料は、お客様が加入している電話会社からの請求となります。)

1.2. お客様にご準備して頂くこと

本機を設置される前に、あらかじめお客様に以下のご準備を御願いします。

1．サービスを受けるための回線のご用意（詳細は、NTTコミュニケーションズ（株）提供の資料をご参照下さい）と、OCN （以後ISPと呼びます）への申し込みをお済ませ下さい。契約が完了しましたら、本機設定の際に契約書（お申し込み内容のご案内）をご用意下さい。
2．IP電話サービスを受けるために、OCNドットフォン オフィスへの申し込みをお済ませ下さい。契約が完了しましたら、本機設定の際に契約書（お申し込み内容のご案内）をご用意下さい。
3．イーサネットインタフェースを有するONUやCTU等とその取扱説明書。
4．ONUやCTU等と本機を接続のためのLANケーブル（RJ45ストレートカテゴリ5、本機付属）。
5．OSがWindos2000/XPのいずれかで、10/100BASE-T/TXLANカードを搭載したパソコン。
6．LANカードが無い場合は、LANカードをご用意の上、付属の説明書に従ってカードの取り付けとドライバーのインストールを行って下さい。
7．Web設定を行うためのWebブラウザ　Internet Explorer（6.0 SP1以降）。
8．本機とパソコンを接続するためのLANケーブル（RJ45ストレートカテゴリ5）。
9．安定動作と安全（雷等）の為のアース線。

1.3. 製品の構成（梱包内容）

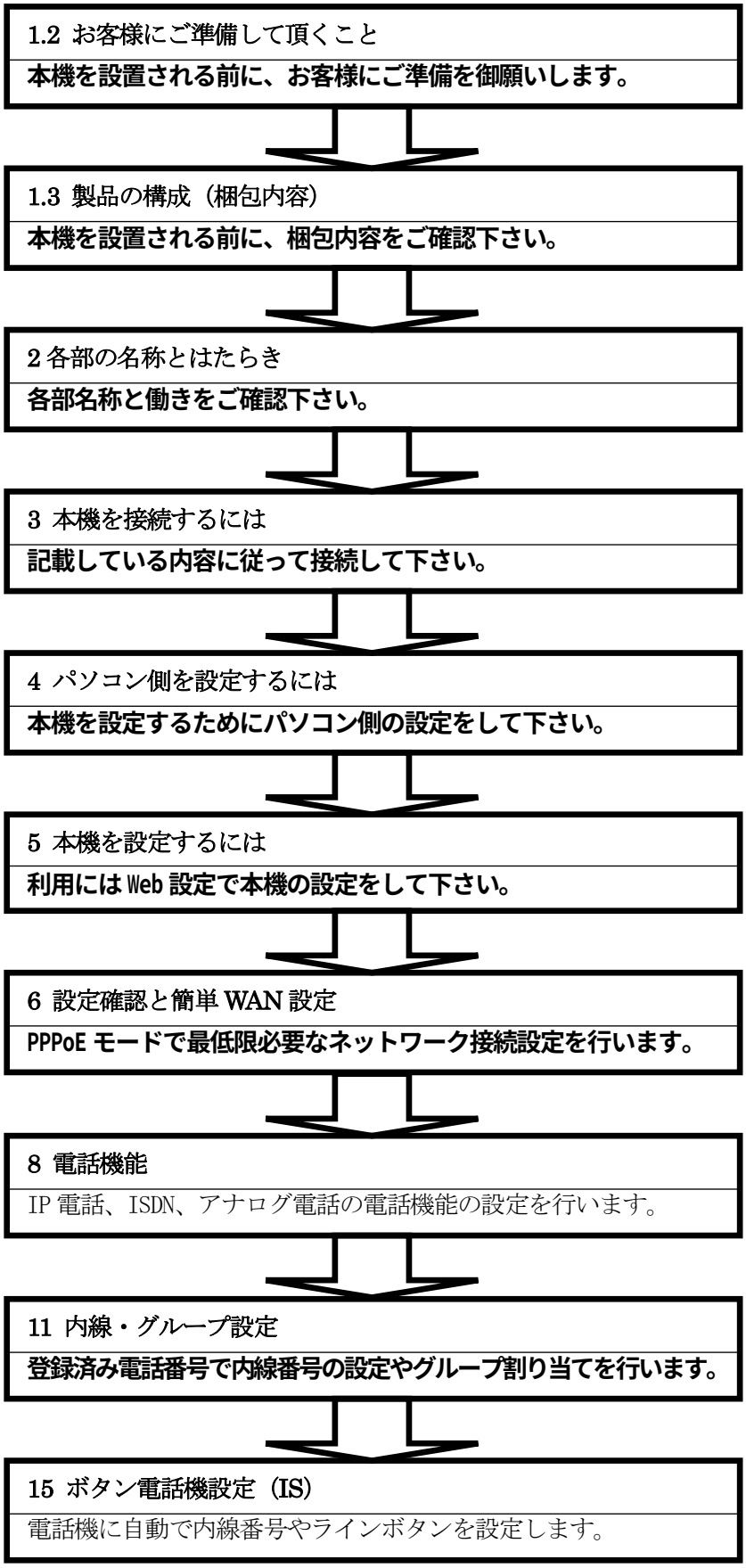
ご購入いただいた製品には次のものが含まれています。ご利用になる前に内容をご確認下さい。
万一、不足の物が御座いましたら、お買いあげの販売店までお申し付け下さい。

項目	数
IPM30本体	１台
LANケーブル（ストレート）	２本
電源コード	１本
ユーザー登録カード	１枚
取扱説明書本書（兼保証書）	本書

注意：接続に必要なケーブルは別途ご用意下さい。
取扱説明書は本機と共にご利用下さい。

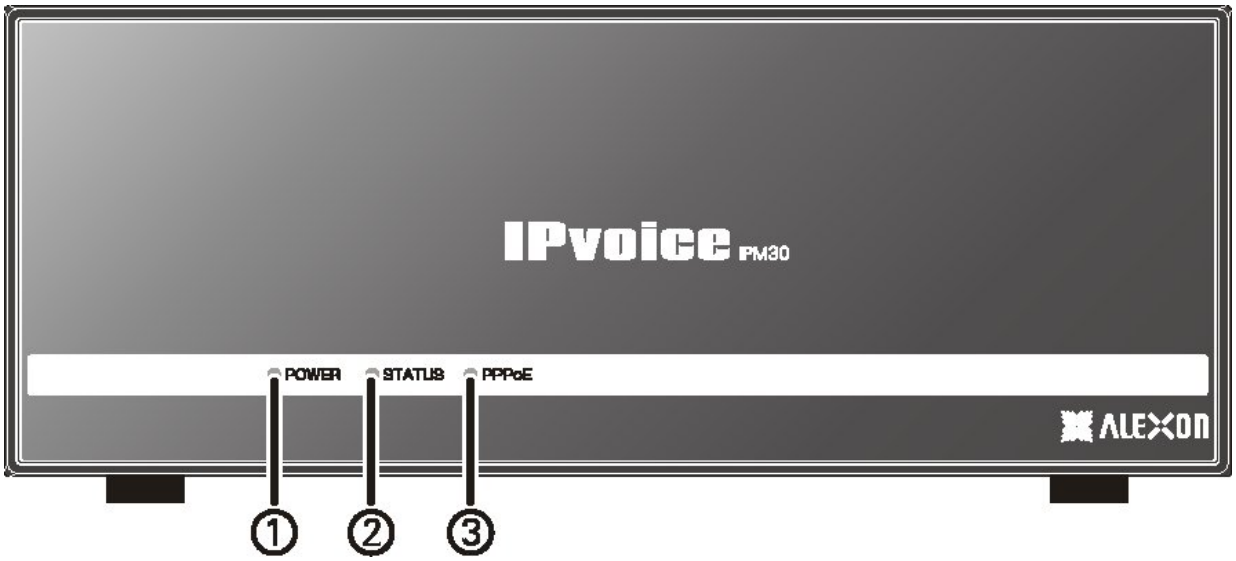
1.4. ご利用までの流れ

本機をご利用までには下記順番で各章をご確認下さい。



2. 各部の名称とはたらき

2.1. 正面図



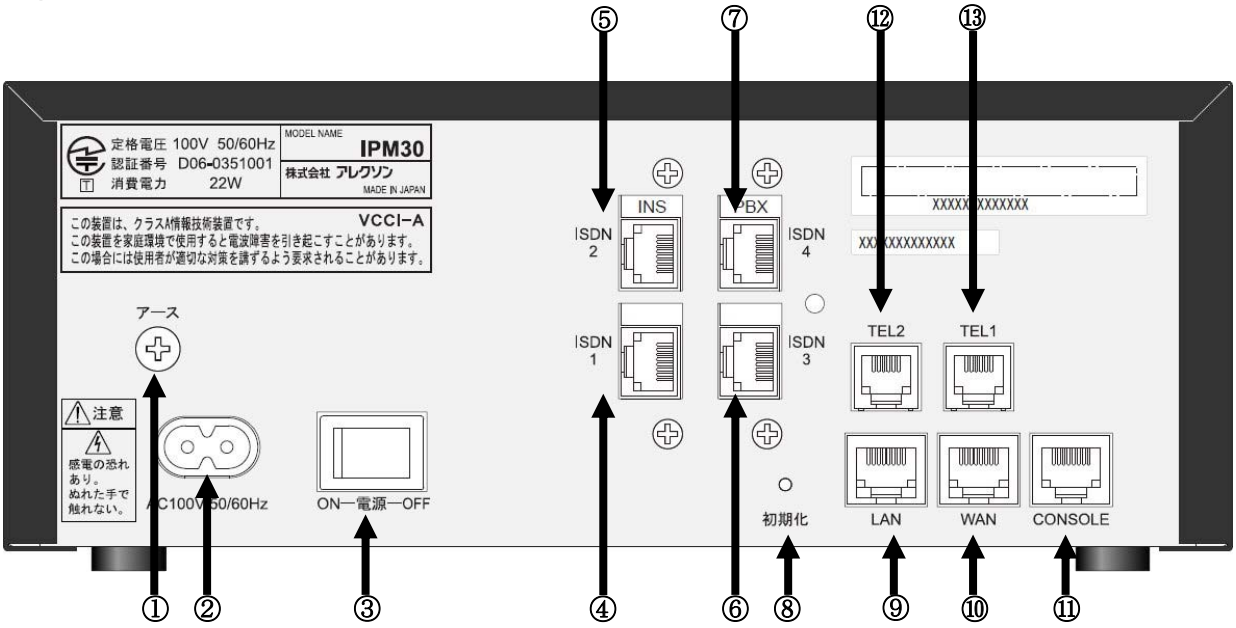
□が正常時のランプの状態です

ＬＥＤランプ名	表示状態	表示状態の内容
① ＰＯＷＥＲ	消灯	電源 OFF の状態です。
	□点灯	電源 ON の状態です。
② ＳＴＡＴＵＳ	消灯	VoIP サーバへの登録が未だの状態です。
	点滅	VoIP サーバへの登録失敗の状態です。 IP 電話の設定間違い、又は VoIP サーバが障害中です。
	□点灯	VoIP サーバへの登録が完了している状態です。 IP 電話のご利用が可能です。
③ ＰＰＰｏＥ	消灯	PPPoE の設定が工場出荷値の状態です。
	点滅	PPP 接続が未確立の状態です。
	□点灯	PPP 接続が確立している状態です。 インターネットのご利用が可能です。

ご注意

- ファームウェア更新中は絶対電源を切らないで下さい。故障の原因となります。
- 電源スイッチを ON や停電回復後、PPPoE の再接続に数十分必要な場合があります。自動的に再接続（PPPoE ランプ点灯）するまでしばらくお待ち下さい。

2.2. 背面

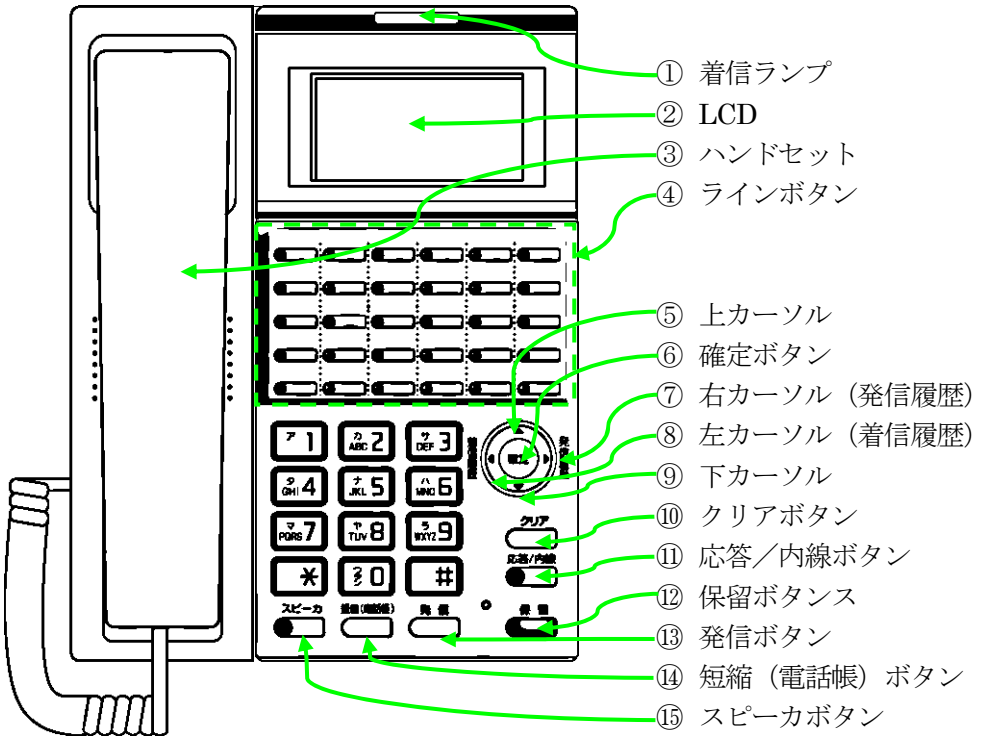


名称	使用説明
① アース端子	安定動作と安全の為にアース線を使って接地します。アース線は付属していませんので、ご用意の上、接続して下さい。
② 電源コネクタ	付属の電源コードを本機と電源コンセント（AC100V）に接続します。
③ 電源スイッチ	電源の ON／OFF を行うためのスイッチです。
④ ＩＳＤＮ１	BRI 端末等の S/T 点（RJ45）に接続します。 ※適用回線 INS ネット 64。
⑤ ＩＳＤＮ２	BRI 端末等の S/T 点（RJ45）に接続します。 ※適用回線 INS ネット 64。
⑥ ＰＢＸ	PBX（ISDN 機器）等の S/T 点（RJ45）に接続します。
⑦ ＰＢＸ	PBX（ISDN 機器）等の S/T 点（RJ45）に接続します。
⑧ 初期化スイッチ	初期化スイッチを押しながら電源を入れると、本機のルータ情報・PBX 設定・発着信履歴等を工場出荷状態に戻します。 電源投入後、約 10 秒程度押し続けて下さい。 この操作を行うと、工場出荷値に戻りますので十分ご注意下さい。
⑨ ＬＡＮ	LAN ケーブル（ストレート、RJ45）を使って SIP フォン又は HUB と接続します。
⑩ ＷＡＮ	LAN ケーブル（ストレート、RJ45）を使って ONU や CTU 等と接続します。
⑪ ＣＯＮＳＯＬＥ	専用ケーブルを使い、弊社メンテナンス用です。何も接続しないで下さい。
⑫ ＴＥＬ２	RJ11 ケーブル（中央 2 芯・電話線）を使って FAX 等と接続します。
⑬ ＴＥＬ１	RJ11 ケーブル（中央 2 芯・電話線）を使って FAX 等と接続します。

ご注意

- 電源スイッチを ON や停電回復後、PPPoE の再接続に数十分必要な場合があります。自動的に再接続（PPPoE ランプ点灯）するまでしばらくお待ち下さい。

2.3. ボタン電話機（SIP フォン：IS）



名称	使用説明
① 着信ランプ	着信時に点滅する。
② LCD	時刻、メニュー、電話番号等を表示する。
③ ハンドセット	手に持って通話する。
④ ラインボタン	外線ボタン、パーク保留ボタン、マイクボタン等などとして設定してから使う。
⑤ 上カーソル	受話音量／着信音量を上げるときやカーソルを上に移動するときに使う。
⑥ 確定ボタン	受話音量／着信音量を下げるときやカーソルを下に移動するときに使う。
⑦ 右カーソル（発信履歴）	着信履歴やメニュー表示を前のメニューに戻すときに使う。
⑧ 左カーソル（着信履歴）	発信履歴に使う。
⑨ 下カーソル	メニューを表示するときや設定を行うときに使う。
⑩ クリアボタン	電話番号入力時や設定入力時にキャンセルするときに使う。
⑪ 応答／内線ボタン	発信時や内線着信／ダイヤルイン着信に応答するときに使う。
⑫ 保留ボタン	スピーカ受話やオンフックダイヤルを行うときに使う。
⑬ 発信ボタン	短縮ダイヤルや電話帳で発信するときに使う。
⑭ 短縮（電話帳）ボタン	電話番号を入力後、直ぐに発信するときに使う。
⑮ スピーカボタン	通話を個別に保留するときに使う。

ワンポイント

- 「15.1.5 電話機・内線番号の検索結果と電話機設定」に基づき電話機に割り当てるラインボタンの設定でご利用が可能です。
- ボタン電話機のカレンダーは、本機が ISP と接続状態でボタン電話機が内線登録済みなら、自動的に登録・更新します。個別にカレンダーをボタン電話に設定する必要は有りません。

3. 本機を接続するには

3.1. 接続に関する注意点

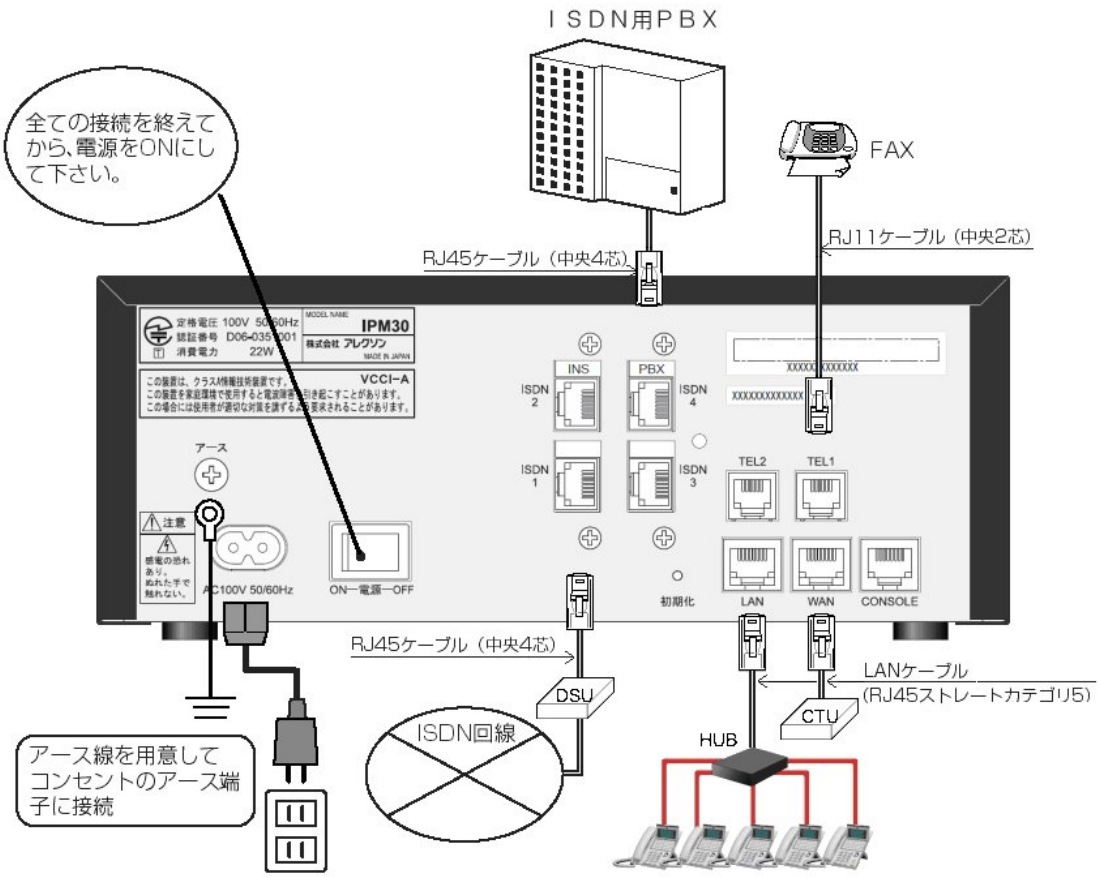
1． ONUやCTU等と接続する場合は、添付のLANケーブル（RJ45ストレートカテゴリ5）をご使用下さい。
2． ONUやCTU等と接続する場合は、ONUやCTU等の取扱説明書にてご確認下さい。
3． パソコンと接続する場合は、LANケーブル（RJ45ストレートカテゴリ5）をご使用**下さい**。
4． ISDNポートと接続する場合は、S/Tケーブル（RJ45）をご利用下さい。
5． ISDN用PBXと接続する場合は、S/Tケーブル（RJ45）をご利用下さい。

ご注意

- S/T 点終端スイッチ（TERM）は、S/T に接続機器が無い場合は ON、他の機器を接続される場合は、本機から一番遠い ISDN 機器の終端抵抗のみ ON にして、それ以外の ISDN 機器は終端抵抗を OFF に設定して下さい。

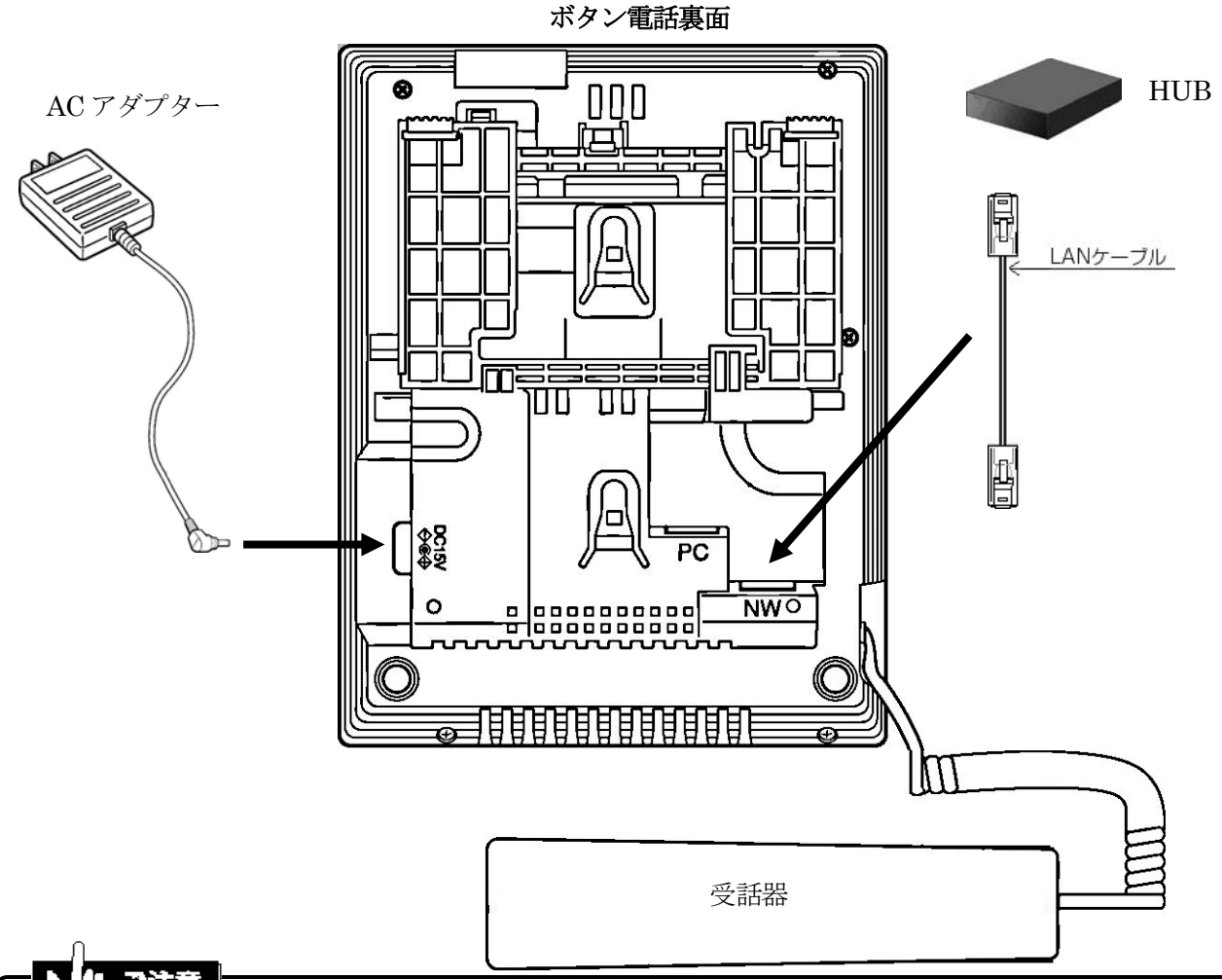
3.2. 本機との接続例

次のように接続して下さい。機器の接続は電源を OFF にした状態で行って下さい。



3.3. ボタン電話との接続（IS）

ボタン電話機のＡＣアダプター抜いた状態で、次のように接続してください。



ご注意

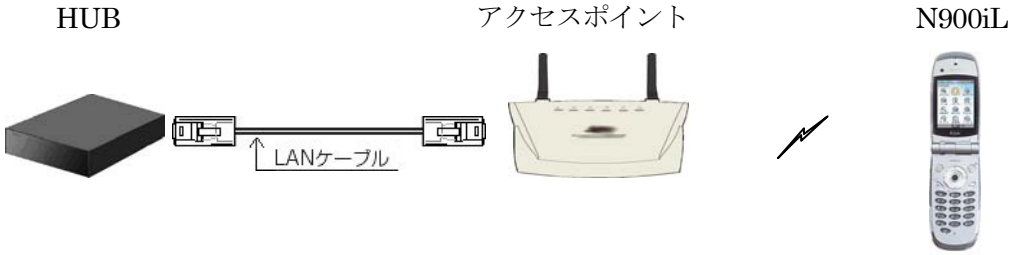
- ボタン電話裏面の PC ポートはボタン電話設定専用のポートです。データ通信用には使用できません。
- ボタン電話裏面の PC ポートに本機を接続しても通話できません。NW ポートに接続してください。

3.4. アクセスポイント及び N900iL の接続

無線 LAN を使用するためのアクセスポイントの設定と N900iL の設定が必要です。

下記項目を設定する必要が有りますので、各機に付属する説明書をご参照下さい。また、設定例として「18.5 設定の詳細」をご参照下さい。

- **アクセスポイントには、無線基本設定と識別情報の設定（SSID）、暗号化（WEP）の設定**
- **N900iL には、上記設定と SIP ID・パスワード等の設定**



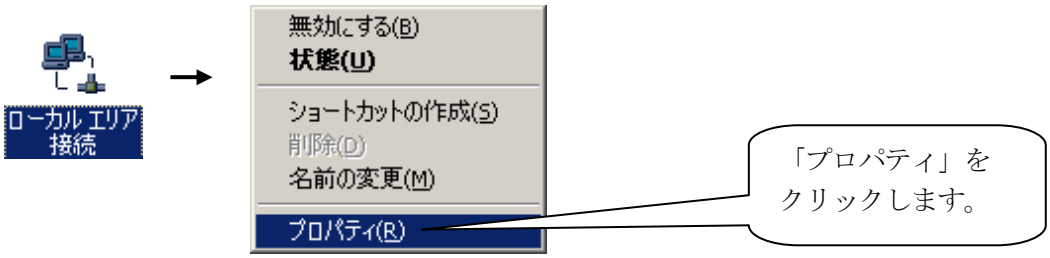
4. パソコン側を設定するには

本機とパソコンを接続するには、パソコン側に TCP/IP の設定が必要です。
ご利用の OS により TCP/IP の設定方法が異なりますので、以下をご参照下さい。

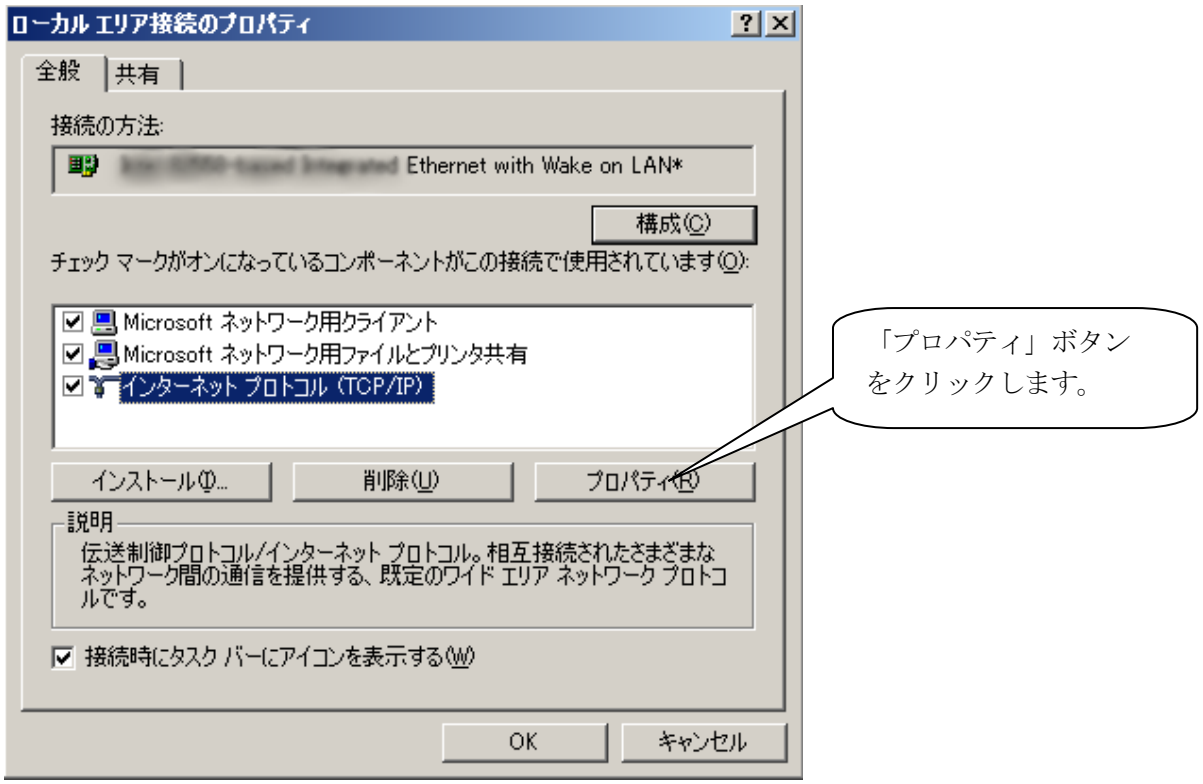
4.1. Windows2000 の場合

１．「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。

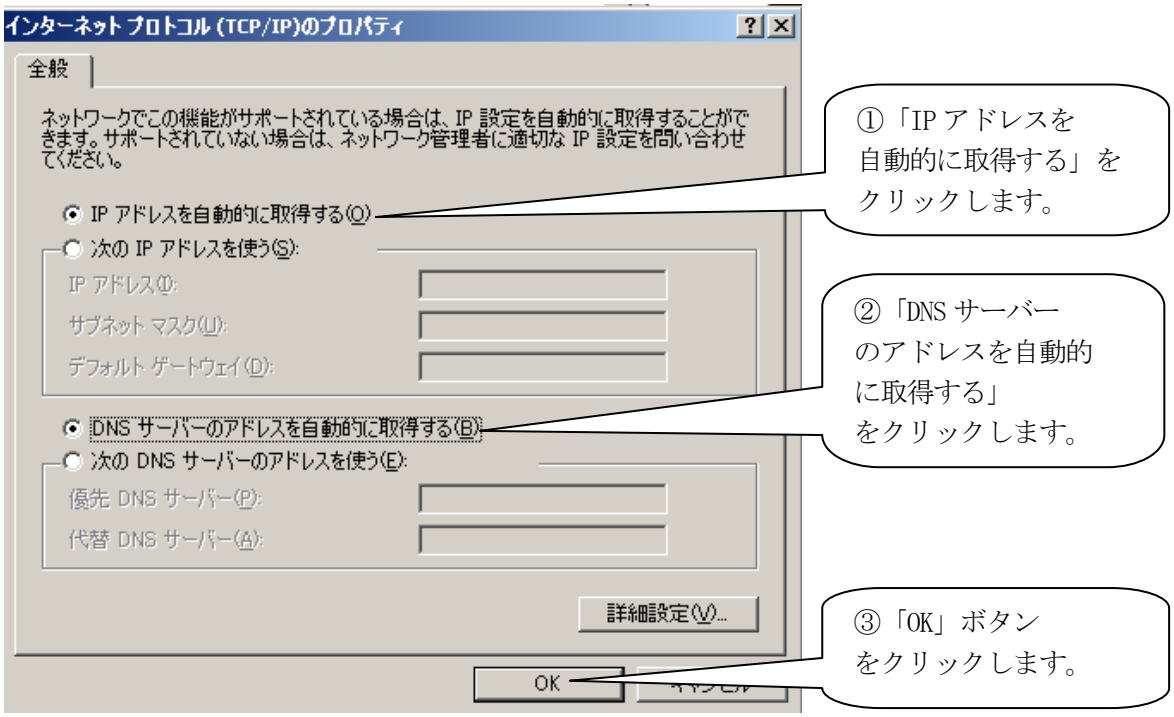
２．「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選びます。
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。



３．「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログで「全般」タブをクリックします。
「コンポーネントリスト」から「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。
「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログが表示されます。

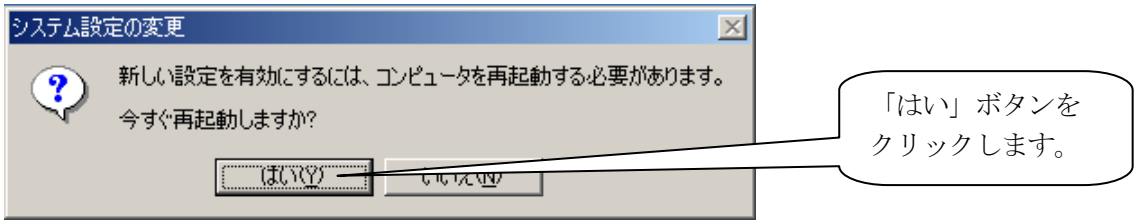


４．「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログで「IPアドレスを自動的に取得する」をクリックします。次に、「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



５．「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

６．設定を変更した場合は、次のようなメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



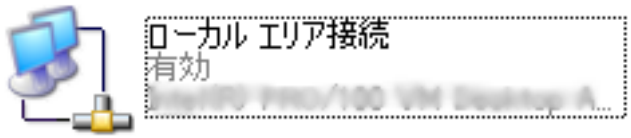
７．「4.3 インターネットオプションの設定」の設定を行って下さい。

4.2. WindowsXP の場合（カテゴリ表示の場合）

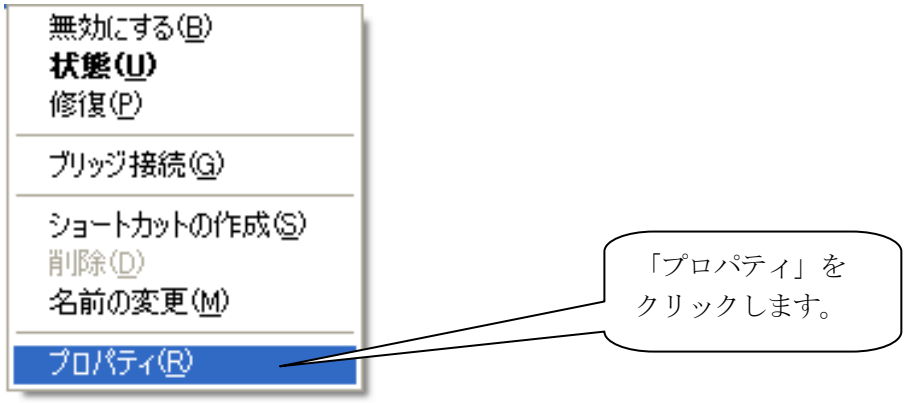
1．スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2．「コントロールパネル」ウィンドウで「ネットワーク接続」をダブルクリックします。

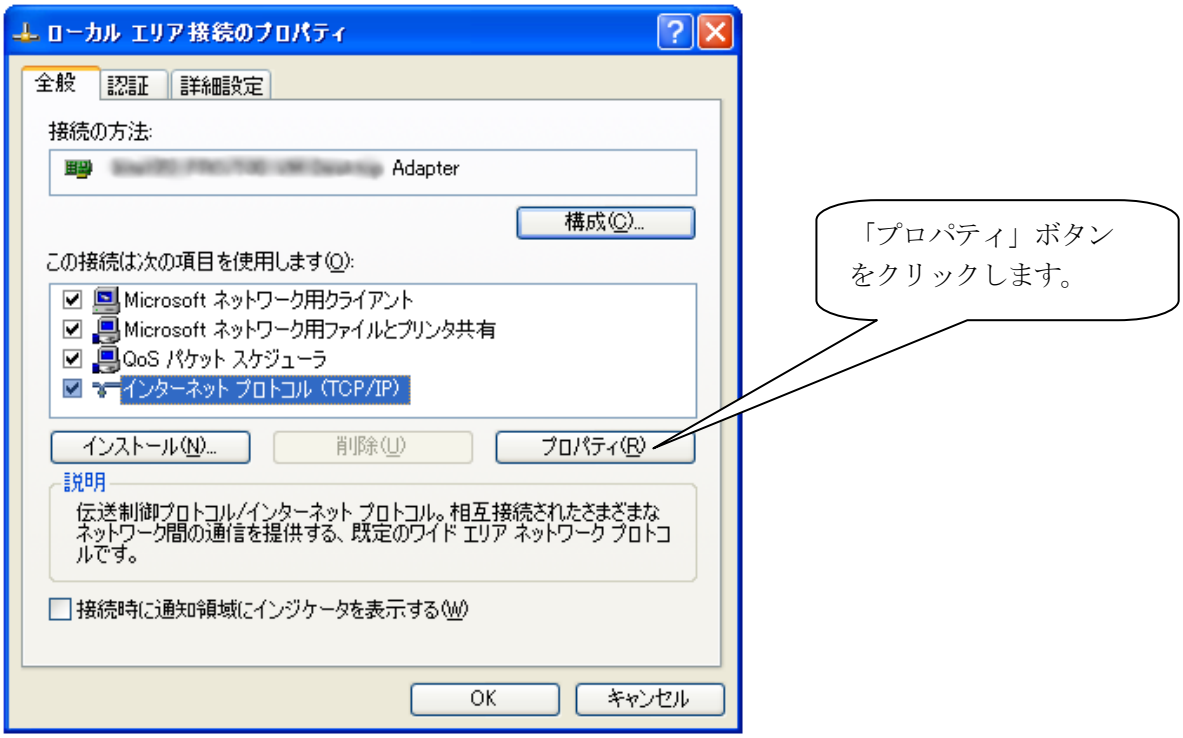
3．「ローカルエリア接続」を右クリックします。



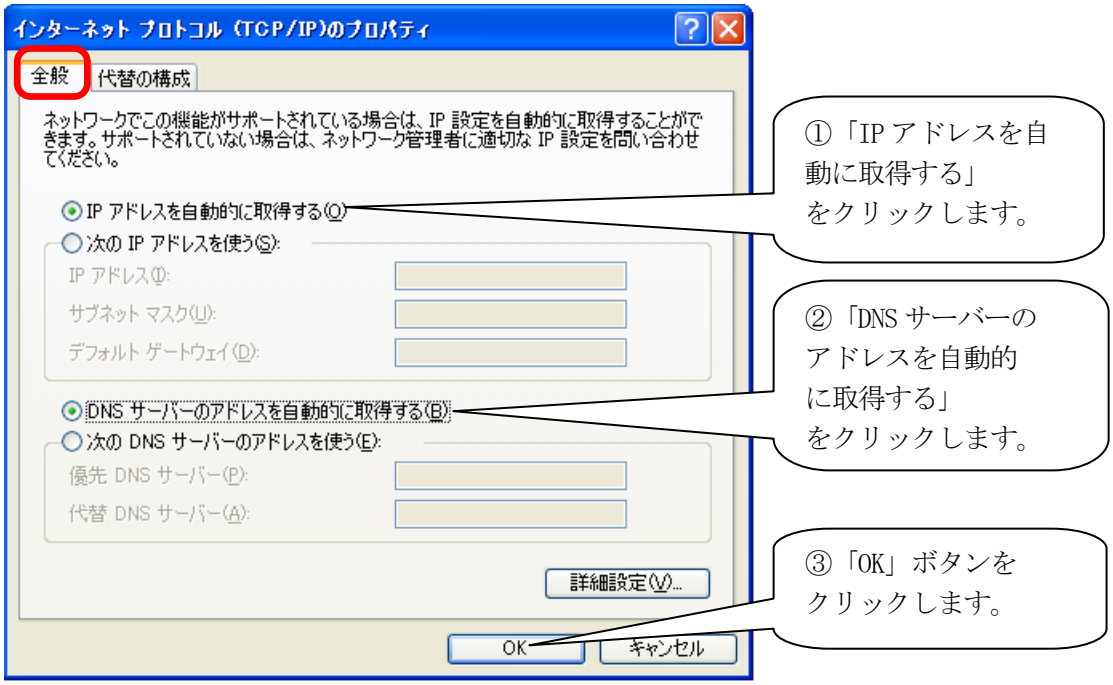
4．「プロパティ」をクリックします。
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。



5．「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログで「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。
「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログが表示されます。



6．「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」ダイアログで「全般」タブをクリックします。「IPアドレスを自動的に取得する」をクリックします。次に、「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



7．「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

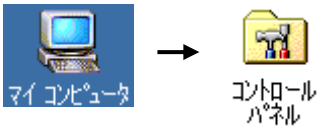
8．「4.3 インターネットオプションの設定」の設定を行って下さい。

4.3. インターネットオプションの設定

ご注意

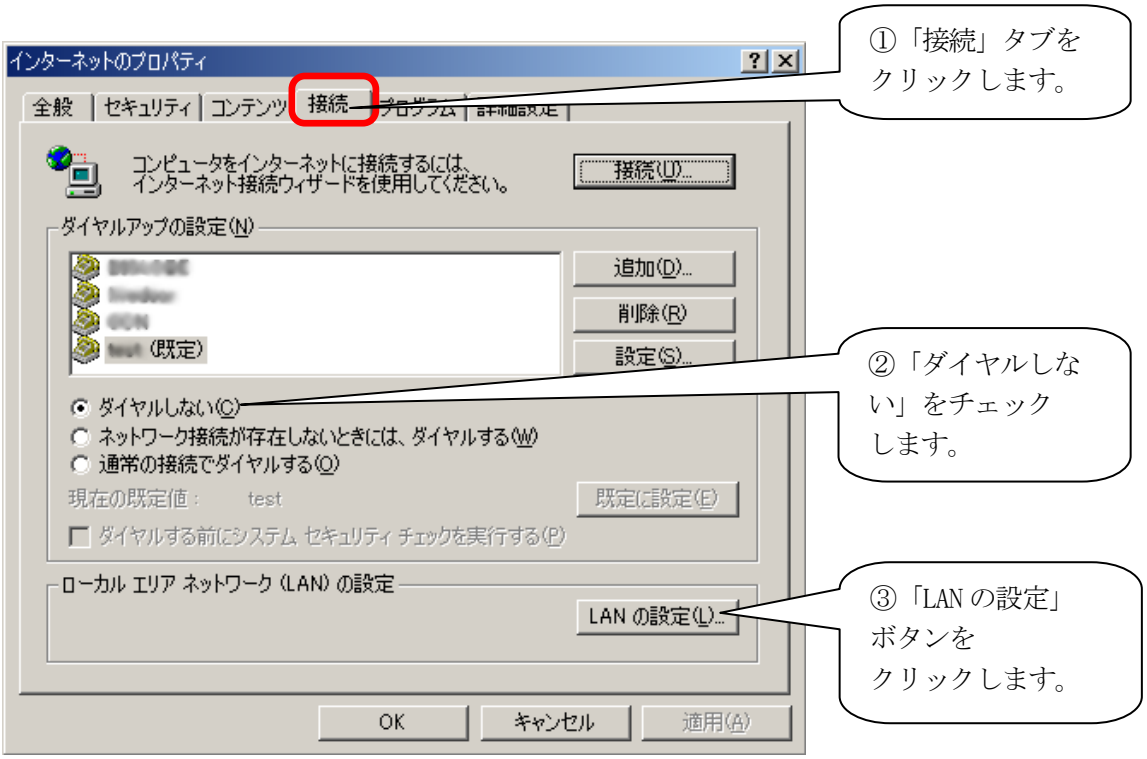
- OS により多少デザインが異なります。

1．「マイコンピュータ」をダブルクリックします。→「コントロールパネル」をダブルクリックします。

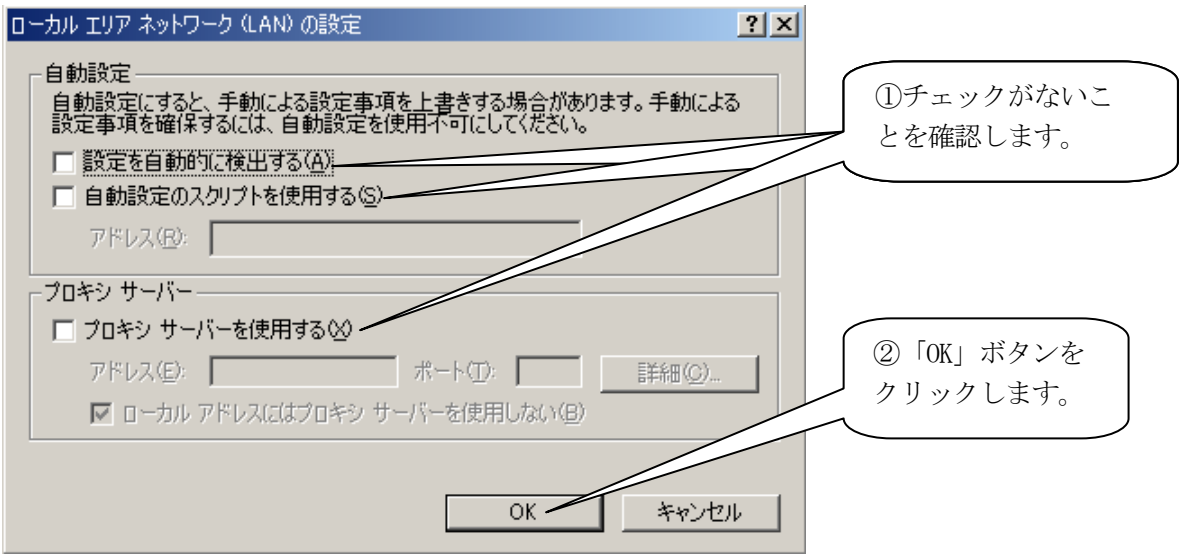


2．「インターネットオプション」をダブルクリックします。
「インターネットのプロパティ」ダイアログが表示されます。

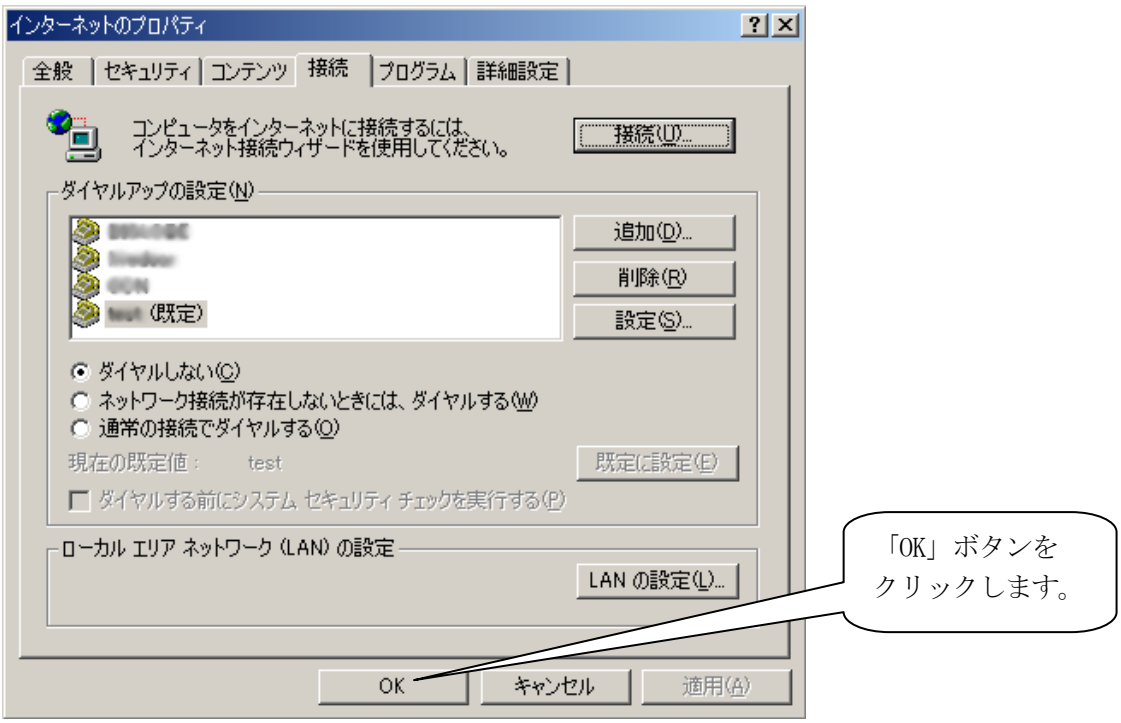
3．「インターネットのプロパティ」ダイアログの「接続」タブをクリックします。「ダイヤルアップの設定」の一覧にプロバイダ接続が有れば、「ダイヤルしない」をチェックします。プロバイダ接続が無ければ選択の必要はありません。次に、「LANの設定」ボタンをクリックします。
「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」ダイアログが表示されます。



4．「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」ダイアログでチェックボタンの全てに、チェックがないことを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」ダイアログが閉じられます。



5．「インターネットのプロパティ」ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。



6．これでインターネットオプションの設定は完了します。

5. 本機を設定するには

本機で IP 電話をご利用になるにはパソコンから Internet Explorer（6.0 SP1 以降）を使って設定する必要があります。設定での入力は半角で大文字・小文字をご確認の上　正しく入力を御願いします。

（注意：仕様の変更により説明書の Web 画面と多少異なる事が御座います。）

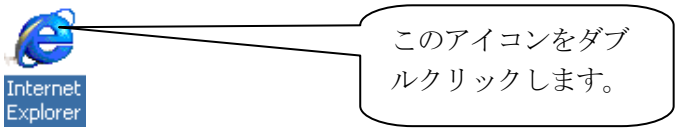
5.1. 電源投入

電源を投入。POWER ランプが点灯してから約３分後、設定を行います。

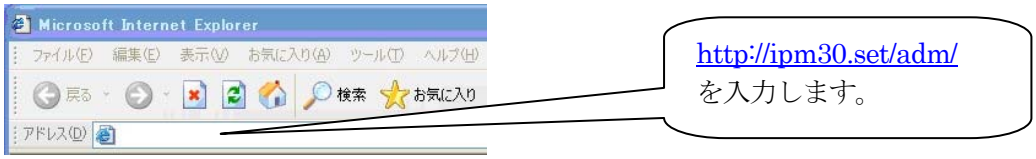
※電源投入後、すぐにログイン作業を行った場合、正常に動作しない場合がございます。

5.2. Web 設定を使用する

1．パソコンよりInternet Explorer（6.0 SP1以降）アイコンをダブルクリックします。

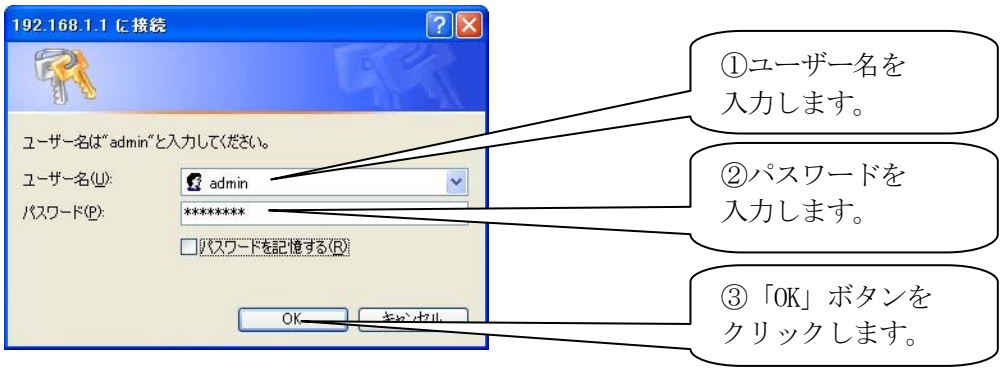


2．ＵＲＬフィールドに本機のＵＲＬ「http://ipm30.set/adm/」又は、「http://192.168.1.1/adm/」を入力し、Enterキーを押します。



3．ユーザー名とパスワードを入力して、「ＯＫ」ボタンをクリックします。

ユーザー名：admin
パスワード：administ



ご注意

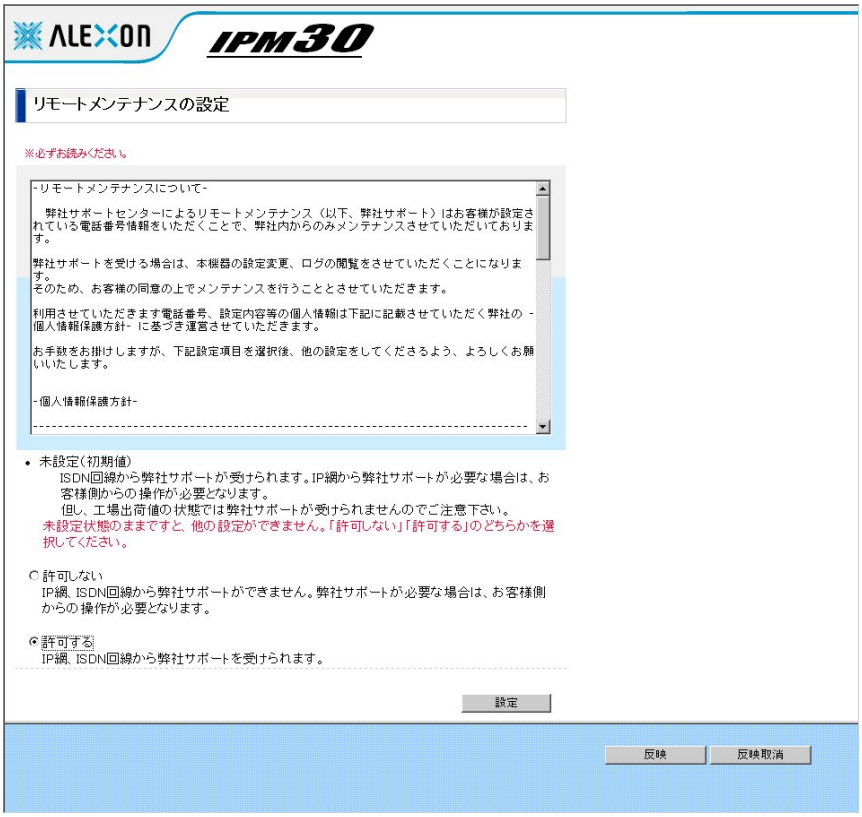
- 通話中に、本機の設定変更は行わないようにして下さい。正常な通話が出来なくなります。
- 内線電話を設定するには、「10PBX の設定」をご参照下さい。

ワンポイント

- 上記パスワードは初期値です。運用開始時には安全管理の為にパスワードを変更して下さい。
- パスワードを変更するには、「9.3.5 パスワード変更」をご参照下さい。

5.3. リモートメンテナンスの設定

まず、最初にリモートメンテナンスの設定を行います。弊社サポートセンターからのリモートアクセスの可否を選択して下さい。



- **許可しない**

  IP 網、ISDN 回線から弊社からのリモート機能を利用したサポートができません。弊社サポートが必要な場合はお客様からの操作が必要となります。

- **許可する**

  IP 網、ISDN 回線から弊社からのリモート機能を利用したサポートが受けられます。

5.4. ネットワーク設定メニュー

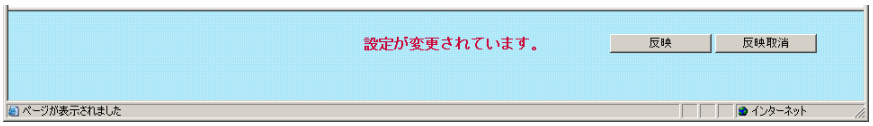
ログイン後は自動的に本機の設定状態が表示されます。項目の詳細については「6.1 設定一覧」をご参照下さい。

IPM30 admin メニュー一覧

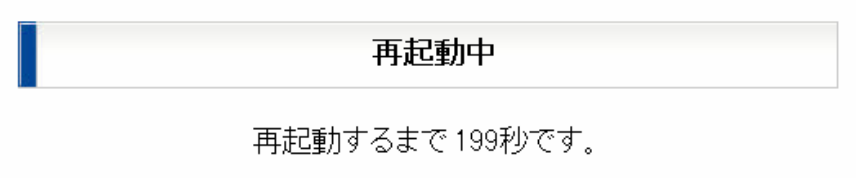
メニュー	サブメニュー①	サブメニュー②	概　　要
TOP	装置情報	装置情報	ルータ設定、電話設定の表示
	簡単 WAN 設定	簡単 WAN 設定	本機をセキュリティ VoIP ルータとして使用するための最低限の設定
ルータ機能	WAN の設定	WAN モード設定	PPPoE / DHCP / 固定 IP の設定
		接続先設定	ISP 情報を設定
		接続先選択	接続先を設定(最大 3 セッション)
		ブリッジ設定	PPPoE と IPv6 パケットのブリッジ設定
	LAN の設定	LAN 設定/DHCP サーバ設定	LAN 側 IP および DHCP サーバ設定
	セキュリティの設定	パケットフィルタ	パケットフィルタの設定
		不正アクセス設定	DoS 攻撃防護/ICMP ステルスの設定
	ネットワークの設定	DMZ ホスト	DMZ ホスト機能の設定
		ポート転送	ポート転送の設定
		アドレスマッピング	アドレスマッピングの設定
		スタティックルーティング	スタティックルーティングの設定
		ダイナミック DNS	ダイナミック DNS の設定
		QoS 設定	QoS の設定
電話機能	VoIP 電話の設定	VoIP 電話設定	VoIP サーバや登録認証情報などの設定
		VoIP 電話基本設定	設置先市外局番等の設定
		VoIP 電話情報	登録済み VoIP 電話情報の表示
	ISDN 回線の設定	代表組み設定	代表組みの設定
		回線番号１～４	回線番号に対する詳細な設定 TE ボードを 2 枚実装すると回線番号 4 迄表示
		ISDN 回線音声設定	NT ポートの音声設定
	アナログ電話設定	アナログ電話設定	アナログ電話の設定
メンテナンス	ログ情報	システムログ	ネットワークログの表示
		VoIP 電話ログ	VoIP 電話のログを表示
		ISDN 電話ログ	ISDN 電話のログを表示
	システム管理	PBX モード／GW モード設定	PBX モード／GW モードの設定
		ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃﾅﾝｽの設定	ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃﾅﾝｽの設定
		Ping のテスト	本機からの Ping テスト
		パスワードの設定	Web 設定画面アクセス用パスワードの設定
		ファームウェアの更新	ファームウェアをダウンロード・更新
		装置の再起動	本機の再起動
		設定の初期化	本機のルータ情報・PBX 設定等を工場出荷状態に戻す
		システムの再構築	本機の電話帳やユーザー情報を工場出荷状態に戻す
		設定ファイルの書き込み/取得	設定ファイルのｴｸｽﾎﾟｰﾄ及びｲﾝﾎﾟｰﾄ設定

5.5. 設定の反映

各章に記載してある設定の変更を行ったときに、画面下部のフレームに「**設定が変更されています。**」という下記メッセージが表示されます。このとき『**反映**』ボタンまたは『**反映取消**』ボタンを押下すると確認画面が表示されます。続いて『**OK**』ボタンを押下すると、設定の反映または反映取消が実行されます。



反映が実行されると、自動的に再起動が実行されます。



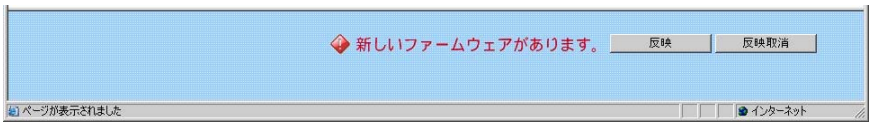
ワンポイント

- 『**反映**』ボタンを押下すると、変更した設定内容を動作に反映します。設定を反映するために再起動しますので、反映中は電源を切らないで下さい。反映中に電源を切りますと故障の原因となります。
- 『**反映取消**』ボタンを押下すると、変更した設定内容を設定前の状態に戻します。

5.6. バージョンアップ情報

本機は、新しいファームウェアのリリースを定期的にネットワーク上のバージョンアップ管理サーバに参照しています。新しいファームウェアが見つかった場合、画面下部のフレームに「新しいファームウェアがあります」と通知します。ここで『**反映**』ボタンを選択するとファームウェアの更新を行い、設定情報は維持します。詳しくは、「9.3.6 ファームウェアの更新」をご参照下さい。

※ ユーザの操作なしにバージョンアップが行われる事はありません。



ご注意

- 更新中は絶対電源を切らないで下さい。故障の原因となります。
- 通信及び通話中は、更新機能を使用しないで下さい。正常に通信や通話が**できません**。
- 更新機能をご利用中に、ISDN 回線より着信があった場合は、通話途中で切断されます。

6. 設定確認と簡単 WAN 設定

6.1. 設定一覧

- ルータ設定

  WAN 側情報　PPPoE モードの場合：

  接続中は「IP アドレス（通信中）」、切断時は「未接続」と表示します。

  WAN 側情報　DHCP モードの場合：

  接続中は「IP アドレス（通信中）」、切断時は「未接続」と表示します。

  WAN 側情報　固定 IP モードの場合：

  設定済みの「IP アドレス」が表示します。

  LAN 側情報

  LAN 側のネットワーク情報を表示します。

  DHCP サーバ

  DHCP サーバの使用の有無を表示します。

- 製品情報

  SIP スタックファームウェアのバージョン

  ファームウェアのバージョンを表示します。

  ファームウェアのバージョン

  ファームウェアのバージョンを表示します。

  WAN MAC アドレス

  MAC アドレスを表示します。

  LAN MAC アドレス

  MAC アドレスを表示します。

- 電話設定

  市外局番

  市外局番を表示します。

  ISDN 回線番号

  ISDN 回線番号１～４を表示します。

  OCN ドットフォン オフィス電話一覧

  基本契約番号とダイヤルイン番号を表示します。

6.2. 簡単 WAN 設定

簡単 WAN 設定では、本機をご利用には最低限必要なネットワーク接続設定を行います。本機では、複数のアカウントを設定することが可能ですが、簡単 WAN 設定では、プロバイダに PPPoE 接続するための最低限必要な設定を行います。複数のプロバイダ（ISP）に接続する場合は「7.2PPPoE モード」より設定を行います。

- **簡単 WAN 設定**

  【接続用ユーザ ID】

  プロバイダに接続するためのユーザ ID を設定します。

  半角英数字記号（63 文字以内）スペース不可。（空欄不可）

  【パスワード】

  プロバイダに接続するためのパスワードを設定します。

  半角英数字記号（32 文字以内）スペース不可。（空欄不可）

- **設定内容**

  PPPoE モードで自動的に設定されます。

7. ルータ機能

ルータ機能では、IPM30 を IP ネットワークへ接続するための設定を行います。

本章では「6.2 簡単 WAN 設定」だけでは設定できない WAN への接続方法を行うときは「7.1WAN 設定」、社内 LAN での IP アドレスの割り当てや DHCP サーバの設定は「7.6LAN 設定」、インターネットからのパケットフィルタリング設定などは「7.7 セキュリティ設定」、インターネットと社内 LAN とのルーティングの設定は「7.8 ネットワーク設定」より、それぞれ設定を行います。

7.1. WAN 設定

WAN 設定では、本機をインターネットに接続するために「PPPoE モード」「DHCP モード」「固定 IP モード」があります。それぞれ設定内容が異なるため、「7.1.1WAN モード設定」から接続方法を選択した後、それぞれの手順に従って設定を行います。

7.1.1. WAN モード設定

インターネットに接続を行う WAN モードを選択します。

- **WAN モード設定**

【PPPoE モード】

Bフレッツや ADSL など、PPPoE 方式が使われているプロバイダに接続する際に選択します。「7.2PPPoE モード」より設定作業を行います。

【DHCP モード】

社内ネットワークなどで DHCP により IP アドレスを取得できる環境で本機をご利用する際に選択します。「7.3DHCP 設定」より設定作業を行います。

【固定 IP モード】

固定 IP アドレスを割り振られている環境で本機を使用する際に選択します。「7.4 固定 IP 設定」より設定作業を行います。

ワンポイント

- 「PPPoE 接続」や「IPv6 接続」を許可するか否かを変更する際には「7.5 ブリッジ設定」から、設定を行います。

7.2. PPPoE モード（WAN 設定）

7.2.1. PPPoE モードメニュー

WAN モードで PPPoE を選択すると、以下のメニューになります。

【PPPoE の設定手順】

設定は必要に応じて PPPoE の接続先、
接続条件を追加・訂正を行います。

7.2.2 接続先設定

追加・変更

設定・戻る

7.2.3 接続先の追加／訂正

7.2.4PPPoE 接続先選択

条件追加

設定・戻る

7.2.5PPPoE 接続先条件の追加／修正

7.2.2. 接続先設定

PPPoE モードで接続するためのプロバイダ情報を設定します。最大で 8 件まで登録ができます。

【追加】

新たに接続先を追加する際に選択し、「7.2.3 接続先の追加／訂正」から詳細を設定します。最大で 8 件まで登録ができます。

【変更】

既に登録されている接続先を変更する際に選択し、「7.2.3 接続先の追加／訂正」から詳細を変更します。

【削除】

既に登録されている接続先を削除する際に選択します。

7.2.3. 接続先の追加／訂正

PPPoE での接続先・詳細設定を行います。**＜詳細設定＞**は、**『詳細設定』**ボタンを押下すると表示されます。

- **接続先の設定**

【接続先名】

画面に表示する接続先名称を設定します。全半角英数記号とスペース(30 文字以内)

【ユーザー名】

プロバイダに接続するためのユーザ名を設定します。半角記号英数字(63 文字以内)スペース不可、(空欄不可)。

【パスワード】

プロバイダに接続するためのパスワードを設定します。半角記号英数字(32 文字以内)スペース不可（空欄不可）

【サービス名】

プロバイダから指定されている時のみサービス名を設定します。半角英数字(60 文字以内)

【プライマリ DNS】

プロバイダから指定されている時のみプライマリ DNS サーバアドレスを設定します。半角数字 0～255。空欄は可、一部空白は不可

【セカンダリ DNS】

プロバイダから指定されている時のみセカンダリ DNS サーバアドレスを設定します。半角数字 0～255。空欄は可、一部空白は不可

- **＜詳細設定＞**

【MTU 値】

IP パケットの最大長を設定します。（初期値：1438）半角数字(576-1492)（空欄不可）

【アンナンバード】

複数の IP アドレスが提供されるアンナンバード接続機能をご利用するかを設定します。

【アンナンバードルータ側 IP アドレス】

アンナンバード接続機能を使用する際、プロバイダから提供される IP アドレスのうち、通常先頭から 2 番目の IP アドレスを IPM30 に設定します。半角数字 0～255。（空欄不可）

【アンナンバードサブネットマスク】

アンナンバード接続機能を使用する際、プロバイダから提供されるサブネットマスクを選択します。

7.2.4. PPPoE 接続先選択

「7.2.2 接続先設定」において、複数登録した PPPoE 接続先のうち、実際に使用する接続先を選択します。

「7.2.5PPPoE 接続先条件の追加／修正」の条件にあてはまった時は、自動的にセッション２、セッション３の接続先が使用されます。

- **通常の接続先**

  【接続先】

  通常接続する接続先を「利用しない／簡単設定／接続先名」から選択します。接続先設定で接続先名が設定されていないときはユーザ名を表示します。

- **セッション 2、セッション 3**

  【フレッツスクエア】

  セッション 2 において、フレッツスクエアをご利用するか否かを選択します。ご利用する場合は「NTT 東日本」または「NTT 西日本」を設定します。

  【接続先】

  セッション 2、セッション 3 に設定する接続先を「利用しない／簡単設定／接続先名」から選択します。接続先設定で接続先名が設定されていないときはユーザ名を表示します。

  【条件追加】

  セッション 2、セッション 3 の接続先を選択するための条件を追加します。『条件追加』を押下すると「7.2.5PPPoE 接続先条件の追加／修正」へ遷移します。

  【変更】

  セッション 2、セッション 3 の接続先を選択するための条件を追加します。『変更』を押下すると「7.2.5PPPoE 接続先条件の追加／修正」へ遷移します。

  【削除】

  セッション 2、セッション 3 の接続先の接続条件を削除します。

  【設定】

  各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

7.2.5. PPPoE 接続先条件の追加／修正

「7.2.4PPPoE 接続先選択」で設定を行った PPPoE セッション２、セッション３を使用するための条件を設定します。設定を行う条件タイプにより、入力する項目が異なります。

- **接続先条件の追加／削除**

【条件タイプ】

セッション２、セッション３を使用するための条件タイプを「宛先ドメイン名／宛先 IP アドレス／宛先ポート／送信先 IP アドレス」から選択します。

【宛先ドメイン名】

条件タイプが宛先ドメイン名の時、ドメイン名を指定します。半角英数字（255 文字以内）スペース不可、記号は「“-”ハイフン」、「“.”ドット」のみ使用可

【IP アドレス】

条件タイプが宛先 IP アドレスまたは送信元 IP アドレスの時、IP アドレスを指定します。半角数字 0～255、（空欄不可）

【宛先ポート】

条件タイプが宛先ポート番号の時、ポート番号を指定します。半角数字 1～65535 で「“-”ハイフン」により範囲指定ができます。

例：「100-200」

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を（メモリ上に）記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

【戻る】

「接続先選択」ページに戻ります。

7.3. DHCP 設定（WAN 設定）

7.3.1. DHCP モードメニュー

WAN モードで DHCP を選択すると、以下のメニューになります。

DHCP を選択すると自動的に利用可能な IP アドレスを取得するため、特に設定は必要ありません。

7.4. 固定 IP 設定（WAN 設定）

7.4.1. 固定 IP モードメニュー

WAN モードで固定 IP を選択すると、以下のメニューになります。

7.4.2. 固定 IP 設定

ネットワーク管理者より割り振られた固定 IP アドレスの情報を設定します。

- **固定 IP 設定**

【IP アドレス】

割り振られた IP アドレスを指定します。半角数字 0～255。（空欄不可）

【サブネットマスク】

割り振られたサブネットマスクを指定します。半角数字 0～255。（空欄不可）

【ゲートウェイアドレス】

割り振られたゲートウェイアドレスを指定します。半角数字 0～255。（空欄不可）

【プライマリ DNS】

割り振られたプライマリ DNS の IP アドレスを指定します。半角数字 0～255。（空欄不可）

【セカンダリ DNS】

割り振られたセカンダリ DNS の IP アドレスを指定します。半角数字 0～255。（空欄不可）

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を（メモリ上に）記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

7.5. ブリッジ設定

LAN に接続されている機器から、PPPoE 接続を許可するときや、IPv6 による通信を許可するか否かを設定します。

- ブリッジ設定

【PPPoE ブリッジ】

PPPoE 接続のブリッジを行うか遮断するかを選択します。

【IPv6 ブリッジ】

IPv6 パケットのブリッジを行うか遮断するかを選択します。

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

ご注意

- MTU サイズの相違点があると、正常にご利用いただけない場合があります。
  データのパケットサイズ（MTU サイズ）・・・フレッツ・光プレミアム：1438Byte
  Bフレッツ　　：1454Byte
  本機初期値　　：1438Byte
  Bフレッツ等では、MTU サイズを 1454byte に設定して下さい。MTU の変更方法は、「7.2.2 接続先設定」と「7.2.3 接続先の追加／訂正」をご参照下さい。

7.6. LAN 設定

7.6.1. LAN 設定／DHCP サーバ設定

LAN 側のネットワーク環境の設定を行います。

- **LAN 設定／DHCP サーバ設定**

【LAN IP アドレス】

本機の LAN 側 IP アドレスを指定します。WAN 側ネットワークと重複している IP アドレスを指定することはできません。半角数字 0～255。（空欄不可）「初期値：192.168.1.1」

【LAN サブネットマスク】

LAN 側のサブネットマスクを指定します。「初期値：255.255.255.0」

【DHCP】

本機から LAN 側ネットワークへ DHCP サービスを提供するか否かを指定します。
「初期値：ON」

【開始 IP アドレス】

本機から DHCP サービスを提供した場合、配布開始 IP アドレスを指定します。
半角数字 0～255。（空欄不可）「初期値：192.168.1.101」

【終了 IP アドレス】

本機が DHCP サービスを提供した場合の、配布終了 IP アドレスを指定します。
半角数字 0～255。（空欄不可）「初期値：192.168.1.200」

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を（メモリ上に）記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

- **固定 IP アドレスの配布**

特定の機器に固定の IP アドレスを割り当てるための設定をします。機器の MAC アドレスと IP アドレスを設定することで、その機器は常に固定の IP アドレスが割り当てられます。

【有効】

登録されている固定 IP アドレスの設定の「有効／無効」を指定します。

【MAC アドレス】

固定 IP アドレスを割り当てる機器の MAC アドレスを指定します。16 進数で 2 桁
同じ MAC アドレスを重複して登録することはできません。

【IP アドレス】

固定 IP アドレスを割り当てる機器の IP アドレスを指定します。
同じ IP アドレスを重複して登録することはできません。半角数字 0～255。（空欄不可）

【削除】

削除を行いたい【MAC アドレス】【固定 IP アドレス】の並びにある『**削除**』ボタンを押します。

【追加】

固定 IP アドレス追加欄に【MAC アドレス】【固定 IP アドレス】を入力し『**追加**』ボタンを押します。

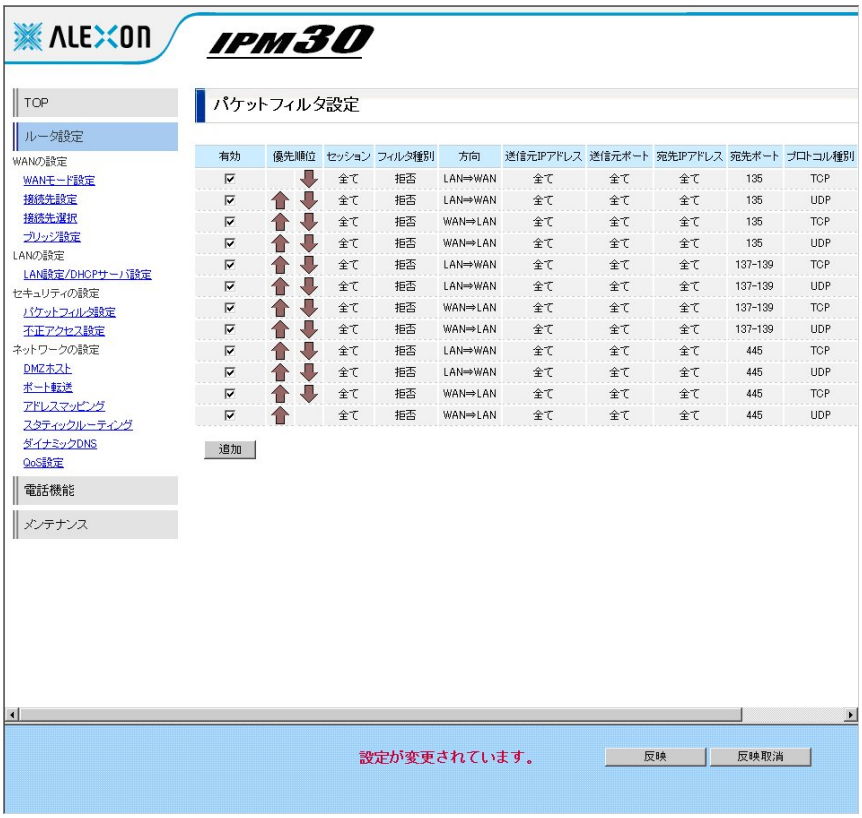
7.7. セキュリティ設定

本機のルータ機能で利用できるWAN⇔LAN間パケットについて、通過／非通過の設定を行います。

7.7.1. パケットフィルタ

登録されているパケットフィルタの一覧と透過／非透過の設定状態を一覧することができます。フィルタリングを行うパケットの条件は「7.7.2 パケットフィルタ追加／修正」にて追加・変更を行います。登録できるパケットフィルタ数は最大で64件となります。

※セッション項目は「WANモードがPPPoEのときのみ」表示されます。



- **パケットフィルタ設定**

【有効】

登録されているパケットフィルタを有効にする場合にチェックをつけます。一時的に無効にする際はチェックを外します。

【優先順位】

登録されているパケットフィルタの『↑』『↓』ボタンを押すことで、フィルタリング時の優先順位を変更します。『↑』『↓』ボタンを押下すると、ひとつずつ上下に移動します。

- **パケットフィルタの条件追加・変更**

【追加】

新たにパケットフィルタを「7.7.2 パケットフィルタ追加／修正」より追加します。
登録できるパケットフィルタ数は64件となります。

【変更】

登録済みのパケットフィルタを「7.7.2 パケットフィルタ追加／修正」より変更します。

【削除】

登録済みのパケットフィルタを削除します。

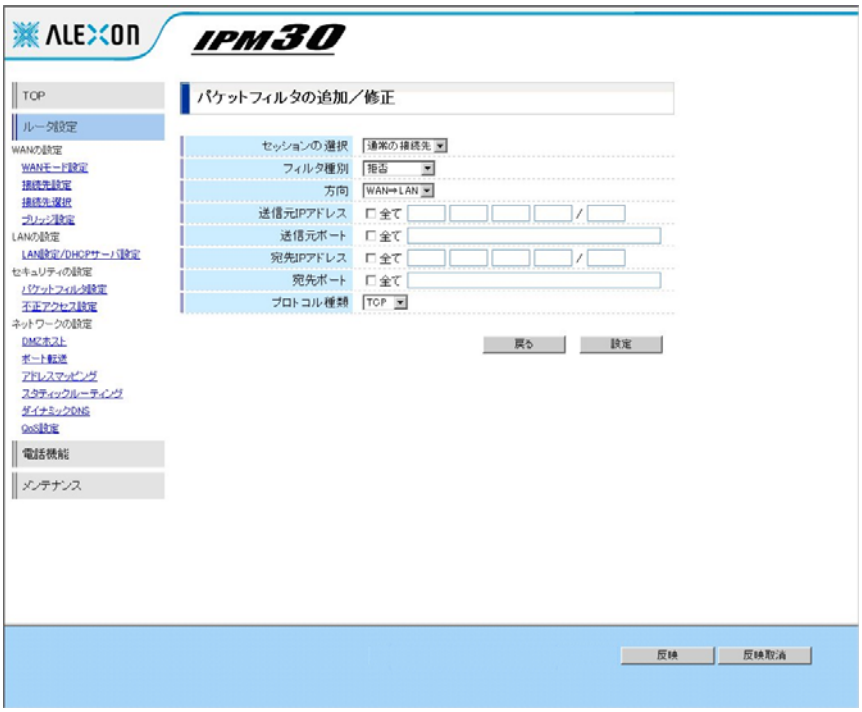
【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

7.7.2. パケットフィルタ追加／修正

WAN⇔LAN 間のパケットフィルタの詳細条件を登録・変更を行います。

※セッション項目は「WAN モードが PPPoE のときのみ」表示されます。



- パケットフィルタの追加／修正

【セッションの選択】

フィルタリングを行うセッション「通常の接続先／セッション２／セッション３／全て」を指定します。「初期値：通常の接続先」

【フィルタ種別】

登録するフィルタ条件を許可するか拒否するかを「拒否／許可（ログ）／許可／拒否（ログ）」から選択します。許可（ログ）／拒否（ログ）を選択した場合は、対象パケットの処理をログとして記録します。記録されたログは「9.2 ログ情報」より閲覧できます。「初期値：拒否」

【方向】

フィルタリングを行うパケットが「WAN 側から LAN 側」（「WAN⇒LAN」）か「LAN 側から WAN 側」（「LAN⇒WAN」）を指定します。「初期値：WAN⇒LAN」

【送信元 IP アドレス】

フィルタリングを行う送信元 IP アドレスを指定します。全ての IP アドレスを対象とするときは「全て」にチェックをつけます。/ の後にサブネットマスクのマスク長を設定します。何も設定しない場合は、32 として設定されます。

【送信元ポート】

フィルタリングを行う送信元ポートを指定します。全てのポートを対象とするときは「全て」にチェックをつけます。半角数字 1～65535 で「“–” ハイフン」により範囲指定ができます。例：「100-200」

【宛先 IP アドレス】

フィルタリングを行う宛先 IP アドレスを指定します。全ての IP アドレスを対象とするときは「全て」にチェックをつけます。/ の後にサブネットマスクのマスク長を設定します。何も設定しない場合は、32 として設定されます。

【宛先ポート】

フィルタリングを行う宛先ポートを指定します。全てのポートを対象とするときは「全て」にチェックをつけます。半角数字 1～65535 で「“-”ハイフン」により範囲指定ができます。

例：「100-200」

【プロトコル種別】

フィルタリングの対象となるプロトコルを「TCP／UDP／ICMP／全て」より選択します。

「初期値：TCP」

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

【戻る】

「パケットフィルタ設定」ページに戻ります。

7.7.3. 不正アクセス設定

DoS 攻撃防護や ICMP ステルス設定を行います。

- 不正アクセス設定

【DoS 攻撃防護】

設定を ON にすることで、DoS 攻撃から防護します。

本設定は「7.8.1DMZ」「7.8.4 アドレスマッピング設定」「7.8.2 ポート転送の設定」にも有効です。

【ICMP ステルス】

設定を ON にすることで、WAN 側からの ICMP Request を無視します。

本設定は「7.8.1DMZ」「7.8.4 アドレスマッピング設定」にも有効です。

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

7.8. ネットワーク設定

ネットワーク設定ではインターネットからのアクセスに対し、ポート転送、アドレスマッピング、DMZ の 3 種類のアドレス変換に対応します。設定が有効に機能する優先順位は、１．ポート転送＞２．アドレスマッピング＞３．DMZ の順で採用されます。

それぞれの詳細は「7.8.2 ポート転送の設定」「7.8.4 アドレスマッピング設定」「7.8.1DMZ ホスト」を参照下さい。

7.8.1. DMZ ホスト

DMZ ホスト機能の設定を行います。本機の WAN 側で受信するパケットでポート転送、アドレスマッピングのいずれも動作しなかった時、そのパケットは DMZ ホストに転送されます。

※DMZ ホスト機能の設定を行うと、自動的に WAN 側⇒LAN 側（DMZ ホスト）へのパケットはパケットフィルタで許可されます。ただし、パケットフィルタ設定には表示されません。

- **DMZ ホスト設定**

【DMZ ホスト機能】

DMZ 機能の ON / OFF を設定します。「初期値：OFF」

【ホスト IP アドレス】

DMZ ホストの対象となる LAN 側の IP アドレスを設定します。

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を（メモリ上に）記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

7.8.2. ポート転送の設定

本機の WAN 側で受信するあるポート番号当てに届くパケットを、LAN 内のホストに転送する設定を行います。

ポート転送の設定では、現在登録されているポート転送の一覧を確認できます。ポート転送の条件設定は「7.8.3 ポート転送の追加／修正」にて追加・変更を行います。登録できるポート転送数は最大で 20 件となります。

- **ポート転送の設定**

【追加】

新たにポート転送条件を「7.8.3 ポート転送の追加／修正」より追加します。

登録できるポート転送数は 20 件となります。

【変更】

登録されているポート転送条件を「7.8.3 ポート転送の追加／修正」より変更します。

【削除】

登録されているポート転送条件を削除します。

7.8.3. ポート転送の追加／修正

ポート転送の設定を追加／修正を行います。

- ポート転送の追加／削除

【WAN 側受信ポート】

WAN 側からのアクセスを許可するポートを指定します。半角数字 1～65535 で「“-” ハイフン」により範囲指定ができます。

例：「100-200」

【LAN 側転送先アドレス】

WAN 側からのアクセスを転送する LAN 側 IP アドレスを指定します。半角数字 1～255（空欄不可）

【LAN 転送先ポート】

WAN 側からのアクセスを転送する LAN 側ポートを指定します。半角数字 1～65535 で「“-” ハイフン」により範囲指定ができます。WAN 側受信ポートと同じ数のポートを指定して下さい。

【プロトコル】

WAN 側からのアクセスを許可するプロトコルを「TCP／UDP」から指定します。

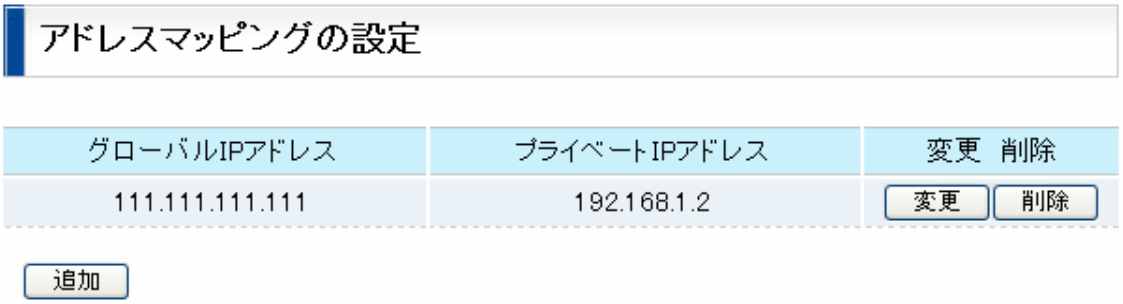
【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を（メモリ上に）記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

7.8.4. アドレスマッピング設定

本機の WAN 側で受信する IP アドレス宛のパケットを、LAN 内のホストに転送する設定を行います。設定した LAN 内のホストの IP アドレスと IPM30 の WAN 側の IP アドレスは静的にアドレス変換されます。本機の WAN 側で受信するパケットでポート転送機能が動作しなかった時、そのパケットはアドレスマッピング設定が検査されます。

アドレスマッピングの設定では、現在登録されているアドレスマッピングの一覧を確認できます。アドレスマッピングの指定は「7.8.5 アドレスマッピングの追加／修正」にて追加・変更を行います。登録できるアドレスマッピング数は最大で 20 件となります。



- アドレスマッピングの設定

【追加】

新たにアドレスマッピング条件を「7.8.5 アドレスマッピングの追加／修正」より追加します。登録できるアドレスマッピング数は 20 件となります。

【変更】

登録されているアドレスマッピング条件を「7.8.5 アドレスマッピングの追加／修正」より変更します。

【削除】

登録されているアドレスマッピング条件を削除します。

7.8.5. アドレスマッピングの追加／修正

アドレスマッピングの設定を追加／修正を行います。

- アドレスマッピングの追加／削除

【グローバル IP アドレス】

WAN 側からのアクセスを許可する WAN 側 IP アドレスを指定します。
半角数字１～255（空欄不可）

【プライベート IP アドレス】

WAN 側からのアクセスを転送する LAN 側 IP アドレスを指定します。
半角数字１～255（空欄不可）

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を（メモリ上に）記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

【戻る】

「アドレスマッピングの設定」ページに戻ります。

7.8.6. スタティックルーティング

IP ネットワークを利用する際、アドレスによって接続先が異なる場合などにスタティックルーティングを設定します。ここでは登録されているスタティックルーティングの一覧を確認できます。スタティックルーティングの指定は「7.8.7 スタティックルーティングの追加／修正」にて追加・変更を行います。登録できるスタティックルーティング数は最大で 16 件となります。

- **スタティックルーティングの設定**

【追加】

新たにスタティックルーティング条件を「7.8.7 スタティックルーティングの追加／修正」より追加します。

登録できるスタティックルーティング数は 16 件となります。

【変更】

登録されているスタティックルーティング条件を「7.8.7 スタティックルーティングの追加／修正」より変更します。

【削除】

登録されているスタティックルーティング条件を削除します。

7.8.7. スタティックルーティングの追加／修正

スタティックルーティングの設定を追加／修正の設定を行います。

- スタティックルーティングの追加／削除

【宛先 IP アドレス】

ルーティングを行う宛先 IP アドレスを指定します。半角数字１～255（空欄不可）

【サブネットマスク】

ルーティングするネットワークのサブネットマスクを指定します。「初期値：255.255.255.0」

【ゲートウェイアドレス】

ルーティングするネットワークへのゲートウェイの IP アドレスを指定します。半角数字１～255（空欄不可）

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

【戻る】

「スタティックルーティング設定」ページに戻ります。

7.8.8. ダイナミック DNS

動的にグローバル IP アドレスが変更する環境においても、ダイナミック DNS を使用することで、インターネット上からのホストの名前解決をさせることができます。

- ダイナミック DNS

【ダイナミック DNS】

ダイナミック DNS をご利用するか否かを「ON/OFF」で指定します。「初期値：OFF」

【プロバイダ】

ダイナミック DNS としてご利用するプロバイダを指定します。

現在、6 箇所のダイナミック DNS サイト「dyndns／dtDNS／No-ip／IeServer／Instat／DynamicDo!.Jp」を選択できます。設定内容は DNS サイトによって異なりますので「利用可能プロバイダー一覧」を参照下さい。

【ホストネーム】

ダイナミック DNS サイトに登録した FQDN のうちのホスト名を指定します。

半角英数と「-」(63 文字以内)スペース不可、(空欄不可)

【ドメインネーム】

ダイナミック DNS サイトに登録した FQDN のうちのドメイン名を指定します。

半角英数と「-.」(64 文字以内)スペース不可、(空欄不可)

【ユーザ ID】

ダイナミック DNS サイトに登録したユーザ ID を指定します。

半角記号英数(63 文字以内)スペース不可、(空欄不可)

【パスワード】

ダイナミック DNS サイトに登録したパスワードを指定します。

半角記号英数(63 文字以内)スペース不可、(空欄不可)

【更新】

グローバル IP アドレスを更新するタイミング「IP アドレスを変更した場合／時間おき」を指定します。「初期値：IP アドレスを変更した場合」

【時間おき】

ダイナミック DNS を更新する時間間隔を指定します。数字 1～240 時間 「初期値：2」

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

- 利用可能プロバイダ一覧

プロバイダ	ホストネーム	ドメインネーム(選択内容)
dyndns	設定可	・ dyndns.org ・ homeip.net ・ homedns.org ・ その他(ドメインネームの入力が必要)
dtDNS	設定可	・ dtdns.net ・ darktech.org ・ slyip.net ・ flnet.org ・ scieron.com ・ その他(ドメインネームの入力が必要)
No-ip	設定可	・ no-ip.com ・ no-ip.biz ・ no-ip.info ・ no-ip.org ・ その他(ドメインネームの入力が必要)
IeServer	設定不可	・ myhome.cx ・ jph.ph ・ fam.cx ・ dio.jp ・ その他(ドメインネームの入力が必要)
Instat	設定不可	設定不可
DynamicDo!.Jp	設定不可	設定不可

7.8.9. QoS 設定

ネットワーク上で使用する IP 電話のための帯域を予約し、音声品質を損なわないようにします。

- **QoS 設定**

【QoS 接続】

QoS 設定を行うか否か「ON/OFF」で設定します。「初期値：ON」

【上り帯域】

WAN 回線の上り速度を「200kbps～100Mbps」の範囲で指定します。実際の上り速度の 80%程度の上り速度を選択して下さい。「初期値：30Mbps」

※ IP 電話で使用する帯域より少ない送信速度（チャンネル数×180Kbps）を設定することはできません。

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

8. 電話機能

本機で使用する VoIP 電話、ISDN、アナログ電話の電話回線の設定を行います。

8.1. VoIP 電話設定

8.1.1. VoIP 電話設定

VoIP サーバ及び登録されている IP 電話番号の一覧を確認できます。

VoIP サーバの設定は「8.1.2 VoIP サーバ設定」より、IP 電話番号の登録は「8.1.3 ダイヤルイン番号の追加」にて追加・変更を行います。

- **チャンネル数設定**

  【チャンネル数】

  1 契約で、IP 電話として同時に通話できるチャンネル数を設定します。チャンネル数を選択後に「設定」ボタンを押下する。「初期値：4ch」

  ※ 設定できるチャンネル数は 1～8 チャンネル迄です。

  ※ 同時に 8 通話するには、4 チャンネルプラン＋追加チャンネルサービス 4 チャンネルの契約が必要です。

- **OCN ドットフォン オフィス設定**

  【基本契約番号（VoIP 電話番号）】

  VoIP サーバの設定を行うときは「VoIP サーバの登録」ボタンを押下してから設定します。詳細は「8.1.2VoIP サーバ設定」をご参照下さい。

  【ダイヤルイン番号】

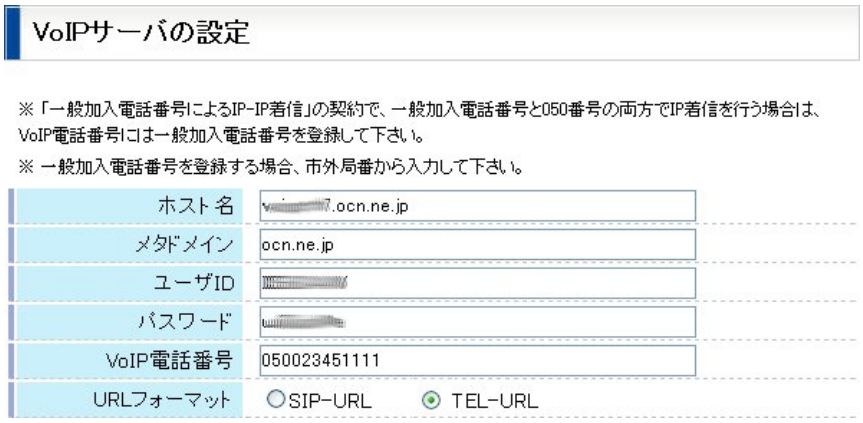
  ダイヤルイン番号の追加は「VoIP サーバの登録」後に「ダイヤルイン番号の追加」ボタンを押下してから設定します。詳細は「8.1.3 ダイヤルイン番号の追加」をご参照下さい。

ご注意

- 本機を代表サービスの子機とする場合、ダイヤルイン番号に親番号、別の子機番号がある場合は、その子機番号も登録して下さい。

8.1.2. VoIP サーバ設定

IP 電話で使用する VoIP サーバの設定を行います。



- **IP 電話サーバ設定**

【ホスト名】

開通通知書に記載されている、ホスト名を入力して下さい。

【メタドメイン】

開通通知書に記載されている、メタドメインを入力して下さい。

【ユーザ ID】

開通通知書に記載されている、ユーザ ID を入力して下さい。

【パスワード】

開通通知書に記載されている、ユーザ ID を入力して下さい。

【VoIP 電話番号】

開通通知書に記載されている、VoIP 電話番号を入力して下さい。

【URL フォーマット】

TEL－URL を選択して下さい。

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

【戻る】

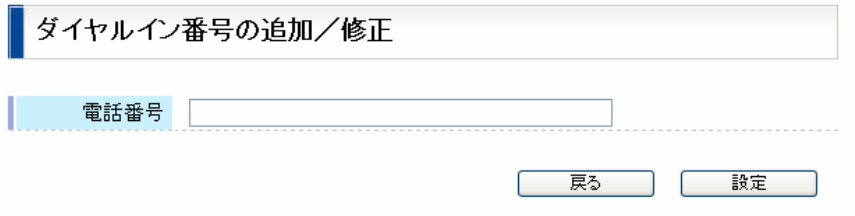
「VoIP 電話設定」ページに戻ります。

ご注意

- 設定時には開通通知書をご用意の上、**半角文字で英数字・記号・大文字・小文字の違いをよくご確認下さい。**
- 「一般加入電話番号による IP-IP 着信」の契約で、一般加入電話番号と 050 番号の両方で IP 着信を行う場合は、VoIP 電話番号には一般加入電話番号を登録して下さい。
- 一般加入電話番号を登録する場合、市外局番から入力して下さい。

8.1.3. ダイヤルイン番号の追加

ダイヤルイン番号情報を行います。



- **ダイヤルイン番号の追加／訂正**

【電話番号】

ご利用になるダイヤルイン番号を入力して下さい。32 桁迄の半角数字入力します。

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

【戻る】

「VoIP 電話設定」ページに戻ります。

ご注意

- 一般加入電話番号を登録する場合、市外局番から入力して下さい。
- ダイヤルイン番号の追加は 64 番号登録可能ですが、「OCN ドットフォンオフィス」 1 契約当たり最大 49 番号まで契約が可能です。

8.1.4. VoIP 電話基本設定

市外局番、発信者番号通知を行います。

- **VoIP 電話情報**

【市外局番】

IP 電話の場合、電話をかける際は市外局番よりダイヤルする必要がありますが、市外局番設定を行うことで、市外局番が省略された場合、自動的に市外局番を付加したダイヤルを行います。この際に自動的に付加する市外局番を設定します。

0 から始まる半角数字(6 桁以内)です。

【発信者番号通知】

通知　：IP 電話で相手先に電話番号を通知します。

非通知：IP 電話で相手先に電話番号を通知しません。

【設定】

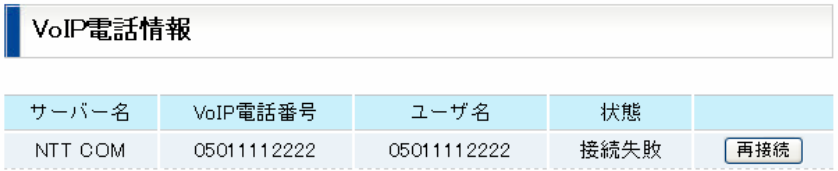
各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

ご注意

- **市外局番は変更されることがありますので、その都度変更を御願いします。**

8.1.5. VoIP 電話情報

IP 電話設定で設定された情報に対して、本機と VoIP サーバの接続状態を表示します。



- **IP 電話情報**

【再接続ボタン】

『**再接続**』ボタンを押すと、IP 電話番号を VoIP サーバに再登録し、「8.1.6VoIP 電話接続結果」が表示されます。

8.1.6. VoIP 電話接続結果

「8.1VoIP 電話設定」で行った接続結果が表示されます。

8.2. ISDN 設定

8.2.1. 代表組み設定

登録されている代表組み設定の一覧を確認できます。代表組み設定の登録は「8.2.2 代表組み設定（追加、変更）」にて追加／変更を行います。登録できる代表組みは最大で 8 グループとなります。

- **代表組み設定**

【追加】

新たに代表組み設定を「8.2.2 代表組み設定（追加、変更）」より追加します。

※ 電話番号は市外局番を省いて入力して下さい。

※ 登録できる代表組みは最大で 8 グループとなります。

【変更】

登録されている代表組み設定を「8.2.2 代表組み設定（追加、変更）」より追加します。

【削除】

登録されている代表組み設定を削除します。

- **グローバル着信を親番号扱いにする**

【ON】初期値

「代表組設定」で「グローバル着信を親番号扱いにする」を「ON」設定しますと、ダイヤルイン番号で着信しますとダイヤルイン設定端末のみ鳴動します。グローバル着信ではダイヤルイン設定端末は鳴動しません。

【OFF】

「代表組設定」で「グローバル着信を親番号扱いにする」を「OFF」設定しますと、グローバル着信やダイヤルイン番号で着信しますとダイヤルイン設定端末も鳴動します。

【設定】

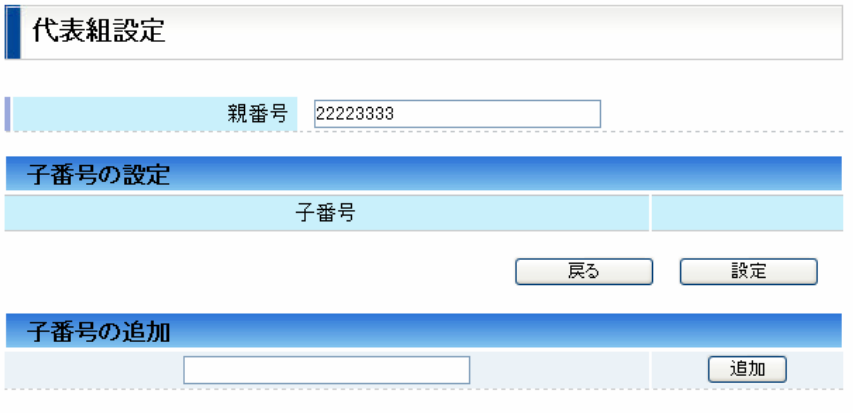
各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を（メモリ上に）記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

ご注意

- 電話番号は市外局番を省いて入力して下さい。

8.2.2. 代表組み設定（追加、変更）

代表組みの設定に追加／修正を行います。



- 子番号の追加／削除

【親番号】

親番号を登録します。半角数字(32 桁以内)空欄不可

【追加】

現番号に代表組みを行う子番号を指定します。半角数字（32 桁以内）空欄不可

※ １つの代表組みに設定可能な子番号は最大で 50 番号までです。

※ １つの代表組みに同じ番号の親番号／子番号を登録できません。

【削除】

追加されているダイヤルイン番号を削除します。

【戻る】

代表組み設定画面に移行します。

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を（メモリ上に）記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

8.2.3. 回線番号１～４

契約回線番号毎に代表組みの割り当てやｉ・ナンバー、ダイヤルイン等の設定を行います。
PBX モード時で、TE ボードを 2 枚実装しますと回線番号 4 迄設定できます。

- **回線番号１～４**

【契約回線番号】

契約回線番号を設定します。半角数字（32 桁以内） 0 から始まる番号は設定不可。
※ 契約回線番号１～４は重複すると正常に動作しません。
※ 規約回線番号を空欄にすると、その回線設定は削除されます。

【代表組み選択】

回線番号が代表組みに属するか否かを設定します。

【ｉ・ナンバー・ダイヤルイン設定】

ｉ・ナンバーまたはダイヤルインをご利用するか否かを指定します。
代表組みに属する設定をした時は選択できません。

【ｉ・ナンバー２～３】

ｉ・ナンバー契約で取得している電話番号を設定します。半角数字(32 桁以内) 0 から始まる番号は設定不可、空白は可です。
ｉ・ナンバー２，３は個別に設定できます。（ｉ・ナンバー３だけでも設定できる）
ｉ・ナンバー間で番号が重複できません。ｉ・ナンバーは契約回線番号（１～４）と同じでもよい。※ｉ・ナンバー１は契約回線番号と同じなので、設定項目はありません。

【ダイヤルイン１～２０】

契約回線番号にダイヤルインする電話番号を設定します。入力ボックスの間を空けて入力しても、設定後に自動的に詰められます。半角数字(32 桁以内) 0 から始まる番号は設定不可。空白は可です。
ダイヤルイン番号は重複してはいけません。
ダイヤルイン番号は契約回線番号（１～４）と同じでも構いません。

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

ご注意

- 電話番号は市外局番を省いて入力して下さい。
- GW モードに設定すると、回線番号 1・2 のみとなります。(参考：「システム管理」→「PBX モード／GW モード設定」)

8.2.4. ISDN 回線音声設定

NT ポートの音声設定を行います。

- **ISDN 回線音声設定**

  【ジッターバッファ長】 **初期値：120ms**

  ジッターバッファのサイズ「0～160ms」を指定します。

  【受話音量】 **初期値：中**

  NT ポートが送話する方向のボリュームゲインを設定します。

  送話方向のボリュームゲインは、それぞれ（最大／大／中／小／最小）の範囲で指定します。

  【受話音量】 **初期値：中**

  NT ポートに受話する方向のボリュームゲインを設定します。

  受話方向のボリュームゲインは、それぞれ（最大／大／中／小／最小）の範囲で指定します。

  【設定】

  各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を（メモリ上に）記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

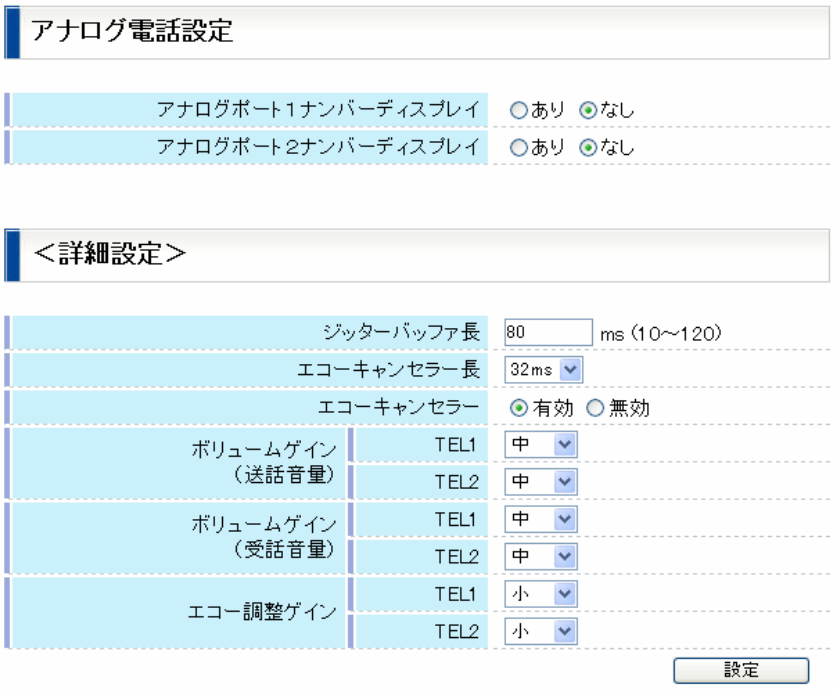
ご注意

- 音量等に問題が有りましたら設定変更して下さい。**通常は変更の必要は御座いません。**

8.3. アナログ電話設定

8.3.1. アナログ電話設定

アナログ電話機接続に関する各種設定を行います。**＜詳細設定＞**は、『**詳細設定**』ボタンを押下すると表示されます。



- **アナログ電話設定**

【アナログポート１ナンバーディスプレイ】

アナログ電話機１のナンバーディスプレイ表示「あり／なし」を指定します。

【アナログポート２ナンバーディスプレイ】

アナログ電話機２のナンバーディスプレイ表示「あり／なし」を指定します。

- 詳細設定

【ジッターバッファ長】 **初期値：80ms**

ジッターバッファのサイズ「10～120ms」を指定します。

【エコーキャンセラー長】 **初期値：32ms**

エコーキャンセラーのサイズ「8ms／16ms／32ms」を指定します。

【エコーキャンセラー】 **初期値：有効**

エコーやハウリングを抑止するエコーキャンセラーをご利用するか否かを指定します。

【ボリュームゲイン(送話音量)】 **初期値：中**

エンコード方向のボリュームゲインを設定します。エンコード方向とはそれぞれ以下のようになります。

TEL1　TEL1 が送話する方向

TEL2　TEL2 が送話する方向

送話方向のボリュームゲインは、それぞれ（最大／大／中／小／最小）の範囲で指定します。

【ボリュームゲイン(受話音量)】 **初期値：中**

デコード方向のボリュームゲインを設定します。デコード方向とはそれぞれ以下のようになります。

TEL1　TEL1 が受話する方向

TEL2　TEL2 が受話する方向

受話方向のボリュームゲインは、それぞれ（最大／大／中／小／最小）の範囲で指定します。

【エコー調整ゲイン】 **初期値：小**

エコー調節ゲインをそれぞれ（最大／大／中／小／最小）の範囲で指定します。

TEL1　TEL1 のエコー調節ゲイン

TEL2　TEL2 のエコー調節ゲイン

【設定】

各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

9. 管理

9.1. ルータ情報

9.1.1. システム情報

製品情報、LAN 側情報、WAN 側情報を表示します。

【製品情報】

ファームウェアバージョン情報と WAN 側、LAN 側各々の MAC アドレス情報を表示します。

【LAN 側情報】

LAN 側のネットワーク接続情報を表示します。

【WAN 側情報】

WAN 側のネットワーク接続情報を表示します。

PPPoE モードの場合のみセッションの『**接続／切断**』ボタン及び接続先名が表示されます。また「接続先選択」ページで複数のセッションを利用するように設定している場合はご利用しているセッション毎に表示されます。

『**接続／切断**』ボタンを押すと、接続または切断処理が実行され、「9.1.2PPPoE 接続結果」または「9.1.3PPPoE 切断結果確認」が表示されます。

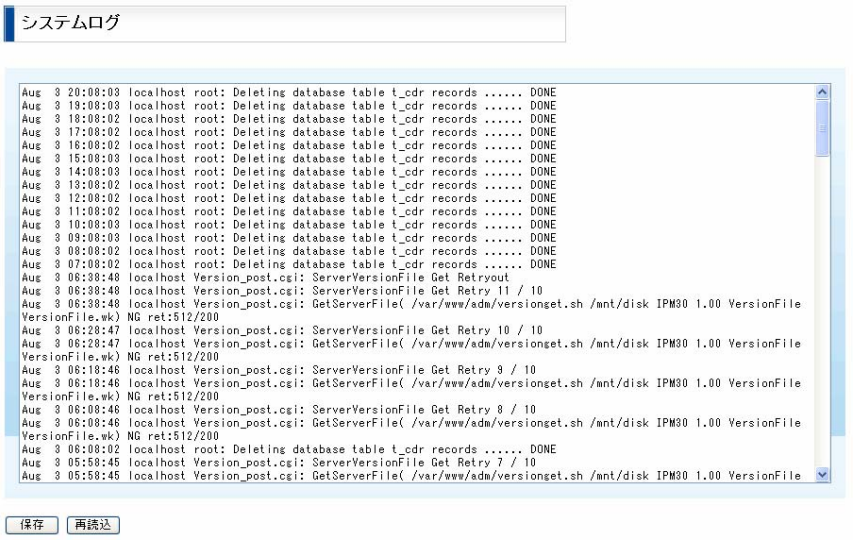
9.1.2. PPPoE 接続結果確認

9.1.3. PPPoE 切断結果確認

9.2. ログ情報

9.2.1. システムログ

システムのログ情報(一般ログ、障害ログ、不正アクセスログなど)を表示します。



- **ログ情報**

【保存ボタン】

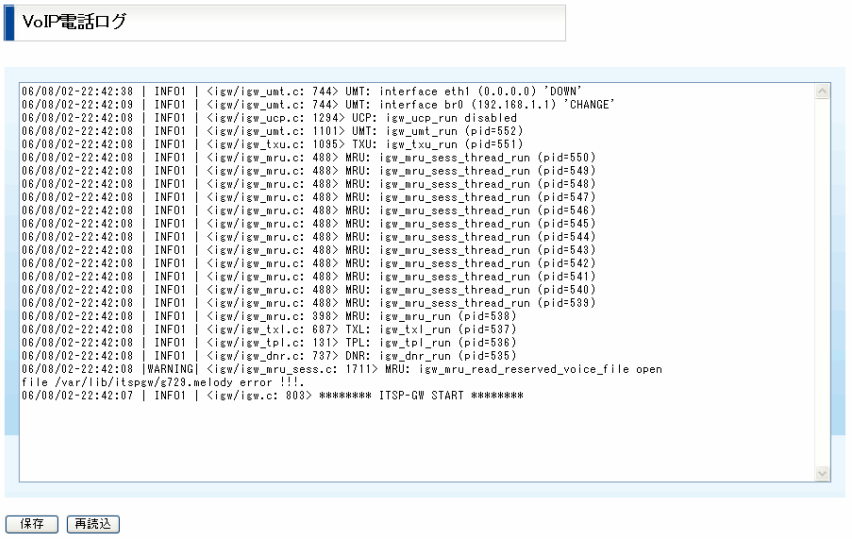
ログ情報をファイルに保存します。保存名は「systemlog.txt」（変更可能）となります。

【再読込ボタン】

表示中のログ情報を最新に更新します。

9.2.2. VoIP ログ

IP 電話のログ情報（一般ログ、障害ログなど）を表示します。



- **ログ情報**

【保存ボタン】

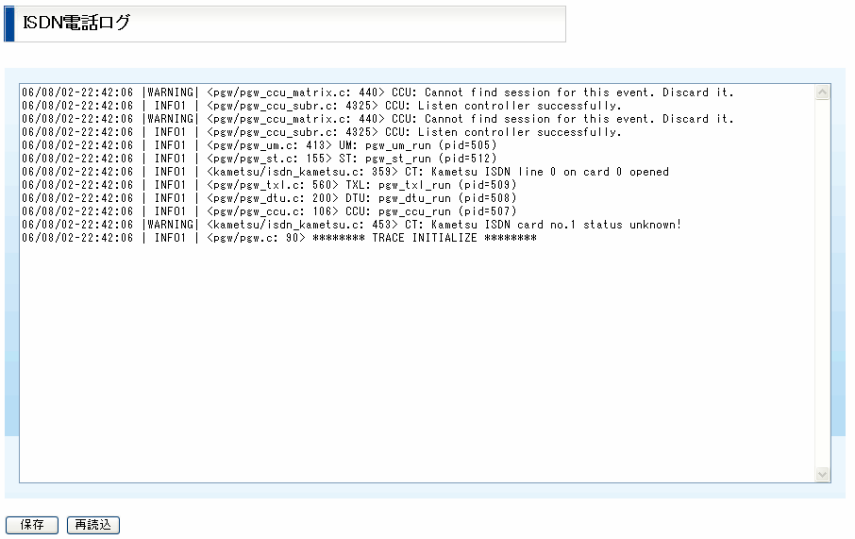
ログ情報をファイルに保存します。保存名は「iplog.txt」（変更可能）となります。

【再読込ボタン】

表示中のログ情報を最新に更新します。

9.2.3. ISDN 電話ログ

IP 電話のログ情報（一般ログ、障害ログなど）を表示します。



- **ログ情報**

  【保存ボタン】

  ログ情報をファイルに保存します。保存名は「isdnlog.txt」（変更可能）となります。

  【再読込ボタン】

  表示中のログ情報を最新に更新します。

9.3. システム管理

9.3.1. PBX モード／GW モード

「メンテナンス」メニュー、「システム管理」の「PBX モード／GW モード」で、PBX モードか GW モードの設定を行います。

- **PBX モード／GW モードの設定**

【PBX モード】

ISDN 回線と S/T 点で接続可能になります。（各回線に別途 DSU が必要です。）
TE ボード 1 枚で 2 回線の ISDN と接続可能です。TE ボードを 2 枚実装すると 4 回線まで接続可能です。

【GW モード】初期値

TE ボード 1 枚と NT ボード 1 枚で以下の機能が可能です。
この設定により、本機と ISDN 対応のレガシービジネスフォン（以後、PBX と呼ぶ）と 2 回線分の S/T 点接続が可能になります。これにより、PBX から本機を通して IP 電話や ISDN 回線と接続が可能になります。

【設定＆反映】

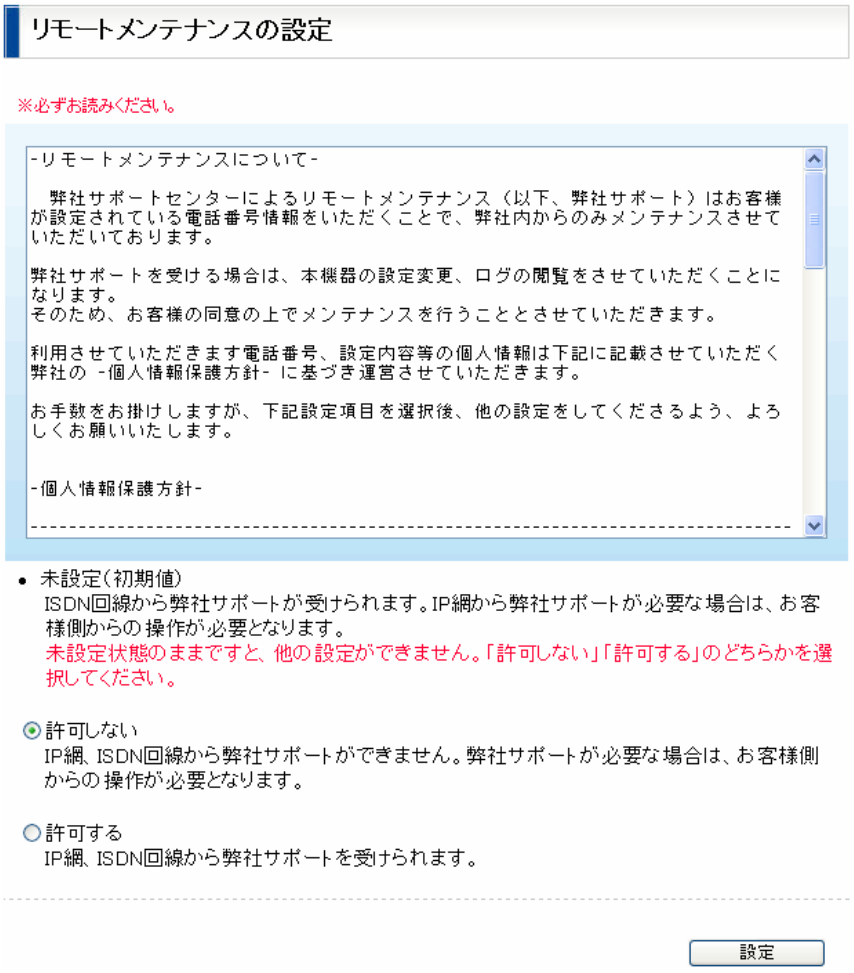
「設定＆反映」ボタン押下で設定が反映されます。

ご注意

- 本機では、必ず TE ボードを 1 枚実装しないと正常に動作しません。
- 設定変更を行うと、“PBX モード／GW モードを変更すると、adm の設定が反映されますが、よろしいですか？。（反映するために再起動します。反映中は電源を切らないで下さい。）”と表示します。
- 実装ボードの構成を変更される場合、必ず先に設定の初期化してから電源を切ってボードを実装し、再設定して下さい。
- NT ボードを実装していない場合は必ず PBX モードに設定して下さい。

9.3.2. リモートメンテナンス

リモートメンテナンスを許可するかしないかの設定を行います。



- リモートメンテナンスの設定

【未設定】初期値

ISDN 回線から弊社サポートが受けられます。IP 網から弊社サポートが必要な場合は、お客様側からの操作が必要となります。

※ 未設定状態のままですと、他の設定ができません。「許可しない」「許可する」のどちらかを選択して下さい。

【許可しない】

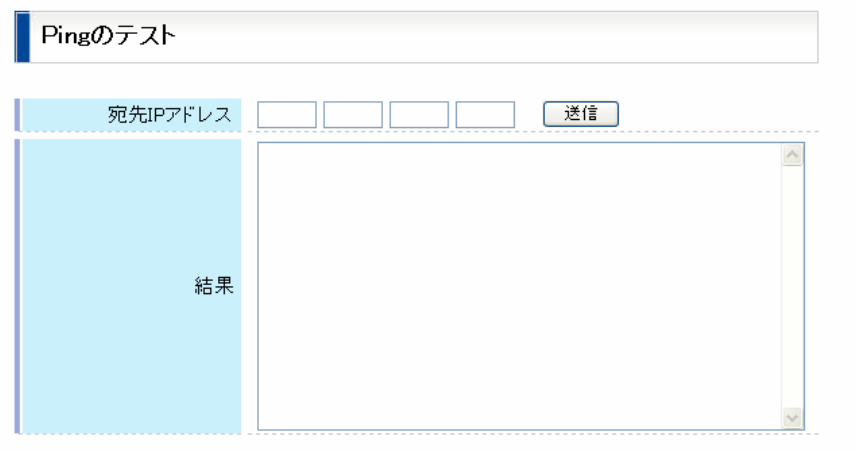
IP 網、ISDN 回線から弊社サポートができません。弊社サポートが必要な場合は、お客様側からの操作が必要となります。

【許可する】

IP 網、ISDN 回線から弊社サポートを受けられます。

9.3.3. Ping テスト

本機から Ping を発信します。



- **Ping テスト**

【宛先 IP アドレス】

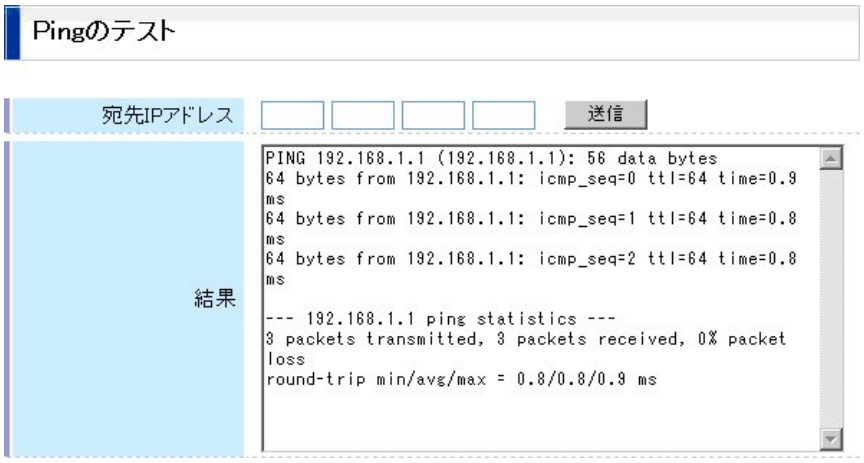
ネットワーク接続を確認するため、対象端末の IP アドレスを指定します。半角数字 (0～255)。(空欄不可)

【送信】

『**送信**』ボタンを押下すると、「9.3.4Ping テスト実行結果」が表示されます。

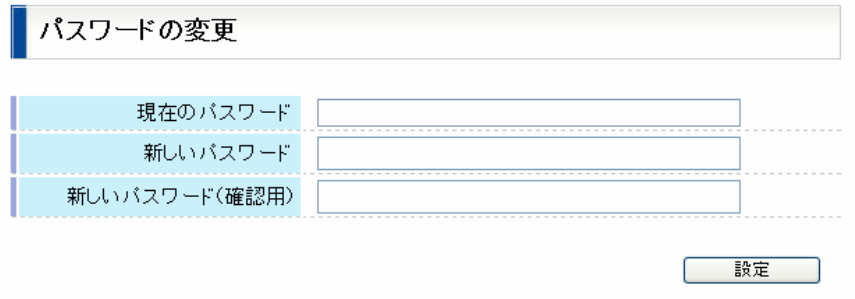
9.3.4. Ping テスト実行結果

本機から発信した Ping テストの結果を表示します。



9.3.5. パスワード変更

本機にログインするためのパスワードの設定を行います。



- **パスワード変更**

  【現在のパスワード】

  現在のパスワードを入力します。半角英数字記号（8 文字以内）スペース不可

  【新しいパスワード】

  新しいパスワードを入力します。半角英数字記号（8 文字以内）スペース不可

  【新しいパスワード（確認用）】

  新しいパスワードを確認のため入力します。半角英数字記号（8 文字以内）スペース不可

- **設定の即時反映**

  パスワードの変更は『**設定**』ボタンを押した時点で『5.5 設定の反映』を行わずに即時に変更が反映されます。

※万一パスワードを忘れてしまった場合

ネットワーク管理者用パスワードを忘れてしまった場合、本機の初期化を行う必要があります。このとき本機の電話帳とプレゼンス設定を除くすべての設定が消えてしまうので、パスワードの管理は十分注意して下さい。

9.3.6. ファームウェアの更新

ファームウェアの更新を行います。ファームウェアの更新には、自動更新と手動更新があります。手動更新を行った場合のみ設定が初期化されます。

バージョンアップを行う間は電話が使用できなくなります。また更新処理にはシステムが再起動するまでしばらく時間がかかりますので、処理が完了するまで電源を切らないで下さい。

- **ファームウェアの更新**

  【ファームウェアバージョン】

  現在のファームウェアのバージョンを表示します。

  【ハードウェアバージョン】

  現在のハードウェアのバージョンを表示します。

- **自動更新**

  【ファームウェアの更新】

  ファームウェアが更新された場合「新しいファームウェアがあります」とメッセージが表示されます。『**確認**』ボタンを押すことで「9.3.7 ファームウェア更新内容の確認」に遷移し、ファームウェアの更新を行います。

- **手動更新**

  【ファームウェア選択】

  手動更新を行うファームウェアを『**参照**』ボタンを押し、ファイルを指定します。

  【ファームウェア更新】

  『**更新**』ボタンを押すと、「現在設定中の内容は取り消されますが、ファームウェアを更新してもよろしいですか？」と表示し、『**OK**』ボタンを押すことで、「9.3.7 ファームウェア更新内容の確認」に遷移し、ファームウェアの更新を行います。

※ **手動更新の場合、設定が初期化されますので十分注意して下さい。**

ご注意

- 更新中は絶対電源を切らないで下さい。故障の原因となります。
- 通信及び通話中は、更新機能を使用しないで下さい。正常に通信や通話ができません。
- 更新機能をご利用中に、ISDN 回線より着信があった場合は、通話途中で切断されます。

9.3.7. ファームウェア更新内容の確認

ファームウェアの更新状況をサーバに照会します。

- ファームウェアバージョンアップ

【バージョンアップ】

『**バージョンアップ**』ボタンを押下することで、「**バージョンアップを行うと電話機能が使用できなくなります。ファームウェアをバージョンアップしてもよろしいですか？**」と表示され、『ＯＫ』ボタンを押下します。引き続き「**バージョンアップが完了し、システムが再起動するまでしばらく時間が掛かります。処理が完了するまで電源を切らないで下さい。**」と表示され、『ＯＫ』ボタンを押下すると、ファイルのダウンロード後にバージョンアップを行います。

【過去の更新内容】

『**過去の更新内容**』を押すことで、「9.3.8 過去の更新内容の確認」より過去の更新履歴を確認します。

9.3.8. 過去の更新内容の確認

過去のファームウェアのバージョンと更新履歴を表示します。

9.3.9. 再起動

本機の再起動を行います。

「再起動してもよろしいですか？」と表示がされ『**OK**』ボタンを押すことで再起動を実行します。その後「処理が完了するまで電源を切らないで下さい。」と表示され、『**OK**』ボタンを押すことで、自動的に再起動します。

9.3.10. 設定の初期化

本機のルータ情報・PBX 設定・発着信履歴等を工場出荷状態に戻します。

- **初期化**

【実行】

『**実行**』ボタンを押すと、「初期化を行うと工場出荷状態に戻ります。発着信履歴・PBX の設定も削除されます。」と表示され、『**OK**』ボタンを押すと、再度メッセージが表示された後に、『**OK**』ボタンを押すことで、本機の設定初期化後、自動的に再起動します。

9.3.11. システムの再構築

本機の電話帳やユーザー情報を工場出荷状態に戻します。
「9.3.10 設定の初期化」で正常に動作しない場合等にご使用下さい。

【実行】

『**実行**』ボタンを押すと、「問題があるシステム部を再構築いたします。ユーザ情報は削除されますが、ルータ情報・PBX 設定は初期化されません。」と表示され、『**OK**』ボタンを押すと、再度以下のメッセージが表示されます。「再構築が完了し、システムが再起動するまでしばらく時間がかかります。処理が完了するまで電源を切らないで下さい。」
その後、『**OK**』ボタンを押すことで、本機のシステム部を再構築後、自動的に再起動します。
約１０分程度時間を要します。

9.3.12. 設定のバックアップ／リストア

本機の設定を保存(バックアップ) / 復元(リストア)を行います。復元(リストア)の際には、本機の再起動が行われます。

- **設定のバックアップ**

  【バックアップボタン】

  現在の設定値をファイルにバックアップします。保存名は「backup.tar」（変更可能）となります。

- **設定のリストア**

  【設定ファイルの選択】

  『**参照**』ボタンを押下し、リストア(復元)する設定ファイルを指定します。

  【リストアボタン】

  『**リストア**』ボタンを押すと、「設定を復元してもよろしいですか？」と表示がされ『**OK**』ボタンを押すことで復元を実行します。

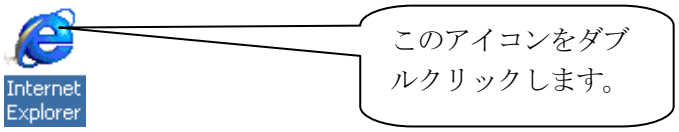
  その後「復元が完了し、システムが再起動するまでしばらく時間がかかります。処理が完了するまで電源を切らないでください。」と表示され、『**OK**』ボタンを押すことで、指定したファイルから設定を読み出し、本機に設定後、自動的に再起動します。

10.　PBX の設定

内線登録情報を設定する際は、ブラウザよりユーザ名「pbx」でログインし、本機の設定を行う必要があります。

10.1.　ログイン

1．パソコンよりInternet Explorer（6.0 SP1以降）アイコンをダブルクリックします。

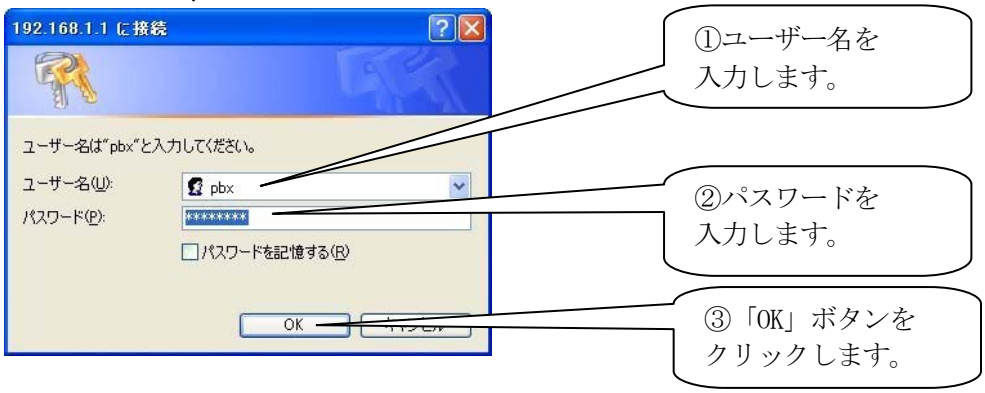


2．ＵＲＬフィールドに本機のURL「http://ipm30.set/pbx/」又は、「http://192.168.1.1/adm/」を入入力し、Enterキーを押します。

3．ユーザー名とパスワードを入力して、「ＯＫ」ボタンをクリックします。

ユーザー名：pbx

パスワード：administ



ご注意

- 通話中に、本機の設定変更は行わないようにして下さい。正常な通話が出来なくなります。

ワンポイント

- 上記パスワードは初期値です。運用開始時には安全管理の為にパスワードを変更して下さい。
- パスワードを変更するには、「13.1 パスワード変更」をご参照下さい。

10.2. PBX 設定用メニュー

正常にログインがされると、以下のような PBX 設定メニューが表示されます。

PBX 設定メニュー	PBX 設定サブメニュー	概　　要
かんたん設定	内線・グループ設定ウィザード	内線・グループの設定(自動・手動)
詳細設定	内線個別設定	内線個別の詳細設定
	ダイヤルイン設定	ダイヤルインの設定
	回線選択テーブルの設定	相手先電話番号で使用する回線を指定する設定
	コールバック中継発信許可	コールバック中継発信の設定
	NT ポート設定	NT ポートの設定
管　理	パスワード変更	Web 設定画面アクセス用パスワードの変更
情　報	設定情報	設定情報の一覧を表示
	ダイヤルイン情報	ダイヤルイン情報の表示
電話機自動設定	電話機自動設定(IS)	IS 電話機に内線番号を自動で設定
	電話機設定(IS)	IS 電話機に内線番号を手動で設定

11.　内線・グループ設定

内線・グループ設定では、「8 電話機能」で設定を行った電話番号を本機でご利用するために、内線番号の設定やグループ割り当てを行います。

「内線・グループ設定ウィザード」では、画面下部に上図の「ウィザード進行状況」が表示され、現在の設定状況を確認できます。

【ウィザードの中止】

ウィザード進捗状況にある『**取消**』ボタンを押すと、ウィザード中で行った設定と、
ウィザードに入る前に設定が変更中だった場合は、その設定も含めて全て破棄されます。

11.1. 内線・グループ設定ウィザード

内線番号やグループの割り当てを、ウィザードに従い詳細に設定していきます。内線番号の桁数を変更した場合、手動コースにおいても、これまでの内線・グループの設定がすべて初期化されるので、ご注意下さい。

【手動設定の流れ】

11 内線・グループ設定

・　グループ毎の内線番号の割り当て

次へ

11.2.2 内線・グループ追加／修正／削除

・グループと内線を登録

次へ

11.2.3 グループ着信設定

・グループ着信時の着信番号と
鳴動内線を指定

ダイヤルイン設定

次へ

11.2.4 ダイヤルイン設定

・内線番号へダイヤルインの指定

次へ

11.2.5 グループダイヤルアウト設定

・外線発信時の回線を指定

次へ

11.2.6 内線機種選択

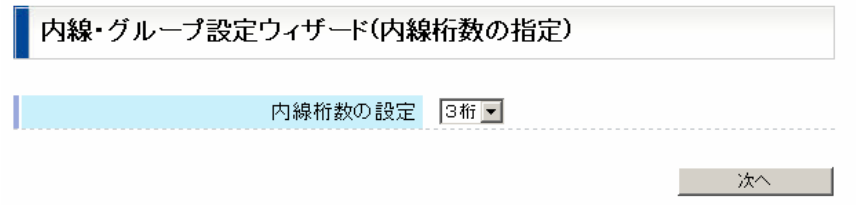
・内線電話で使用する機種を指定

11.2. 内線・グループ設定ウィザード

11.2.1. 内線・グループ設定

内線番号・グループの追加／修正／削除、およびグループごとの内線の割り当てを行います。

内線番号は「100 番台」は推奨しません。110 番 119 番などの特番の番号と重複し、誤発信の原因になってしまうためです。また FOMA「N900iL」の場合、100 番台の特定番号については外線発信してしまいます。



【内線桁数の設定】

内線で使用する桁数（２～４桁）を選択します。

11.2.2. 内線・グループ追加／修正／削除

内線番号・グループの追加／修正／削除、およびグループごとの内線の割り当てを行います。

内線番号は「100 番台」は推奨しません。110 番 119 番などの特番の番号と重複し、誤発信の原因になってしまうためです。また FOMA「N900iL」の場合、100 番台の特定番号については外線発信してしまいます。

【グループ追加】

新たにグループ名[I]を指定して、『**追加**』ボタンを押すことで、グループを追加します。

最大 8 グループを作成できます。

【グループ名・グループ番号の変更】

表示されているグループ名またはグループ番号を選択し、修正することで、グループ名またはグループ番号の変更ができます。

【グループ削除】

表示されているグループ名の『**削除**』ボタンを押すことで、グループの削除が行われます。グループの削除を行うと、属している内線番号も自動的に削除されます。

[I] 全角文字および半角英数記号を入力（30byte 以内）「¥」は入力不可

【グループに属さない内線】

ダイヤルイン設定を行わないと、外線から発着信はできません。(回線選択テーブルまたは内線個別設定のダイヤルアウトをご利用すると発信は可能です。)

グループに属さないため他の内線電話よりピックアップが行えません。

【内線番号追加】

グループごとに割り当てる内線番号を入力し『**追加**』ボタンを押します。

内線番号の指定には「 200-210,213,215-220 」のように、「 , - 」を使い複数番号や範囲指定による内線番号の入力を行えます。

例 1 :「 200,213 」200 番と 213 番を一度に入力します。

例 2 :「 200-210 」200 番から 210 番までを登録します。(「 210－200 」はエラーとなります)

【内線番号削除】

グループから削除する内線番号を入力し『**削除**』ボタンを押します。

【内線・グループ登録時の制限事項】

※ 内線番号が 1 つも登録されていないグループは、登録できません。

※ 同一名のグループは登録できません。

11.2.3. グループ着信設定

「11.2.2 内線・グループ追加／修正／削除」で割り当てられた内線・グループ割り当てに対し、グループごとに割り当てる外線番号を指定すると同時に、外線からの着信時に呼出音が鳴る内線電話の指定を行います。内線番号に外線番号を直接割り当てるダイヤルイン設定は「11.2.4 ダイヤルイン設定」で行います。

- **着信番号の設定**

  【着信番号を追加】

  ダイヤルイン番号一覧よりダイヤルイン番号を選択し、グループごとに着信番号『**<ー追加**』ボタンを押すことで、グループごとに着信番号を設定します。

  【着信番号を削除】

  グループごとの着信番号でダイヤルイン番号を選択し、『**削除ー>**』ボタンを押すことで、着信番号を削除します。

- **2次～3次着信の指定**

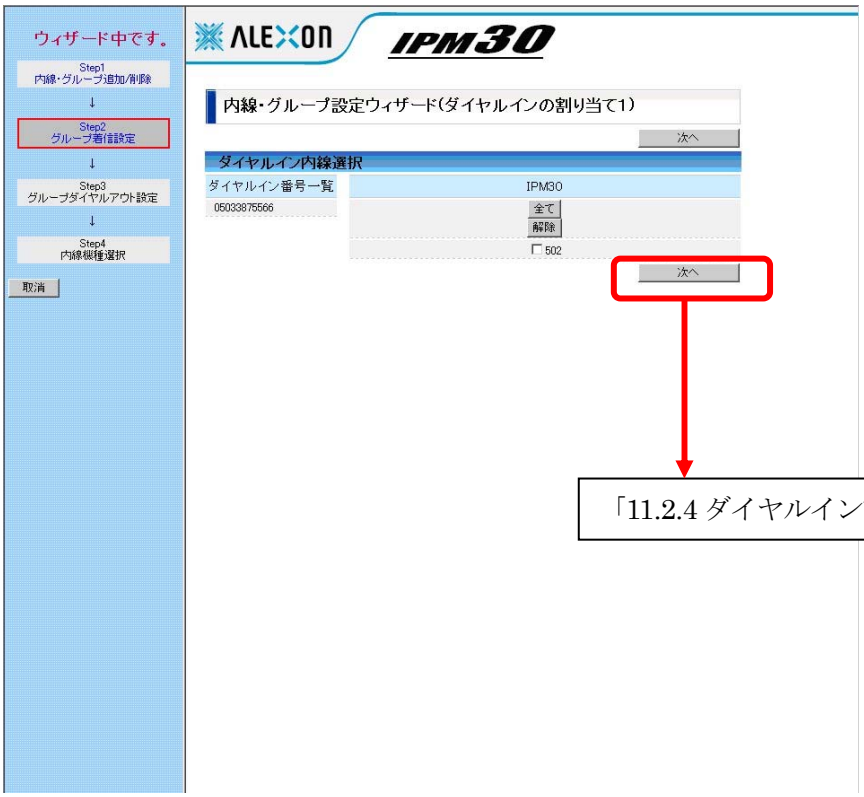
  外線からの着信があった場合、最初に1次着信で指定されている内線電話が鳴ります。
  2～3次着信を「3～30秒」と指定したとき、鳴動開始から指定された時間が経過すると、呼出音が鳴る電話が移ります。(2～3次着信を鳴らしたくないときは「無し」を指定します。)

- **1次・2次・3次着信内線番号の指定**

  グループごとにチェックを付けた内線番号が、着信呼出音が鳴ります。(**各10台まで**)呼出音が鳴る内線は、1次～3次のそれぞれ(**各10台まで**)指定することが出来ます。
  初期値は、各グループチェックが付いていません。

11.2.4. ダイヤルイン設定

外線から着信するダイヤルイン番号と内線番号と１対１に直接割り当てます。グループごとに外線番号を直接割り当てるグループ着信設定は「11.2.3 グループ着信設定」で行います。



- **ダイヤルイン内線の指定**

  ダイヤルインの設定を行う内線番号を選択し『**次へ**』ボタンを押す。

  表示されるダイヤルイン番号は「11.2.3 グループ着信設定」でグループ着信の指定がされていない番号が表示されます。

  既にダイヤルイン内線の設定が行われているときは、ダイヤルイン番号の横に内線番号が表示され、内線番号のチェックボックスも選択済みになっています。

【全て】

『**全て**』ボタンを押すと、チェックボックス全てが選択されます。

【解除】

『**解除**』ボタンを押すと、チェックボックス全ての選択が解除されます。

「11.2.4 ダイヤルイン設定」のつづき

選択した内線番号と割り当てるダイヤルイン番号を指定します。前画面でチェックを付けた内線番号に、ダイヤルインの IP 電話番号が自動で割り当てられます。IP 電話番号が足りない場合は、内線番号の小さい順に割り当てられます。（ISDN は、自動では割り当てられません。）ダイヤルイン内線が設定済みの場合は、自動割当てより優先されます。

- **ダイヤルイン番号の割り当て**

【追加】

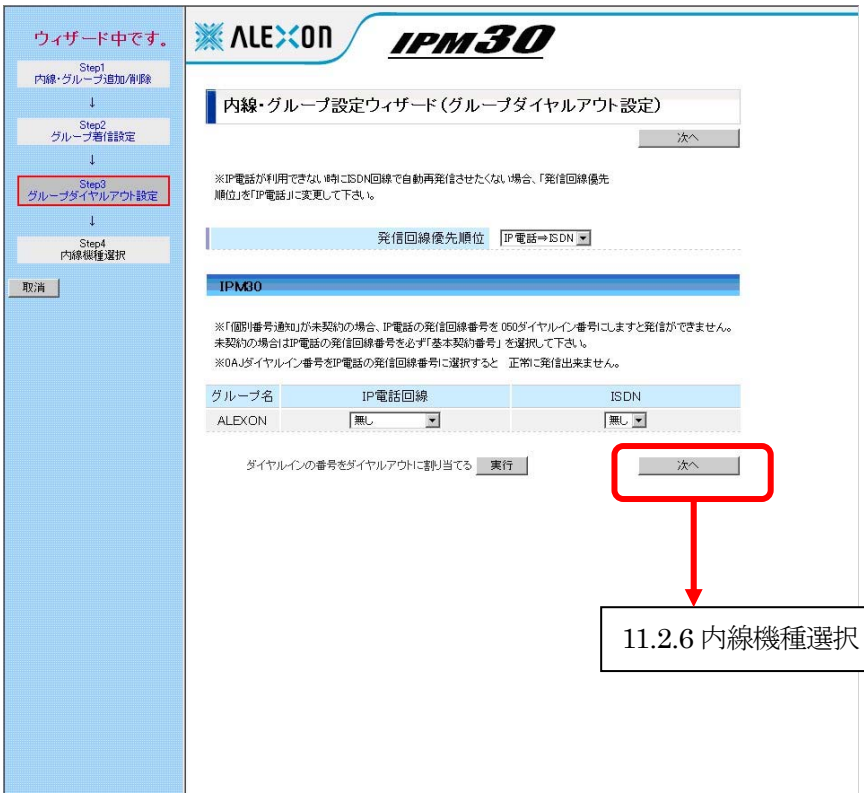
ダイヤルイン番号一覧よりダイヤルイン着番号を選択し、各内線番号のダイヤルイン番号『**＜ー追加**』ボタンを押すことで、各内線番号へダイヤルイン番号を設定します。

【削除】

各内線番号のダイヤルイン着番号を選択し、『**削除ー＞**』ボタンを押すことで、ダイヤルイン番号を削除します。

11.2.5. グループダイヤルアウト設定

グループごとに内線電話から外線へ発信する際の、発信電話番号を指定します。
初期値としてダイヤルインの番号が選択されています。



- **デフォルトダイヤルアウト優先度（迂回の設定）**

  外線発信時に使用する電話回線の種類の優先順位を以下より指定します。

  ・IP 電話⇒ISDN（初期値）
  ・ISDN⇒IP 電話
  ・IP 電話
  ・ISDN

- **発信電話番号の指定**

  グループごとに発信する電話番号の種類（IP 電話、ISDN）毎に電話番号を指定します。

【実行】

グループ着信番号をグループダイヤルアウト番号に割り当てる。

ご注意

- 発信電話を迂回させたくないときは、デフォルトダイヤルアウト優先度の設定を「IP 電話」「ISDN」のいずれかを指定して下さい。
- IP 電話がご利用できない時に ISDN 回線で自動再発信させたくない場合、「発信回線優先順位」を「IP 電話」に変更して下さい。
- 「個別番号通知」が未契約の場合、IP 電話の発信回線番号を 050 ダイヤルイン番号にしますと発信ができません。未契約の場合は IP 電話の発信回線番号を必ず「基本契約番号」を選択して下さい。
- 0AJ ダイヤルイン番号を IP 電話の発信回線番号に選択すると　正常に発信できません。

11.2.6. 内線機種選択

これまで設定してきた内線・グループ設定の内線一覧を確認すると同時に、それぞれの電話機の機種を指定します。画面上の電話マークは１次着信が設定されている内線番号を表しています。

- **機種の選択**

【機種】

実際の機器の設置状況に合わせて、本機でご利用できる機種「IS 、TEL1、TEL2、N900iL」を指定します。**GW モードすると、NT1、NT2、NT1/NT2 の指定が出来ます。**（詳しくは、「9.3.1 PBX モード／GW モード」・「12.5 NT ポート設定」を参照ください。）

【完了】

全ての設定を行い『**完了**』ボタンを押すと、設定内容が保存され「14.1 設定情報」が表示されます。

ご注意

- 本機には、TEL ポートが 2 ポート「TEL1」「TEL2」しかないため、設定は各一つです。TEL1、TEL2 を重複して選択されたときはエラーメッセージが表示されます。

12. 詳細設定

これまで「11 内線・グループ設定」で行ってきた設定を、より詳細に設定変更する際に使用します。

12.1. 内線個別設定

12.1.1. 内線設定確認

登録されている内線番号を一覧で確認します。赤いイラストの電話アイコンは、1 次着信設定がされているグループです。

- **機種の選択**

【機種】

実際の機器の設置状況に合わせて、本機でご利用できる機種「IS 、TEL1、TEL2、N900iL」を指定します。**GW モードすると、NT1、NT2、NT1/NT2 の指定が出来ます。**（詳しくは、「9.3.1 PBX モード／GW モード」・「12.5 NT ポート設定」を参照ください。）

【完了】

全ての設定を行い『**完了**』ボタンを押すと、設定内容が保存され「14.1 設定情報」が表示されます。

12.1.2. 内線設定修正

内線番号の認証パスワードや外線発信時などの設定を個別に変更します。

- **認証パスワード**

  パスワード認証[II]

- **外線発信**

  ダイヤルアウトの有無を指定します。『**なし**』を設定すると、外線発信は行えなくなります。
  また「ダイヤルアウト」の項目は設定出来なくなります。

- **ダイヤルアウト**

  グループダイヤルアウト設定よりも、内線個別のダイヤルアウト設定が優先されます。

  【優先度】

  外線発信時に使用する電話回線の種類の優先順位を以下より指定します。

  ・IP 電話⇒ISDN（初期値）
  ・ISDN⇒IP 電話
  ・IP 電話
  ・ISDN

  【IP 電話、ISDN】

  外線発信に使用できる電話回線ごとの電話番号を指定します。

- **機種**

  内線電話として使用する機器の機種を指定します。

- **設定の反映**

  設定後『5.5 設定の反映』を行う必要があります。

※ この画面からは、グループの追加削除は行えません。グループの追加削除は「3.3 内線・グループ設定ウィザード」より設定します。

[II] パスワード認証…半角英数字を入力（10 文字以内）　初期値は内線番号と同じ

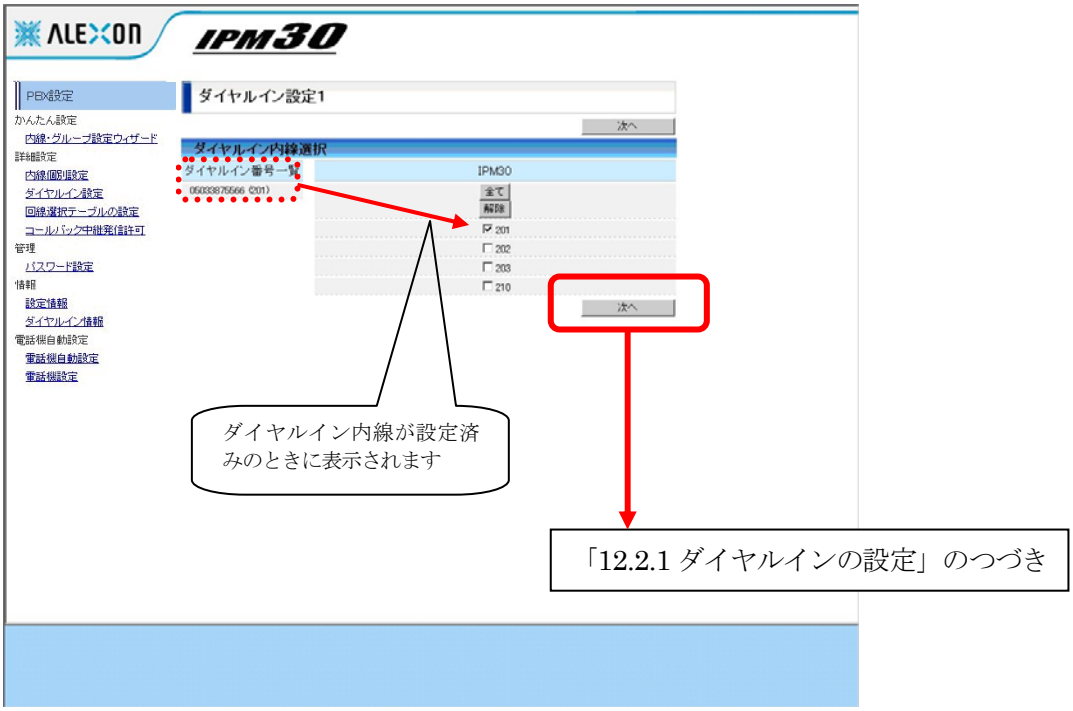
ご注意

- IP 電話がご利用できない時に ISDN 回線で自動再発信させたくない場合、「発信順位」を「IP 電話」に変更して下さい。
- 「個別番号通知」が未契約の場合、IP 電話の発信回線番号を 050 ダイヤルイン番号にしますと発信ができません。未契約の場合は IP 電話の発信回線番号を必ず「基本契約番号」を選択して下さい。
- 0AJ ダイヤルイン番号を IP 電話の発信回線番号に選択すると正常に発信できません。

12.2. ダイヤルイン設定

12.2.1. ダイヤルインの設定

外線から着信するダイヤルイン番号と内線番号とを１対１に直接割り当てます。



- **ダイヤルイン内線の指定**

  ダイヤルインの設定を行う内線番号を選択し『**次へ**』ボタンを押す。
  表示されるダイヤルイン番号は「11.2.3 グループ着信設定」でグループ着信の指定がされていない電話番号が表示されます。
  既にダイヤルイン内線の設定がされている場合は、ダイヤルイン番号の横に内線番号が表示され、内線番号のチェックボックスも選択済みになっています。

【全て】

『**全て**』ボタンを押すと、チェックボックス全てが選択されます。

【解除】

『**解除**』ボタンを押すと、チェックボックス全ての選択が解除されます。

選択した内線番号と割り当てるダイヤルイン番号を指定します。

前画面でチェックを付けた内線番号に、ダイヤルインの IP 電話番号が自動で割り当てられます。IP 電話番号が足りない場合は、内線番号の小さい順に割り当てられます。（ISDN は、自動では割り当てられません。）ダイヤルイン内線が設定済みの場合は、自動割当てより優先されます。

- **ダイヤルイン番号の割り当て**

  【着信番号を追加】

  ダイヤルイン番号一覧よりダイヤルイン番号を選択し、各内線番号のダイヤルイン番号『**＜ー追加**』ボタンを押すことで、各内線番号へダイヤルイン番号を設定します。

  【着信番号を削除】

  各内線番号のダイヤルイン番号を選択し、『**削除ー＞**』ボタンを押すことで、ダイヤルイン番号を削除します。

- **設定の反映**

  設定後『5.5 設定の反映』を行う必要があります。

12.3. 回線選択テーブルの設定

プレフィックス番号を設定したときや、特定の電話番号に外線発信したとき、ダイヤルアウト優先順位に関係なく、使用する回線を指定して発信できます。

- **プレフィックスとは**

  プレフィックス番号は相手の電話番号の前につけて発信先を指定する為のものです。入力した電話番号からプレフィックス番号は削除されて、指定する宛先に発信されます。

  プレフィックス番号の登録可能桁数は 0～5 桁迄です。

  プレフィックス番号に何も設定しない場合(0 桁)、プリフィックス番号は検査されません。

ご注意

- プレフィックス番号と回線選択テーブルを同時設定した場合、プレフックス番号と回線選択テーブル設定は And 条件で一致した指定回線へ発信されます。
- プレフィックス番号に'1'で始まる番号を登録しますと、緊急電話等と区別がつかない為、正常に使用できません。'1'で始まる番号を登録しないように御願いします。
- プレフィックス番号で IP 回線を選択した場合、プレフィックス番号での発信では ISDN 回線特有のサービスは利用できませんのでご注意下さい。
- 回線選択テーブルで発信した場合、発信者番号は設定したダイヤルアウト番号に従わず、IP 発信ならば基本契約番号、ISDN 発信ならば回線番号 1 から順番に空き回線を探して契約者回線番号で発信します。

ワンポイント

- プレフィックス・回線選択テーブル・ダイヤルアウト優先順位の発信ルール
  1. プレフィックス番号「0000」で ISDN 回線へ発信。
  2. 固定回線選択テーブルでヒットした指定回線へ発信。
  3. ユーザ設定のプレフィックス番号で指定回線へ発信。
  4. ユーザ設定の回線選択テーブルでヒットした指定回線へ発信。
  5. ダイヤルアウト優先順位設定に従って発信。

- **回線選択テーブルの設定**

【設定】

「プレフィックス[III]」または「宛先電話番号[IV]」、「回線」を入力し、『**設定**』ボタンを押すと、回線選択テーブルが設定されます。

【追加】

「プレフィックス」または「宛先電話番号」、「回線」を入力し、『**追加**』ボタンを押し、さらに『**設定**』ボタンを押すことで、「設定が変更されています。」の状態になり、回線選択テーブル設定に追加されます。プレフィックスと宛先電話番号は、どちらか一方だけ設定することも可能です。両方設定した場合は、AND 条件となります。

回線選択テーブルは最大 50 件まで登録可能です。

注意：宛先電話番号を指定して、市内通話を回線選択テーブルする場合は、市外局番在りと無しで発信番号が２種類になりますので必要に応じて設定して下さい。（電話機からの発信番号で回線選択テーブルは行われます。）

※プレフィックスの「1#」「2#」「0*」はシステムで使用しているため、指定することはできません。

【削除】

消去したい回線選択テーブル設定の並びの『**削除**』ボタンを押し、さらに『**設定**』ボタンを押すことで、「設定が変更されています。」の状態になり、回線選択テーブル設定が削除されます。

【変更】

プレフィックスや宛先電話番号、回線の変更を行い『**設定**』ボタンを押すことで、「設定が変更されています。」の状態になり、回線選択テーブル設定が変更されます。

- **設定の反映**

設定後『5.5 設定の反映』を行う必要があります。

ご注意

- 「8.1.4VoIP 電話基本設定」で市外局番を設定して「回線選択テーブル」をご利用する場合、市外局番を入力した時としない時では発信先が同じであっても、違うダイヤル番号とみなされ、回線選択テーブルの条件に満たない場合があります。
- プレフィックス番号を使用せずに回線選択テーブルに市外局番（例：03.）や電話番号（例：0312345678）を設定すると発信先を決められます。
- ’.’は任意の１桁以上の数字を意味します。ダイヤルした番号（設定番号と任意の 1 桁以上の数字）と先頭マッチすると回線選択テーブルの発信先に従って発信されます。
- ’.’無しの設定番号の場合は、全桁一致すると回線選択テーブルの発信先に従って発信されます。
- ’X’は’0’～’9’のいずれかのダイヤル番号を意味します。
- 最大 50 件まで登録できます。
- 番号はハイフン’－’を外して入力してください。
- 回線選択テーブルで発信した場合、発信者番号は設定したダイヤルアウト番号に従わず、IP 発信ならば基本契約番号、ISDN 発信ならば回線番号１から順番に空き回線を探して契約者回線番号で発信します。

III プレフィックス…半角数字および「＃＊」を入力（5 文字以内）

IV 宛先電話番号…半角数字および「＃　＊Ｘ．」を入力（32 文字以内）「X」任意の１文字マッチ、「.」(ピリオド)、任意の複数文字にマッチ

12.4. コールバック中継発信の設定

外出先から相手先に電話する時、本機を通して発信すると通話料金を本機側に持たせることができます。

コールバックを許可する電話番号（最大 100 件）を登録し、チェックボックスをチェックすることで、登録済みの電話からの着信があると、自動的にかかってきた経路（IP／ISDN）を優先にして電話をかけ直します。

着信した登録電話は、新たに相手先電話番号を入力すると、かかってきた経路（IP 電話）で発信し、本機が中継して相手先と通話ができます。

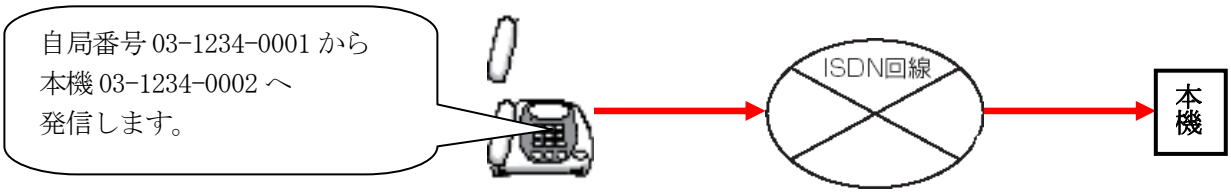
ご注意

- IP 電話番号（本機契約番号：050-3401-xxxx）で着信した場合、IP 電話を使ってコールバックします。回線状況によりコールバック中継発信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本機の ISDN 回線契約番号へ発信してください。
- IP 電話をコールバック中継や着信転送で 4 回線使用中の時、新たにダイヤルした番号で ISDN 回線へ発信します。通常の発信動作と異なる場合がありますのでご注意ください。

操作手順

ISDN 回線を使って、電話番号（03-1234-0001：本機がコールバックを許可する電話番号）の電話から本機（03-1234-0002：本機の着信電話番号）を通して相手先（03-1234-0003）へ無料通話する場合

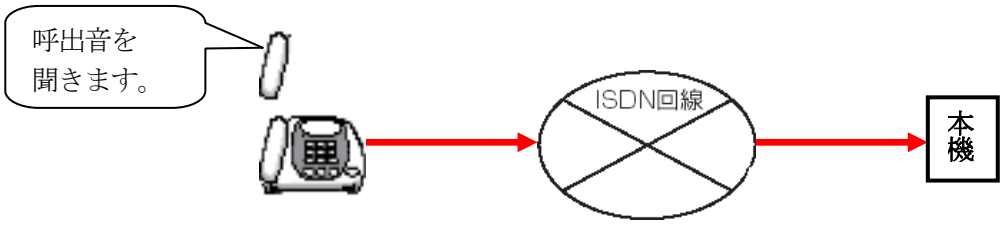
1. 登録済み電話から本機へ発信します。



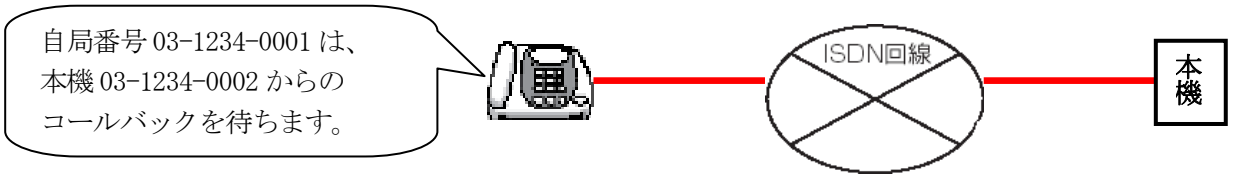
ご注意

- コールバックをするには、本機に発信者番号を通知する必要があります。
- 発信者番号通知するには「INS ナンバー・ディスプレイ」の契約が必要な場合があります。

2. 呼出音を聞きます。



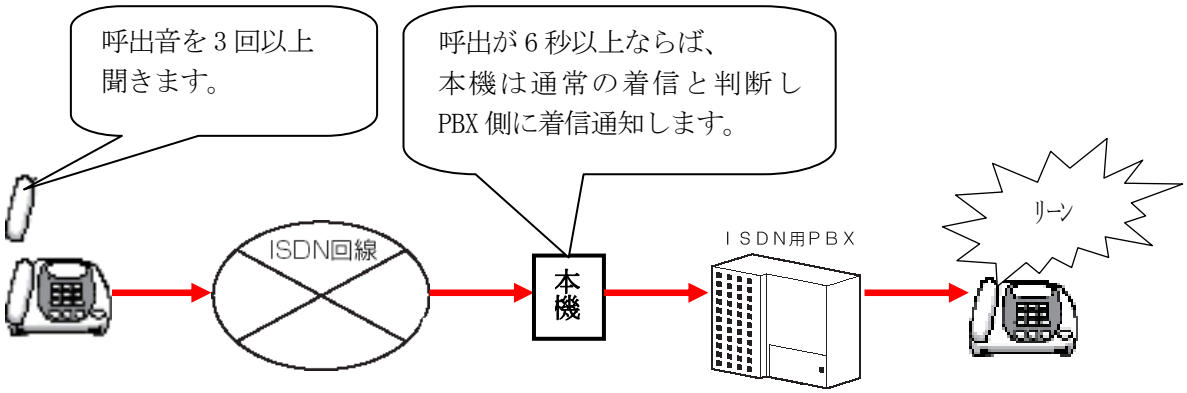
3. 呼出音が聞こえたら、**直ぐに（呼出音１回：５秒以内）**一旦電話を切断します。



ご注意

- 指定 PBX ポートがビジーの場合、着信の設定に関わらず空き PBX ポートへ着信通知します。空き PBX ポートが無ければコールバックしません。
- IP 電話からのコールバック要請に対して、基本契約番号でコールバックします。
- コールバックで使用する IP 電話に空きチャンネルが無い場合コールバックしません。
- ISDN 回線からのコールバック要請は、ISDN 回線に空きチャンネルが無い場合や ISDN 回線発信禁止（設定スイッチ番号１が ON）の時はコールバックしません。
- コールバック待ちで2分以上コールバックが無ければ、上記が原因と思われます。再度やり直してください。

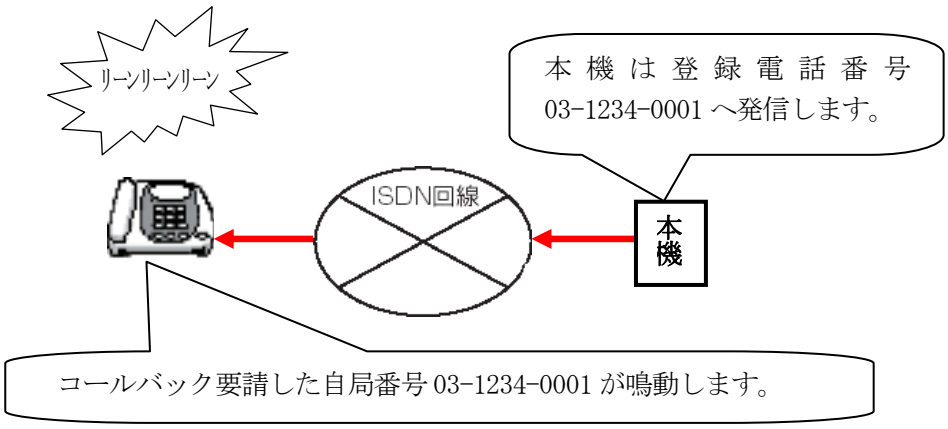
４．登録電話がコールバック機能を利用しない場合、呼出音を３回以上聞きます。その後、項目９へ。



ご注意

- PBX 側ボタン電話機には、登録電話の最初の呼出音のほぼ２回（約５秒間）は聞こえません。
- コールバック機能と着信転送機能が有効の場合、コールバック機能を優先します。また、コールバック通常着信操作をした場合、着信転送はしません。
- コールバック許可番号がアナログ回線又は IP 電話で本機の ISDN 回線に着信したとき、着信番号が使用中の場合、呼出音が継続することがあります。その様な時は、しばらくしてからおかけ直しください。
- 登録電話がコールバック機能を利用しない場合、発信者番号を非通知にして電話をかけることでも可能です。

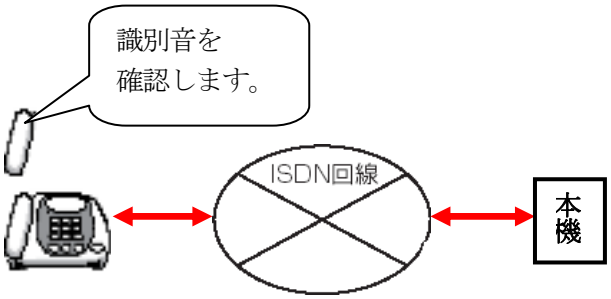
5．項目 3 より、本機は登録電話の自局番号 03-1234-0001 へコールバックします。



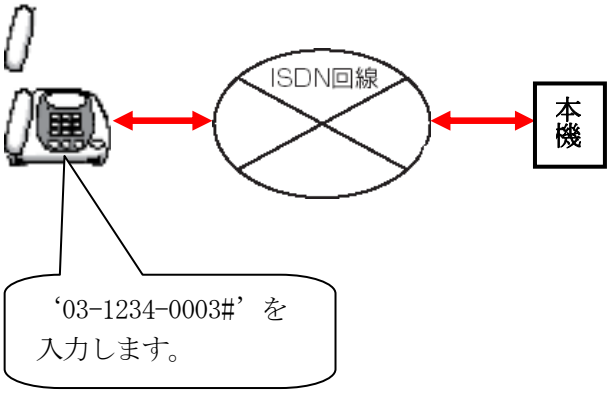
ご注意

- 本機がコールバックしたときに、登録電話が話し中ならばコールバックは直ぐに終了します。また、登録電話がオフフックしない場合は、2 分間呼出を継続した後コールバックを終了します。

6．登録電話がオフフックして**識別音**を確認します。



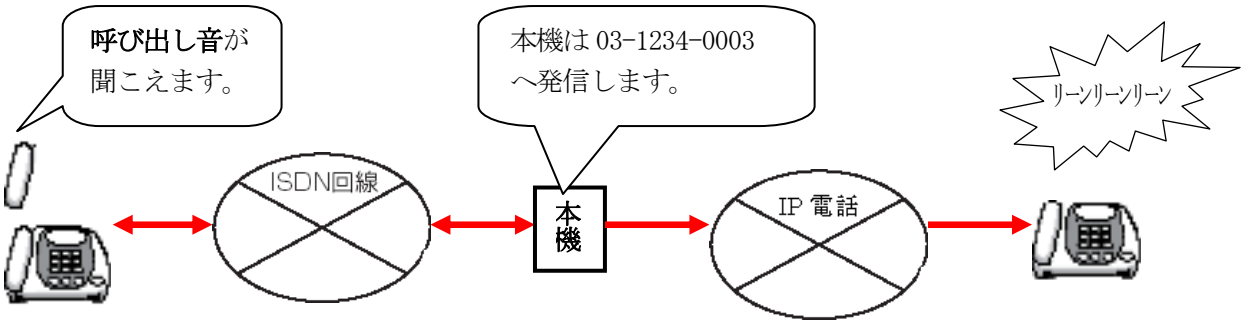
7．登録電話は受話器をオフフックしたまま**‘相手先電話番号’と‘#’**を押下します。



ワンポイント

- 相手先電話番号の入力を誤った場合、‘＊’を入力します。その後、‘ツー’の音を確認してから再度相手先の電話番号を入力できます。

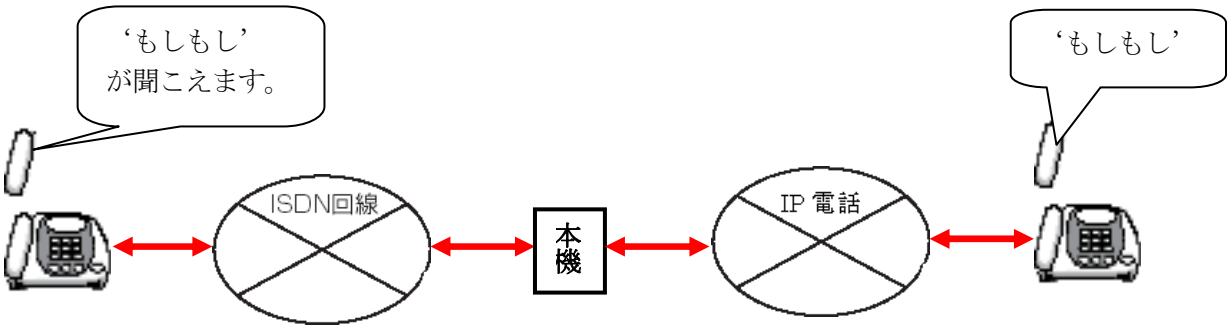
8．本機は相手先へ発信します。



ご注意

- IP 発信の時は相手呼び出し時に呼び出し音ではなく**保留音**を流します。ISDN 発信の時は**呼び出し音**を流します。

9．相手先がオフフックすると通話が可能になります。



ご注意

- コールバック処理中は、新たなコールバック着信は通話中として拒否します。
- コールバック処理とは、コールバック受付（項目 2）からコールバック発信（項目 9）迄とします。

【有効】

このチェックボックスをチェックすることで、コールバック中継発信機能が有効になります。

【コールバックを許可する電話番号】

コールバック中継発信を許可したい電話番号を入力します。半角数字（32 桁以内）。

最大 100 番号まで設定することができます。

【設定】

「有効」と「コールバック中継発信を許可する電話番号」を入力し、「設定」ボタンを押すとコールバック中継発信が設定できます。

- **設定の反映**

  設定後『5.5 設定の反映』を行う必要があります。

12.5. NT ポート設定

本機に NT ボードを実装（標準仕様）しますと、レガシービジネスフォン（以後、PBX と呼ぶ）の ISDN 回線の S/T 点と接続が可能です。本機の内線情報を接続 PBX に合わせて回線番号・ダイヤルイン番号・i ナンバー情報に変換し、接続 PBX から本機を通して IP 網や ISDN 回線と接続できます。

内線機種種別を NT1 又は NT2 を選択しますと下記設定画面を表示します。(NT2 の設定画面は、下にスクロールしますと表示されます。)

内線機種種別を NT1／NT2 を選択しますと下記設定画面を表示します。

ご注意

- NT ポートの設定には、NT ボードの実装と http://ipm30.set/adm/で「メンテナンス」→「PBX モード／GW モード」で「GW モード」の設定が事前に必要です。『9.3.1 PBX モード／GW モード』をご参照下さい。
- NT1・NT2、NT1／NT2 の変更は『11 内線・グループ設定』から再度設定下さい。

12.5.1. ダイヤルインの設定

本機の内線情報を接続 PBX に合わせて回線番号・ダイヤルイン番号 情報に変換し、接続 PBX から本機を通して IP 網や ISDN 回線と接続できます。また、本機と PBX 間でダイヤルイン番号に限りサブアドレスの設定が有効です。(NT2 の設定画面は、画面下にスクロールしますと表示されます。)

【回線番号】

契約回線番号を設定します。半角数字(32 桁以内)。市外局番は省いて入力して下さい。

【内線番号】

PBX で使用する「回線番号」と NT1 または NT2 に設定した「内線番号」を設定します。
PBX からの発信時は、発番号と「回線番号」が一致した「内線番号」に変換します。
ただし、初期設定状態（未設定時）は PBX からの発信は NT1 または NT2 に設定した内線番号群の若番号に変換し、PBX への着信はグローバル着信として通知します。
※　「回線番号」、「内線番号」は必ず設定して下さい。内線番号は重複設定できません。

【グローバル着信】（初期値：有り）

回線番号を PBX に通知する時にグローバル着信「有り」／「無し」を設定します。
有り：「回線番号」の「内線番号」に着信した場合、グローバル着信として通知します。
無し：「回線番号」の「内線番号」に着信した場合、「回線番号」を通知します。

【ダイヤルイン・ｉナンバー】（初期値：ダイヤルイン）

ダイヤルインを選択します。

【ダイヤルイン 1～20】

設定した「内線番号」に着信すると「ダイヤルイン番号」に変換して、接続 PBX へ通知します。「ダイヤルイン番号」に限って「*」の後にサブアドレスを設定することができます。また、サブアドレスを設定した場合、PBX への着信時は「ダイヤルイン番号」とサブアドレスを通知します。設定されていない「内線番号」への着信は、グローバル着信として通知します。
設定した「ダイヤルイン番号」と一致する発信はその「内線番号」に変換します。「ダイヤルイン番号」に一致しない発番号は、「回線番号」に設定されている「内線番号」に変換します。
※　ダイヤルインを利用する場合、「ダイヤルイン番号」「内線番号」は必ず設定して下さい。また、「ダイヤルイン番号」は重複設定できませんが、サブアドレスが違う場合は設定が可能です。

【内線番号】

NT ポートに指定した内線番号を設定します。但し、内線番号は重複設定できません。

【設定】

「回線番号」と「ダイヤルイン番号」は間を空けて入力しても、設定後に自動的に詰められます。各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。

- **設定の反映**

設定後『5.5 設定の反映』を行う必要があります。

12.5.2. i・ナンバーの設定

本機の内線情報を接続 PBX に合わせて回線番号・i ナンバー番号 情報に変換し、接続 PBX から本機を通して IP 網や ISDN 回線と接続できます。(NT2 の設定画面は、下にスクロールしますと表示されます。)

【回線番号】

契約回線番号を設定します。半角数字(32 桁以内)。市外局番は省いて入力して下さい。

【内線番号】

PBX で使用する「回線番号」と NT1 または NT2 に設定した「内線番号」を設定します。
発信時、PBX からの発番号と「回線番号」が一致した「内線番号」に変換します。また、PBX からｉ・ナンバー１情報で発信した場合も「回線番号」の「内線番号」へ変換します。
ただし、初期設定状態（未設定時）は PBX からの発信は NT1 または NT2 に設定した内線番号群の若番号に変換し、PBX への着信はｉ・ナンバー１着信として通知します。
※　「回線番号」、「内線番号」は必ず設定して下さい。内線番号は重複設定できません。

【グローバル着信】（初期値：有り）

回線番号を PBX に通知する時にグローバル着信「有り」／「無し」を設定します。
有り：「回線番号」の「内線番号」に着信した場合、グローバル着信として通知します。
無し：「回線番号」の「内線番号」に着信した場合、「回線番号」を通知します。

【ダイヤルイン・ｉナンバー】（初期値：ダイヤルイン）

ｉ・ナンバーを選択します。

【ｉ・ナンバー2～3】

「内線番号」のみの設定も可能ですが、この場合は「内線番号」への着信はｉ・ナンバー情報で通知します。設定されていない「内線番号」への着信は、ｉ・ナンバー1 着信として通知します。設定した「ｉ・ナンバー2、3」番号と一致する発信はその「内線番号」に変換します。
また、「ｉ・ナンバー2、3」情報での発信もその「内線番号」に変換します。
「ｉ・ナンバー2、3」番号に一致しない発番号は、「回線番号」に設定されている「内線番号」に変換します。
※　ｉ・ナンバーを利用する場合、ｉ・ナンバー2 の「内線番号」は必ず設定してください。
「ｉ・ナンバー2、3」番号は重複設定できません。

【内線番号】

NT ポートに指定した内線番号を設定します。但し、内線番号は重複設定できません。

【設定】

「回線番号」と「ｉ・ナンバー2、3」番号は間を空けて入力しても、設定後に自動的に詰められます。各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。

- **設定の反映**

設定後『5.5 設定の反映』を行う必要があります。

12.5.3. 代表ダイヤルインの設定

本機の内線情報を接続 PBX に合わせて回線番号・ダイヤルイン番号 情報に変換し、接続 PBX から本機を通して IP 網や ISDN 回線と接続できます。着信順番は NT1 から NT2 へと空きチャンネルを探して着信し、4 チャンネル使用中ならばビジーとなる。また、本機と PBX 間でダイヤルイン番号に限りサブアドレスの設定が有効です。

【代表ダイヤルイン・代表組】（初期値：代表ダイヤルイン）

代表ダイヤルインを選択します。

【回線番号１（親番号）】

契約回線番号（代表組**親番号**）を設定します。半角数字(32 桁以内)。市外局番は省いて入力して下さい。

【回線番号２（子番号）】

契約回線番号（代表組**子番号**）を設定します。半角数字(32 桁以内)。市外局番は省いて入力して下さい。

【内線番号】

発信時、PBX からの発番号と回線番号１または回線番号２が一致した場合、その「回線番号」に設定されている「内線番号」に変換します。

ただし、初期設定状態（未設定時）は PBX からの発信は NT1／NT2 に設定した内線番号群の若番号に変換し、PBX への着信はグローバル着信として通知します。

※　「回線番号 1、2」、「内線番号」は必ず設定してください。

【グローバル着信】（初期値：有り）

回線番号を PBX に通知する時にグローバル着信「有り」／「無し」を設定します。

「回線番号 2」は設定に関わらずグローバル着信はしません。

有り：「回線番号」の「内線番号」に着信した場合、グローバル着信として通知します。

無し：「回線番号」の「内線番号」に着信した場合、「回線番号 1」を通知します。

【ダイヤルイン 1～28】

設定した「内線番号」に着信すると「ダイヤルイン番号」に変換して、接続 PBX へ通知します。「ダイヤルイン番号」に限って「*」の後にサブアドレスを設定することができます。また、サブアドレスを設定した場合、PBX への着信時は「ダイヤルイン番号」とサブアドレスを通知します。設定されていない「内線番号」への着信は、グローバル着信として通知します。

設定した「ダイヤルイン番号」と一致する発信はその「内線番号」に変換します。「ダイヤルイン番号」に一致しない発番号は、「回線番号１」に設定されている「内線番号」に変換します。

※　ダイヤルインを利用する場合、「ダイヤルイン番号」「内線番号」は必ず設定して下さい。また、「ダイヤルイン番号」は重複設定できませんが、サブアドレスが違う場合は設定が可能です。

【内線番号】

NT ポートに指定した内線番号を設定します。但し、内線番号は重複設定できません。

【設定】

「回線番号」と「ダイヤルイン番号」は間を空けて入力しても、設定後に自動的に詰められます。各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。

- **設定の反映**

  設定後『5.5 設定の反映』を行う必要があります。

12.5.4. 代表組の設定

本機の内線情報を接続 PBX に合わせて回線番号情報に変換し、接続 PBX から本機を通して IP 網や ISDN 回線と接続できます。NT1／NT2 と指定した内線番号で回線番号 2 に指定した内線番号は、NT2 ポートのみに着信し、2 チャンネル使用中ならばビジーとなる。それ以外は、着信順番は NT1 ポートから NT2 ポートへと空きチャンネルを探して着信し、4 チャンネル使用中ならばビジーとなる。

【代表ダイヤルイン・代表組】（初期値：代表ダイヤルイン）

代表組を選択します。

【回線番号１（親番号)】

契約回線番号（代表組**親番号**）を設定します。半角数字(32 桁以内)。市外局番は必要御座いません。

【回線番号２（子番号)】

契約回線番号（代表組**子番号**）を設定します。半角数字(32 桁以内)。市外局番は必要御座いません。

【内線番号】

NT1 からの発信時は「回線番号 1」に設定されている「内線番号」に変換します。NT2 からの発信時は「NT2（回線番号 2）の発信番号」の設定に依存します。

「回線番号 1」に設定されている「内線番号」への着信は NT1 へグローバル着信として通知します。「回線番号 2」に設定されている「内線番号」への着信は NT2 へグローバル着信として通知します。

ただし、初期設定状態（未設定時）は PBX からの発信は NT1／NT2 に設定した内線番号群の若番号に変換し、PBX への着信はグローバル着信として通知します。

※　「回線番号 1、2」の「内線番号」は必ず設定してください。

【NT2（回線番号 2）の発信番号】（初期値：親番号）

NT2 からの発信時に変換される「内線番号」を設定します。

親番号：「回線番号１」に設定している「内線番号」に変換します。

子番号：「回線番号２」に設定している「内線番号」に変換します。

【設定】

「回線番号 1、2」は間を空けて入力しても、設定後に自動的に詰められます。各設定項目の設定範囲をチェックし、範囲内であれば内容を(メモリ上に)記憶し、最下段に「設定が変更されています」を表示します。

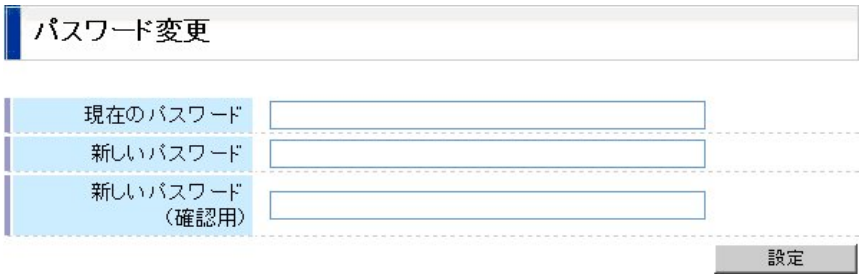
- **設定の反映**

  設定後『5.5 設定の反映』を行う必要があります。

13. 管理

13.1. パスワード変更

本機の PBX モード用パスワードの変更が行えます。



- **パスワードの変更**

  【現在のパスワード】

  現在使用している PBX 用ユーザパスワード[V]を入力します。

  【新しいパスワード】

  新たな PBX 用ユーザパスワードを入力します。

  【新しいパスワード（確認用）】

  入力ミス防止のため、新しいパスワードをもう一度入力します。

- **設定の即時反映**

  パスワードの変更は『**設定**』ボタンを押した時点で『5.5 設定の反映』を行わずに即時に変更が反映されます。

※ 万一パスワードを忘れてしまった場合

ネットワーク管理者用パスワードを忘れてしまった場合、本機の初期化を行う必要があります。このとき本機の電話帳とプレゼンス設定を除くすべての設定が消えてしまうので、パスワードの管理は十分注意して下さい。

[V] PBX 用ユーザパスワード…半角英数記号（8 文字以内）（空欄不可）

14. 情報

現在本機に登録されている設定内容を確認します。

14.1. 設定情報

内線・グループ設定にて登録されている情報を一覧で表示します。

- **内線・グループ設定情報の変更**

  【内線・グループ設定】

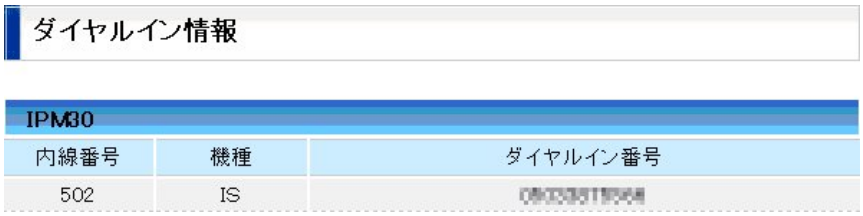
  設定変更は「11.2 内線・グループ設定ウィザード」より行います。

  【内線個別設定】

  設定変更は「12.1 内線個別設定」より行います。

14.2. ダイヤルイン情報

内線番号ごとに設定されているダイヤルイン番号を一覧で表示します。



- **ダイヤルイン情報の変更**

  【ダイヤルイン設定】

  設定変更は「12.2 ダイヤルイン設定」より行います。

14.3. 通話履歴

通話履歴を一覧で表示します。

- **通話履歴**

  【通話履歴の保存】

  通話履歴を cdr.csv の名前で保存します。

  【通話履歴の削除】

  通話履歴を削除します。

15.　ボタン電話機設定（IS）

15.1.　電話機自動設定

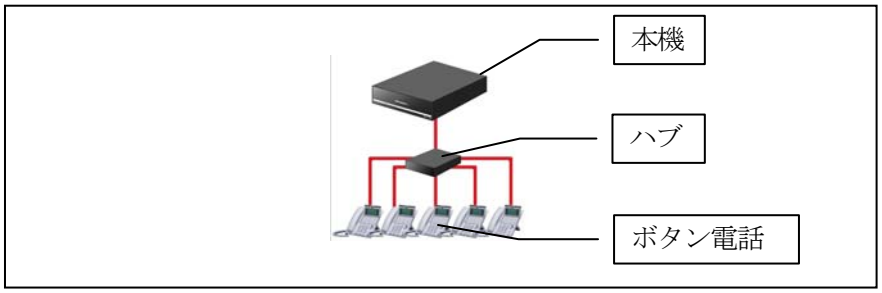
本機で設定した内線電話やラインボタンの設定情報を元に、電話機に自動で内線番号やラインボタンを設定します。

自動設定は、電話機の初期導入の際など一括して設定・設置していくことを想定しています。このためネットワークに接続されている全ての電話機の設定を初期化し、一括して設定を行うため、任意の電話機に内線番号を割り振ることはできません。

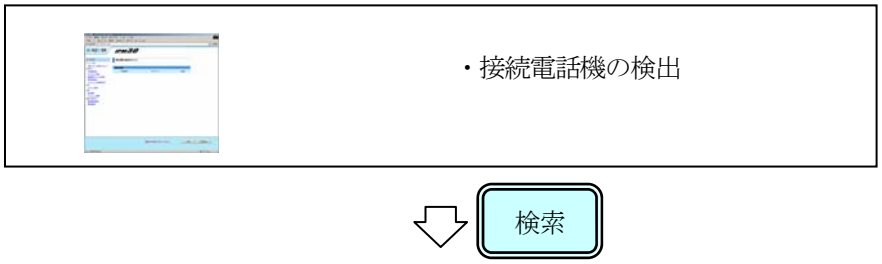
※この設定を行うと、電話機にすでに設定されている内線番号、ラインボタンの情報は消去されます。

【電話機自動設定の流れ】

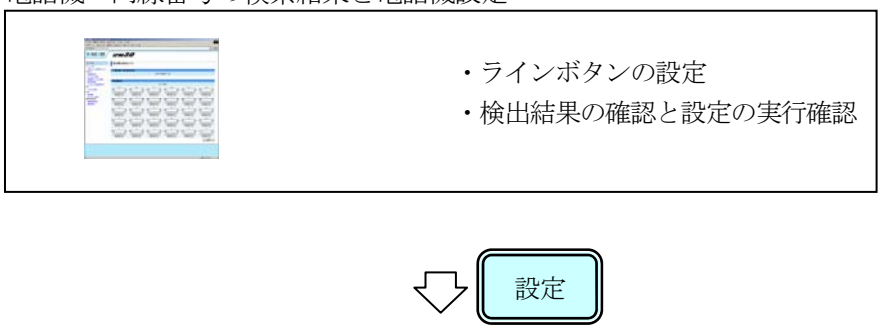
15.1.1 環境構築（事前準備）



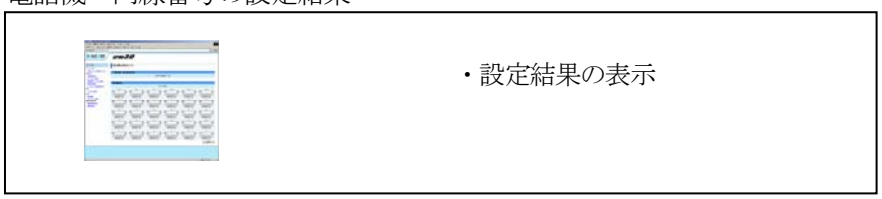
15.1.4 電話機・内線番号の検索



15.1.5 電話機・内線番号の検索結果と電話機設定



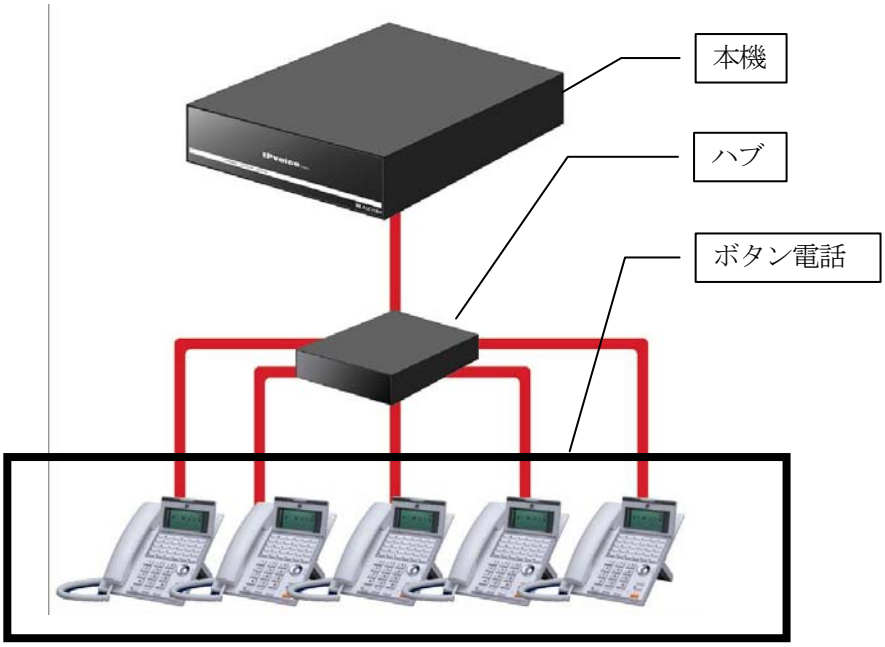
15.1.6 電話機・内線番号の設定結果



15.1.1. 環境構築（事前準備）

電話機自動設定を行うにあたり、事前に以下の準備を行っておく必要があります。

1．本機で内線番号を設定し、内線機種を設定しておきます
2．電話機で DHCP 設定を行い、IP アドレスを取得しておきます
3．電話機のみをネットワーク接続しておきます



あらかじめ電話機の設定を「15.1.2 電話機を DHCP に設定」から行って下さい。また設定ボタンを押下する前に、電話機の設定を「15.1.3 電話機をローカル保守に設定」から行って下さい。

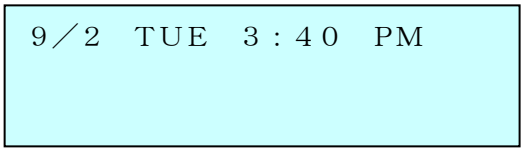
ワンポイント

- 上記パスワードは初期値です。運用開始時には安全管理の為にパスワードを変更して下さい。
- パスワードを変更するには、「9.3.5 パスワード変更」をご参照下さい。

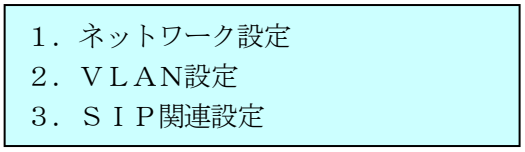
15.1.2. 電話機を DHCP に設定

【メニューの表示】

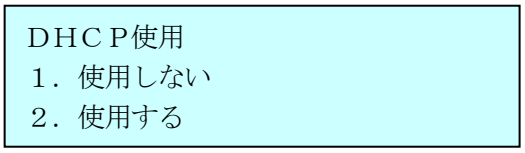
1．カレンダ／時計表示をしているとき［確定］ボタンを押して**下さい**。



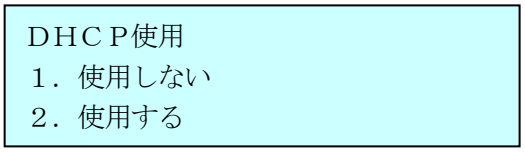
2．［1（ネットワーク設定)］を選択して下さい。



3．［1（ＤＨＣＰ使用)］を選択して下さい。

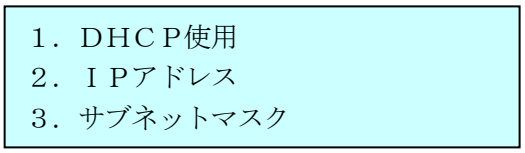


4．［2（使用する)］を選択し［確定］ボタンを押して下さい。



5．［確定］ボタンを押して下さい。

※ 設定内容が更新され、ネットワーク設定メニュー表示に戻ります。

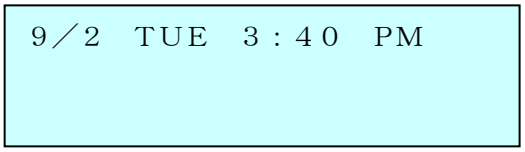


6．着信履歴ボタンを２回押し、「設定が変更されました。再起動が必要です。再起動しますか。」と表示されるので、「ハイ」を選択し再起動。設定を反映します。

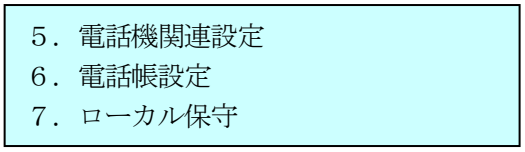
15.1.3. 電話機をローカル保守に設定

【メニューの表示】

1．カレンダ／時計表示をしているとき［確定］ボタンを押して**下さい**。



2．［7（ローカル保守)］を選択して下さい。



3．「ローカル保守」を表示します。

ワンポイント

- 電話機の設定を失敗した場合、電話機単体の初期化が可能です。
  1．電話機のLANケーブルを外す。
  2．電話機の電源を切断する。
  3．「確定」と「3」ボタンを同時に押下する。
  4．電話機の電源を投入する。
  5．「初期化」表示を確認する。
  6．ボタンを離す。
  7．しばらくすると、電話の単体初期化を完了します。
  8．電話機にLANケーブルを接続する。

15.1.4. 電話機・内線番号の検索

本機とネットワークで接続された、設定対象となる電話機を検索します。

- **電話機の検索実行**

  画面に表示されている『**検索**』ボタンを押して下さい。

- **【検索実行時の確認事項】**

  本機の設定が他の操作で変更されているときは、電話機自動設定を実行する前に**反映**または**反映取消**を行ったのち、『**検索**』ボタンを実行します。

15.1.5. 電話機・内線番号の検索結果と電話機設定

検出された電話機を表示すると同時に、電話機に割り当てるラインボタンの設定を行います。

【IS 電話機一覧（検索結果）】

検出した IS 電話機をすべて表示します。

【電話機設定】

ラインボタンの機能を選択します。

[代理応答]

同じグループに属す他の端末が着信しているときに代理で応答します。

但し、代理応答の履歴は登録されず、通話相手の電話番号は表示されません。

[パーク保留]

パーク保留・パークピックアップを行います。

[ワンタッチ番号]

IS 電話機の電話帳に登録しているワンタッチ番号に発信します。

この際、短縮番号の登録番号 1～30（半角数字）も合わせて指定します。

[内線番号指定]

内線番号を指定して鳴動音を選択できます。

この際、内線番号および鳴動音を合わせて指定します。

[マイク]

マイクボタンに設定します。ハンズフリー通話に使用します。

[電話番号]

外線番号に受信したとき鳴動音を選択できます。

この際、内線番号および鳴動音を合わせて指定します。

※設定ボタンを押下する前に、「15.1.3 電話機をローカル保守に設定」しておく必要が有ります。

ワンポイント

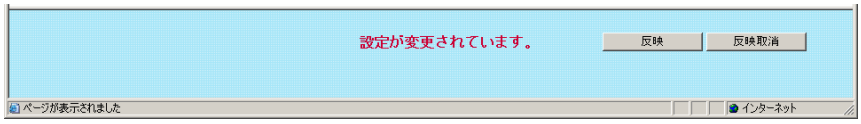
- パーク保留とは、通話状態にあるときラインボタンを押すと、その接続がパークボタンに保留され、全ての内線端末のラインボタンが点滅し共有される状態をパーク保留と呼びます。パーク保留した接続は、再度点滅しているラインボタンを押下する事により、保留を解除します。
- パーク保留のまま放置されますと、1 分 30 秒後に保留した電話機を呼び出します。

15.1.6. 電話機・内線番号の設定結果

「15.1.5 電話機・内線番号の検索結果と電話機設定」の設定結果が表示されます。

- **設定の反映**

  電話機の「設定」後に「反映」を実施して下さい。



15.2. 電話機設定

電話機の内線番号やIPアドレスの設定を、本機で設定した内線電話の設定情報を元に個別に行います。電話機の増設や個別の設定変更などをする際に、個別に設定を行います。

電話機の初期導入の際など一括して設定・設置するときは自動設定が便利です。

【電話機設定の流れ】

15.2.1 電話機・内線番号の設定

・内線番号とIPアドレスの指定

次へ

15.2.2 電話機・内線番号の設定結果

・設定結果の確認

15.2.1. 電話機・内線番号の設定

電話機に設定を行う内線番号と電話機の IP アドレスを入力します。

- **電話機設定**

  【内線番号】

  電話機に指定する内線番号を入力します。但し、本機に登録されていない内線番号は設定できません。

  【IP アドレス】

  電話機に設定されている IP アドレスを入力します。

15.2.2. 電話機・内線番号の設定結果

「15.2.1 電話機・内線番号の設定」で行った設定結果を表示します。

16.　プレゼンスユーザ管理（admin）

本機では一般ユーザの方が社内外へのコミュニケーションを円滑に行うために、プレゼンス機能や、電話帳機能を提供しています。

・プレゼンス機能：ユーザ同士の在席状態を確認することができます。

・電話帳機能：全社員が共有する取引先の連絡先や各個の連絡先を記録できます。

プレゼンス機能をご利用する際のユーザの管理および共通でご利用する会社電話設定の方法を説明いたします。

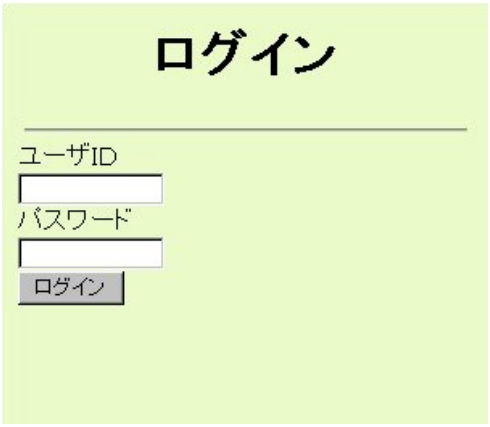
16.1.　ログイン、admin メニュー

16.1.1. ログイン

プレゼンスユーザ管理の設定を行う admin メニューを表示するためには、ブラウザよりＵＲＬフィールドに本機のＵＲＬ「http://ipm30.set/」を入力し、Enter キーを押します。

下記、管理者ユーザ ID とパスワードでログインを行います。

この管理者画面は、パソコン、携帯電話のどちらからでも操作することができます。



画面 16-1　admin メニューログイン

- **管理者ログイン情報の入力**

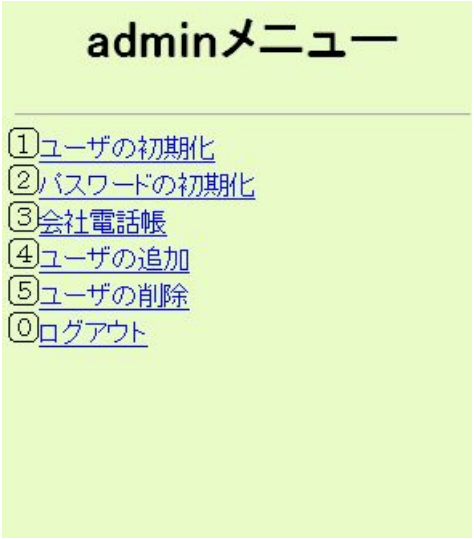
  【管理者ユーザ ID】

  00000000（固定）

  【パスワード】

  00000000（固定）

16.1.2. admin メニュー



画面 16-2　admin メニュー

- admin メニュー

【ユーザの初期化】

「エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。」では、対象となるユーザの「個人電話帳」「着信履歴」「発信履歴」「プレゼンス」「パスワード」の全て初期化します。

【パスワードの初期化】

「16.2.2 パスワードの初期化」では、ユーザがパスワードを忘れてしまった際などに、パスワードを初期化します。

【会社電話帳】

「16.4 会社電話帳設定」では、会社電話帳の登録・修正・確認を行います。

【ユーザの追加】

「16.3.1 ユーザ追加」では、ユーザの追加を行います。

【ユーザの削除】

「16.3.3 ユーザ削除」では、ユーザの削除を行います。

【ログアウト】

「画面 16-2　admin メニュー」からログアウトを行います。

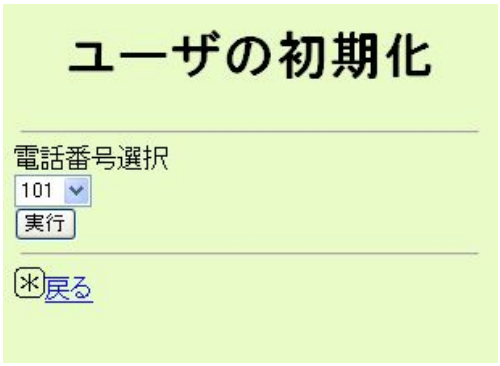
16.2. 設定の初期化

16.2.1. ユーザの初期化

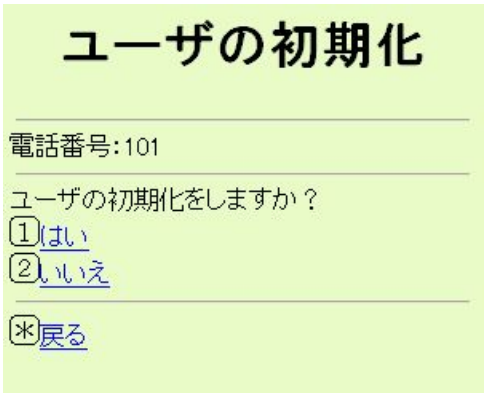
ユーザの個人電話番号・発信履歴・着信履歴・プレゼンス・パスワードの全てを初期化します。

- **ユーザの初期化**

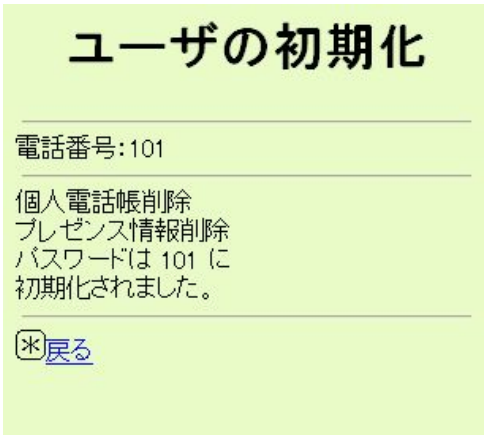
  初期化を行う電話番号を指定し『**実行**』ボタンを押します。
  個人電話番号・発信履歴・着信履歴・プレゼンス・パスワードの全ては初期化され、パスワードはユーザ ID（電話番号）と同じ値になります。



画面 16-3　ユーザの初期化



画面 16-4　ユーザの初期化実行確認



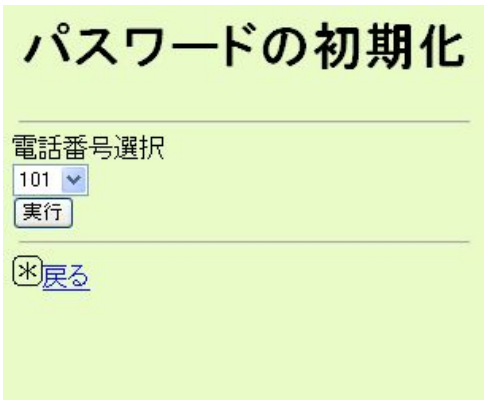
画面 16-5　ユーザの初期化結果確認

16.2.2. パスワードの初期化

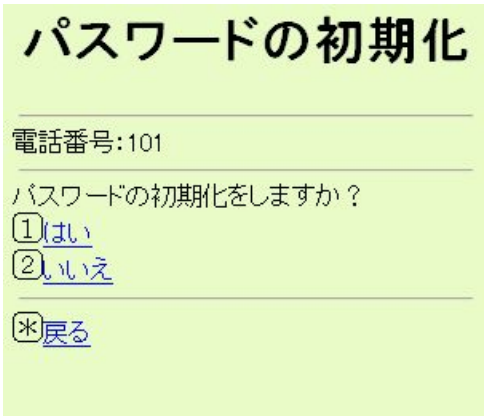
ユーザがパスワードを忘れたなどの際に使用し、ユーザのパスワードのみを初期化します。

- **パスワードの初期化**

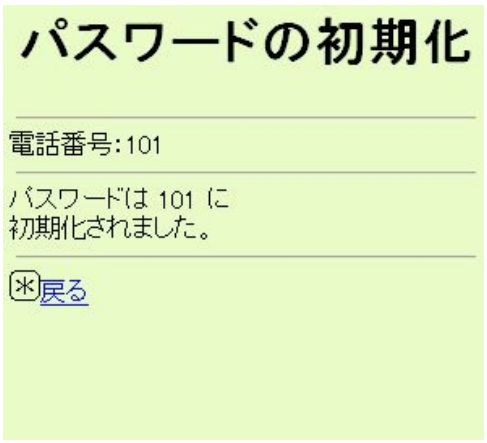
  パスワードの初期化を行う電話番号を指定し『**実行**』ボタンを押します。
  パスワードのみが初期化され、パスワードはユーザ ID（電話番号）と同じ値になります。



画面 16-6　パスワードの初期化



画面 16-7　パスワードの初期化実行確認



画面 16-8　パスワードの初期化結果確認

16.3. ユーザ設定

プレゼンス管理でのユーザ追加は、ユーザ ID およびパスワードの追加・削除のみを行い、詳細な情報の設定は個々のユーザが行います。

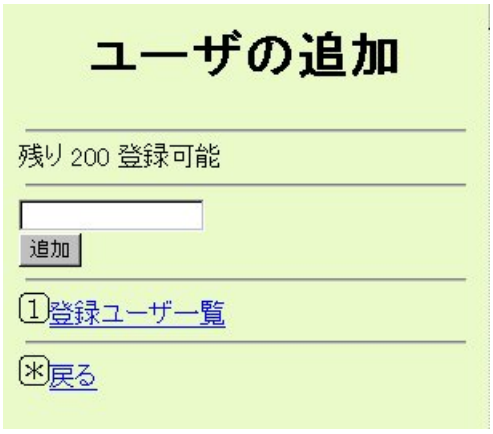
16.3.1. ユーザ追加

プレゼンスを使用する一般ユーザの追加を行います。

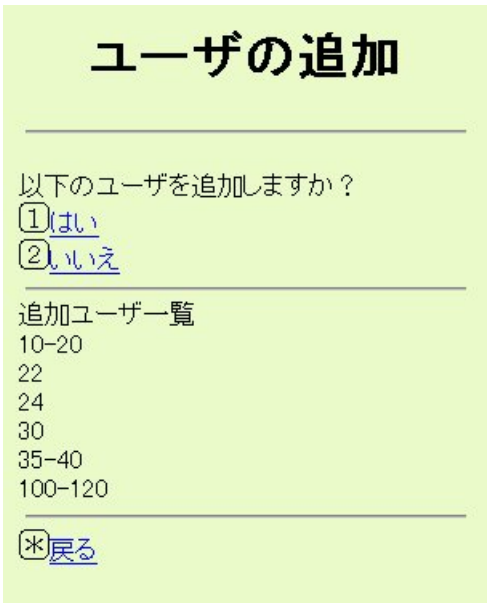
※画面上部には登録可能な残りユーザ数が表示されます。

【ユーザの追加】

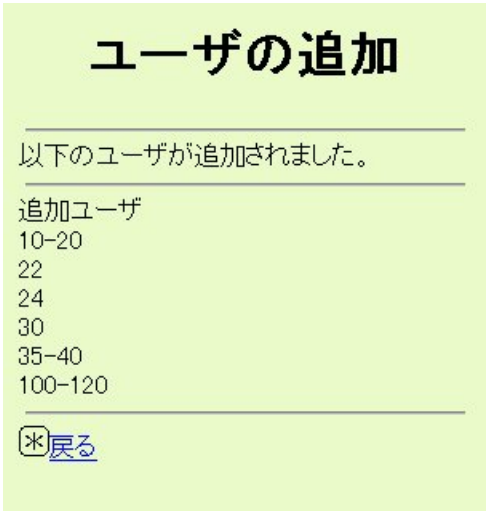
ユーザＩＤの指定は、自動もしくは手動登録で設定した電話番号（32 桁以内）を設定します。入力形式は、「100-110,113,115-120」のように、「 , - 」を使い複数番号や範囲指定による電話番号の入力を行えます。



画面 16-9　ユーザの追加



画面 16-10　ユーザ追加確認



画面 16-11　ユーザ追加結果確認

16.3.2. 登録ユーザー覧

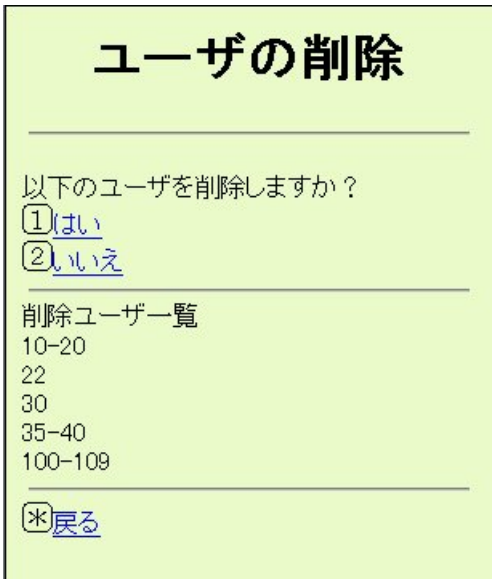
現在登録されているプレゼンスを使用する一般ユーザの一覧を表示します。

画面 16-12　登録ユーザー覧

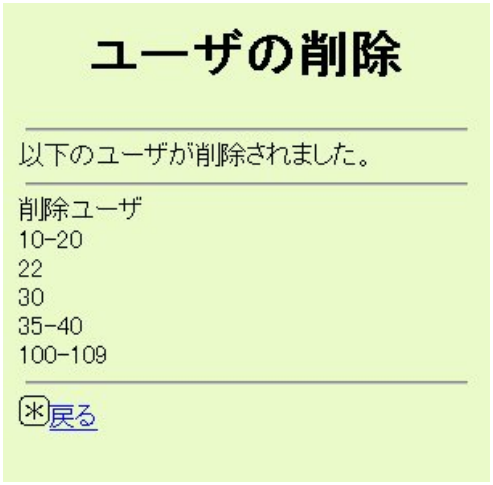
16.3.3. ユーザ削除

プレゼンスを使用しなくなった一般ユーザの削除を行います。

画面 16-13　ユーザ削除選択



画面 16-14　ユーザ削除実行確認



画面 16-15　ユーザ削除結果確認

16.4. 会社電話帳設定

全社員が共有して使用する取引先の連絡先などの、会社共通の電話帳を設定します。

16.4.1. 会社電話帳メニュー

会社共通で使用する電話帳の社名、人名検索で目的の情報を検索すると同時に、登録、修正、削除を行います。

画面 16-16　会社電話帳メニュー

- 会社電話帳メニュー

【全件表示】

「16.4.2 全件表示」では、会社電話帳の全件表示を行うと同時に、修正・削除を行います。

【人名検索】

「16.4.3 人名検索」では、会社電話帳に登録されている情報の中の人名検索を行と同時に、修正・削除を行います。

【社名検索】

「16.4.4 社名検索」では、会社電話帳に登録されている情報の中から会社名で検索を行うと同時に、修正・削除を行います。

【新規登録】

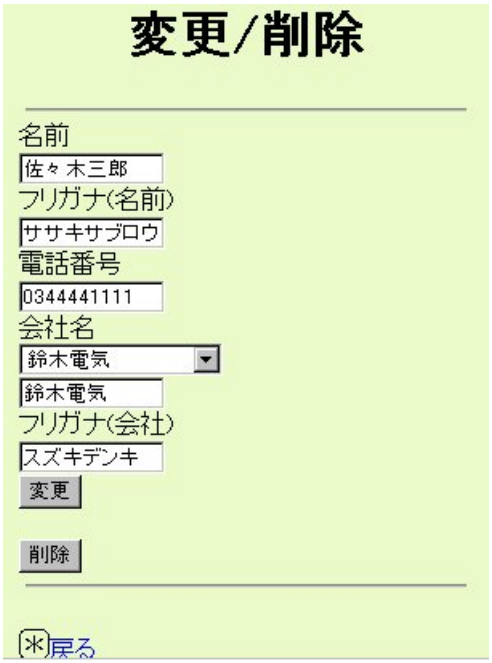
「16.4.5 新規登録」では、会社情報の新規登録を行います。

16.4.2. 全件表示

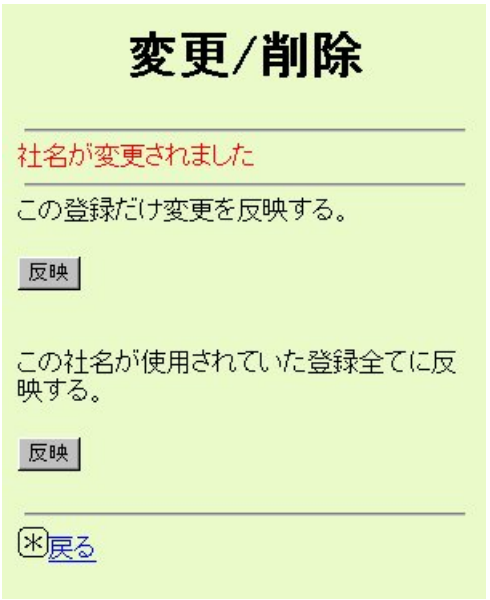
会社電話帳の全件を表示し、電話番号を選択することで登録情報の修正・変更を行ことができます。

画面 16-17　会社電話帳　全件表示１

画面 16-18　会社電話帳　全件表示２



画面 16-19　会社電話帳　全件表示３



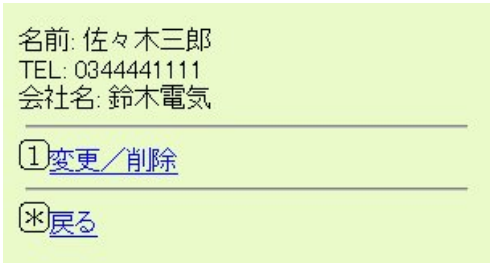
画面 16-20　会社電話帳　全件表示４

16.4.3. 人名検索

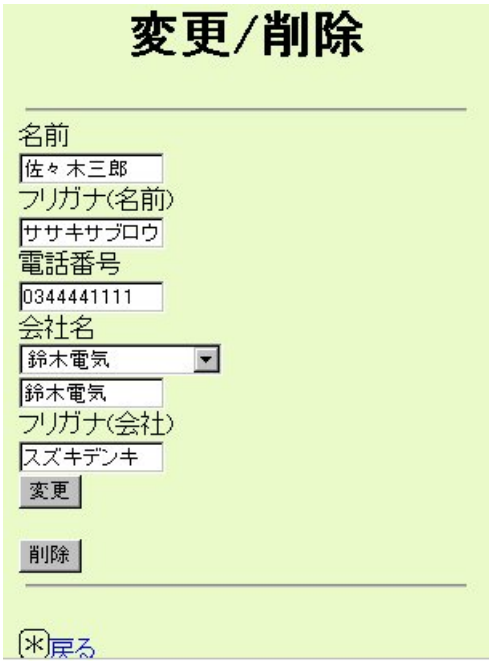
会社電話帳を人名の五十音ごとに表示します。電話番号を選択することで登録情報の修正・変更を行うことができます。

画面 16-21　会社電話帳　人名検索１

画面 16-22　会社電話帳　人名検索２



画面 16-23　会社電話帳　人名検索３



画面 16-24　会社電話帳　人名検索４

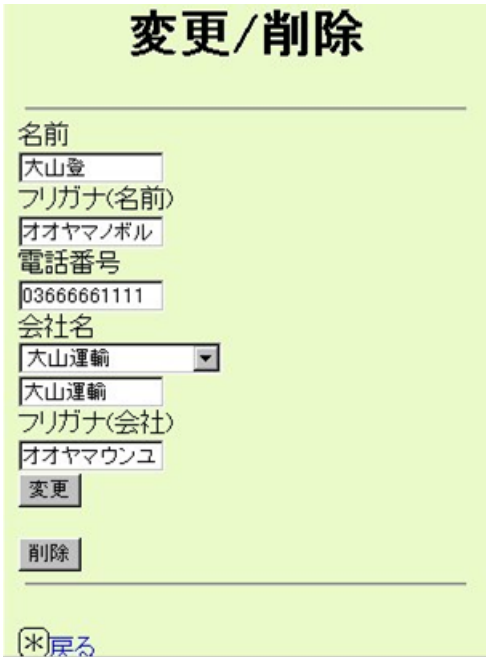
16.4.4. 社名検索

会社電話帳を社名の五十音ごとに表示します。電話番号を選択することで、登録情報の修正・変更を行うことができます。

画面 16-25　会社電話帳　会社名検索１

画面 16-26　会社電話帳　会社名検索２

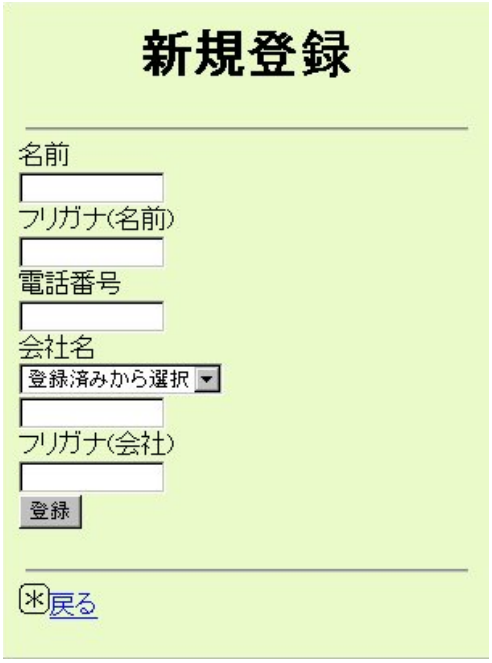
画面 16-27　会社電話帳　会社名検索３



画面 16-28　会社電話帳　会社名検索４

16.4.5. 新規登録

会社電話帳の情報を新たに登録します。



画面 16-29　会社電話帳　新規登録

【入力項目】

項目名	入力できる文字の種類
名前	半角英数記号、スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 空欄不可、「’ ¥」文字は使用不可
フリガナ(名前)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 半角カタカナも入力可能ですが、全角カタカナに変換されます。 「’ ¥」は使用不可、ひらがなは入力不可
電話番号	半角数字と「＃＊」のみ。(半角 32 文字以内)
会社名	半角英数記号、スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 「’ ¥」は使用不可
フリガナ(会社)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 半角カタカナも入力可能ですが、全角カタカナに変換されます。 「’ ¥」は使用不可、ひらがなは入力不可

17. プレゼンス機能（ユーザ）

17.1. はじめに

17.1.1. 概要

IP 電話に対応した携帯電話および PC ブラウザからユーザがご利用できる機能を説明します。
主な操作としては、以下の通りです。

- 電話帳や発信履歴、着信履歴などからのダイヤル発信
- 個人および会社用の電話帳の編集操作
- 各ユーザの転送設定およびステータスを参照できるプレゼンス機能

17.1.2. 対応ブラウザ

Windows（Windows 2000、Windows XP）

Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降（Ver.6 SP1 を推奨）

対応携帯電話

NTT DoCoMo　FOMA「N900iL」

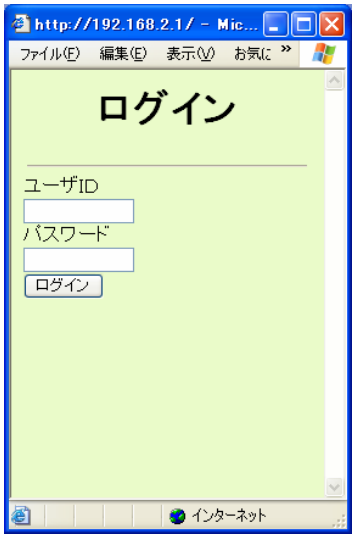
17.2. ログイン・メニュー

17.2.1. ログイン

ログイン画面は、FOMA「N900iL」の WLAN ブラウザまたは PC ブラウザからＵＲＬフィールドに本機のＵＲＬ「http://ipm30.set/」を入力し、Enter キーを押します。

ログイン画面の表示後、管理者により発行されたユーザ ID およびパスワードを入力し、操作メニューにログインします。

入力ミスがあったときは、画面上部にエラーメッセージが表示されますので、再度正しいユーザ ID およびパスワードを入力します。



画面 17-1　ログイン画面

- ログイン情報の入力事項

【ユーザ ID】

管理者より発行された ID(数字 32 文字以内)

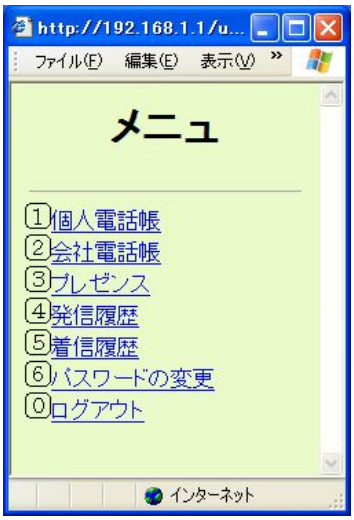
【ユーザ用パスワード】

任意のパスワード(半角英数記号 32 文字以内)

(初期パスワードはユーザ ID と同じ)

17.2.2. メニュー

一般ユーザは、以下のメニューのように個人・会社電話帳、発信・着信履歴の照会やプレゼンスなどを操作できます。



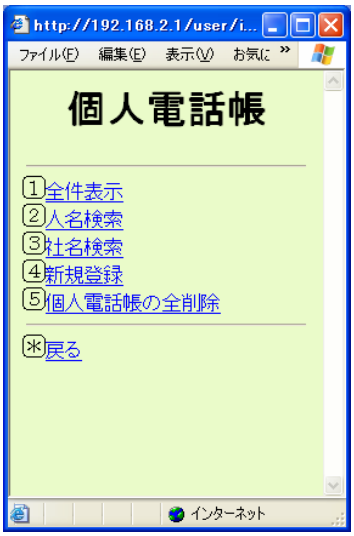
画面 17-2 メニュー

①個人電話帳 ……登録したユーザのみがご利用できる電話帳を参照します。
②会社電話帳 ……ユーザ全員で共有する電話帳を参照します。
③プレゼンス ……ご利用者の状態を表示します。
④発信履歴 ……ユーザの発信通話履歴を表示します。
⑤着信履歴 ……ユーザの着信通話履歴を表示します。
⑥パスワードの変更 ……ユーザのパスワードの変更を行います。
⓪ログアウト ……「メニュー」からログアウトします。

17.3. 個人電話帳

ユーザが個人で登録する電話帳です。ユーザ毎にデータを分けて保存するため、登録したユーザのみがご利用できます。個人電話帳で登録できる数は 100 件となります。

17.3.1. 個人電話帳メニュー



画面 17-3 個人電話帳メニュー

①全件表示 ……登録データ全てを表示します。
②人名検索 ……登録したフリガナ(名前)を元に検索します。
③社名検索 ……登録したフリガナ(社名)を元に検索します。
④新規登録 ……電話帳の新規登録を行います。
⑤個人電話帳の全削除 ……登録したデータを全て削除します。
✳戻る ……メニューに戻ります。

17.3.2.　　個人電話帳・全件表示

登録されている個人電話帳の連絡先を全て表示します。
1 ページには 10 件表示します。電話番号を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.3.5 個人電話帳・詳細」へリンクします。

画面 17-4　全件表示

1　～0

・１～０の電話番号を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.3.5 個人電話帳・詳細」を表示します。

✱　戻る

・一つ前のページに戻ります

#　次へ

・次の 10 件を表示します。

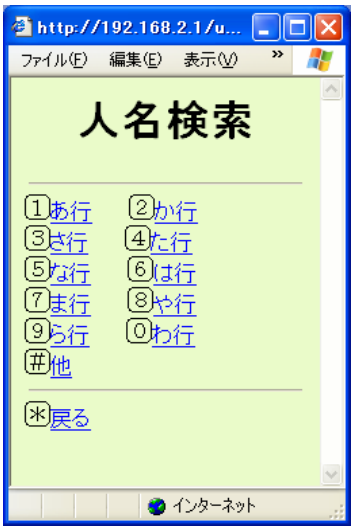
☞ FOMA「N900iL」では、1～0、✱、#は、ダイヤルボタンで操作可能です。

17.3.3.　　個人電話帳・人名検索

17.3.3.1 人名検索

人名のフリガナをもとに、五十音順で表示をします。

全角カタカナのフリガナが登録されていない場合は『＃.他』ボタンを選択します。



画面 17-5　人名検索

①～⓪あ行～わ行

・フリガナ(名前)が設定された連絡先をリスト表示します。

#他

・フリガナ（名前）なし／英数記号が設定された連絡先をリスト表示します。

*戻る

・一つ前のページに戻ります。

☞ FOMA「N900iL」では、①～⓪、*、#は、ダイヤルボタンで操作可能です。

17.3.3.2 人名検索リスト

選択された「あ行～わ行、他」のリストを表示します。

1 ページには 10 件表示します。電話番号を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.3.5 個人電話帳・詳細」へリンクします。

画面 17-6　人名検索リスト

①　～⓪

・１～０を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.3.5 個人電話帳・詳細」を表示します。

*　戻る

・一つ前のページに戻ります。

#　次へ

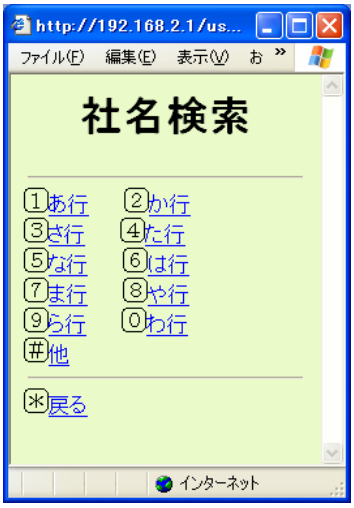
・次のリストを表示します。

☞ FOMA「N900iL」では、①～⓪、*、#は、ダイヤルボタンで操作可能です。

17.3.4.　　個人電話帳・社名検索

17.3.4.1 社名検索

会社名のフリガナを元に、五十音順で表示を行います。
全角カタカナのフリガナが登録されていない場合『＃.他』ボタンを選択します。
会社名の登録がない連絡先は表示しません。



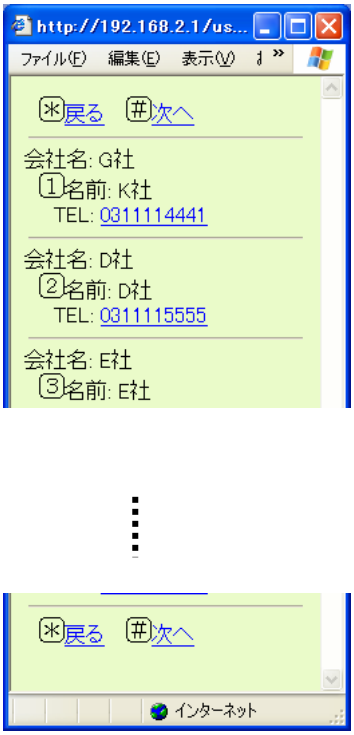
画面 17-7　社名検索

①～⓪あ行～わ行
・フリガナ(会社名)が設定された連絡先をリスト表示します。
＃他
・フリガナ（会社名）なし／英数記号が設定された連絡先をリスト表示します。
＊戻る
・一つ前のページに戻ります。

☞ FOMA「N900iL」では、①～⓪、＊、＃は、ダイヤルボタンで操作可能です。

17.3.4.2 社名検索リスト

選択された「あ行～わ行、他」のリストを表示します。
1 ページには 10 件表示します。電話番号を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.3.5 個人電話帳・詳細」へリンクします。



画面 17-8　社名検索リスト

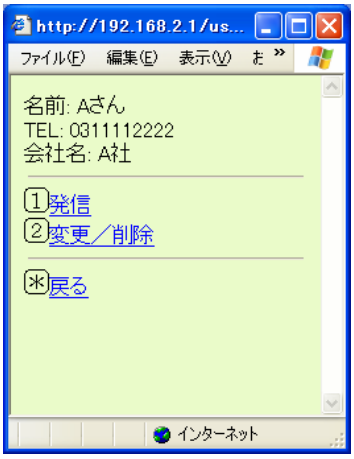
①～⓪
・１～０を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.3.5 個人電話帳・詳細」を表示します。
＊戻る
・一つ前のページに戻ります。
＃次へ
・次のリストを表示します。

☞ FOMA「N900iL」では、①～⓪、＊、＃は、ダイヤルボタンで操作可能です。

17.3.5.　　個人電話帳・詳細

個人電話帳へ登録されている連絡先の詳細な情報を表示します。

表示されている連絡先へ発信または、登録されている連絡先の変更・削除を行います。



画面 17-9　個人電話帳・詳細

1　発信

・押下すると、自身の端末に着呼します。

自身の端末をオフフックすると、詳細メニューのユーザに自動的に発信します。

2　変更／削除

・登録情報の変更／削除を行います。

***　戻る**

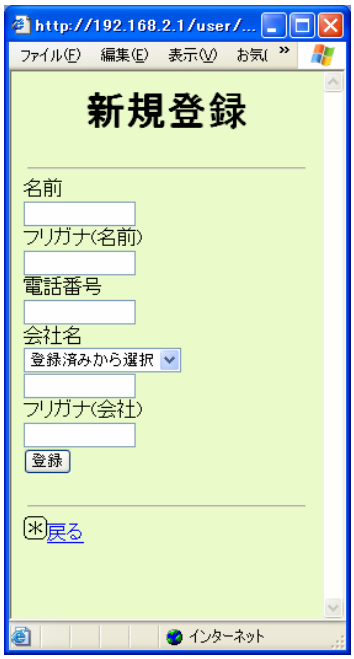
・一つ前の画面に戻ります。

☞ FOMA「N900iL」では、1～0、*、#は、ダイヤルボタンで操作可能です。

17.3.6.　　個人電話帳の登録・変更・削除

17.3.6.1 新規登録

個人電話帳に新たな連絡先を登録します。



画面 17-10　新規登録

【入力項目】

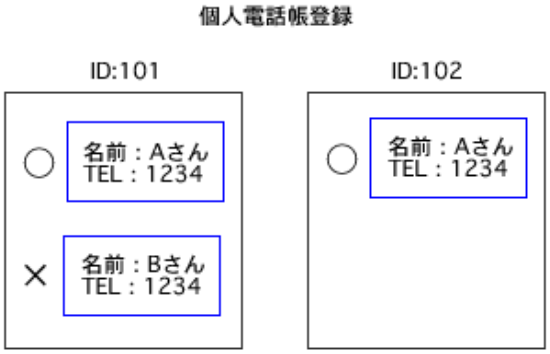
項目名	入力できる文字の種類
名前	半角英数記号、スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 空欄不可、「’ ¥」文字は使用不可
フリガナ(名前)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 半角カタカナも入力可能ですが、全角カタカナに変換されます。 「’ ¥」は使用不可、ひらがなは入力不可
電話番号	半角数字と「 # * 」のみ。(半角 32 文字以内)
会社名	半角英数記号、スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 「’ ¥」は使用不可
フリガナ(会社)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 半角カタカナも入力可能ですが、全角カタカナに変換されます。 「’ ¥」は使用不可、ひらがなは入力不可

『**登録**』ボタン押下すると登録が反映されます。
入力エラー時は同じ画面に戻り、上部にエラーメッセージが表示されます。

※個人電話帳の中に同じ電話番号の登録はできません。ただし、違うユーザであれば同じ電話番号を登録することができます。

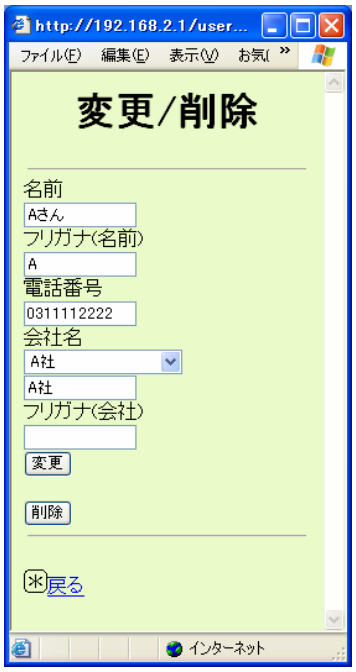
【例】

ユーザ(ID:101)が A さん(電話番号:1234)を登録後、B さん(電話番号 : 1234)を登録することはできませんが、ユーザ(ID:102)が A さん(電話番号 : 1234)を登録することは可能です。



17.3.6.2 変更・削除

個人電話帳に登録されている連絡先の変更・削除を行います。



画面 17-11　登録情報の変更・削除

『**変更**』ボタン押下すると変更内容が反映されます。
入力済みの社名を変更した場合「17.3.6.3 社名の変更」の確認画面が表示されます。
入力エラー時は同じ画面に戻り、上部にエラーメッセージが表示されます。

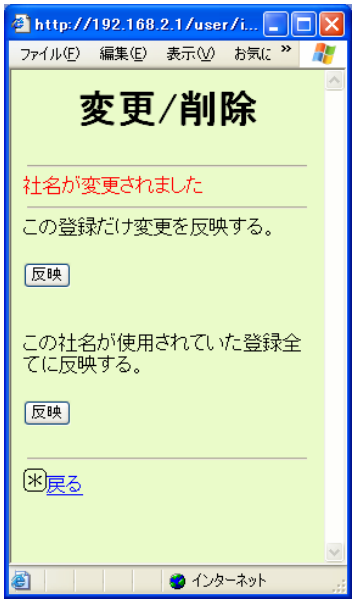
『**削除**』ボタン押下すると確認画面「17.3.6.4 登録情報の削除・確認」に遷移します。

【入力項目】

項目名	入力できる文字の種類
名前	半角英数記号、スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 空欄不可、「’ ¥」文字は使用不可
フリガナ(名前)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 半角カタカナも入力可能ですが、全角カタカナに変換されます。 「’ ¥」文字は使用不可、ひらがなは入力不可
電話番号	半角数字と「 # * 」のみ。(半角 32 文字以内)
会社名	半角英数記号、スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 「’ ¥」文字は使用不可
フリガナ(会社)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 半角カタカナも入力可能ですが、全角カタカナに変換されます。 「’ ¥」文字は使用不可、ひらがなは入力不可

17.3.6.3 社名の変更

入力済の会社名の変更を行った場合、その会社名が使用されていた登録に対して、全て反映させるか、この登録だけ変更を反映するかを選択します。

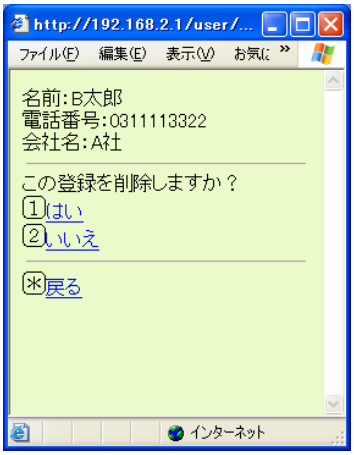


画面 17-12　社名の変更

上段の『**反映**』ボタン押下すると、この登録だけの変更を実行します。
下段の『**反映**』ボタン押下すると、登録されている同一社名全ての変更を実行します。

17.3.6.4 登録情報の削除・確認

登録情報を削除します。

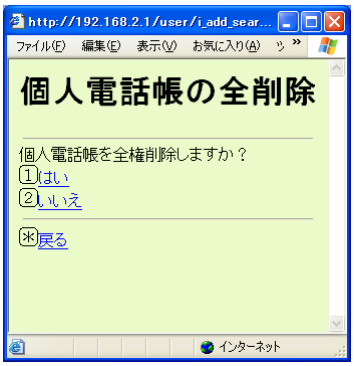


画面 17-13　登録情報の削除・確認

① **はい**
・削除を行います。
② **いいえ**
・削除をキャンセルします。
✻ **戻る**
・一つ前の画面に戻ります。

17.3.7.　　個人電話帳の全削除

ログインしたユーザの個人電話帳を消去します。



画面 17-14　個人電話帳の全削除

①はい

・個人電話帳の全件削除を行います。

②いいえ

・個人電話帳の全件削除をキャンセルします。

㊗戻る

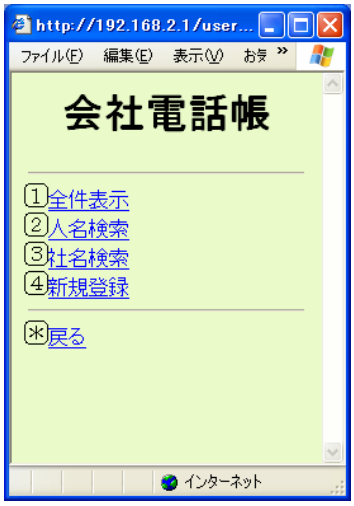
・一つ前の画面に戻ります。

※　この操作は一度実行すると復元はできません。

17. 4. 会社電話帳

会社電話帳は、全てのユーザで共有する電話帳です。したがって、全てのユーザから連絡先の登録・変更・削除することができます。登録できる連絡先は、最大 500 件までです。

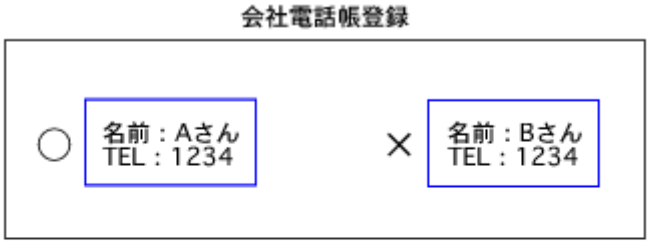
17.4.1. 会社電話帳メニュー



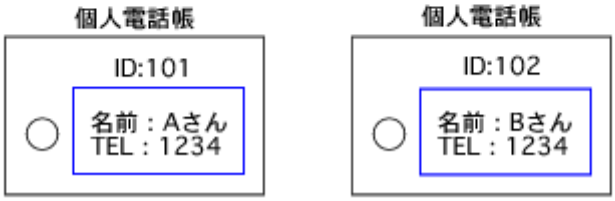
画面 17-15 会社電話帳

①全件表示 ……全ての連絡先を表示します。
②人名検索 ……登録したフリガナ(名前)を元に検索します。
③社名検索 ……登録したフリガナ(社名)を元に検索します。
④新規登録 ……電話帳の新規登録を行います。
✳戻る ……「メニュー」に戻ります。

※会社電話帳に電話番号が同じ連絡先を複数登録できません。しかし個人電話帳に会社電話帳と同じ電話番号の連絡先の登録は可能です。ユーザが変わった場合でも、他の人が会社電話帳に、同じ電話番号を登録しようとしても登録できません。



【例】



ユーザ(ID:101)が個人電話帳にAさん(電話番号：1234)を登録し、ユーザ(ID:102)が個人電話帳にBさん(電話番号：1234)を登録している場合、会社電話帳にはAさんを登録することは可能ですが、Bさんを登録することはできません。

17.4.2.　　全件表示

会社電話帳に登録されている連絡先を全て表示します。

1 ページには 10 件表示します。電話番号を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.4.5 会社電話帳・詳細」へリンクします。

画面 17-16　全件表示

①　～⓪

・１～０を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.4.5 会社電話帳・詳細」を表示します。

✱　戻る

・一つ前のページに戻ります。

#　次へ

・次のリストを表示します。

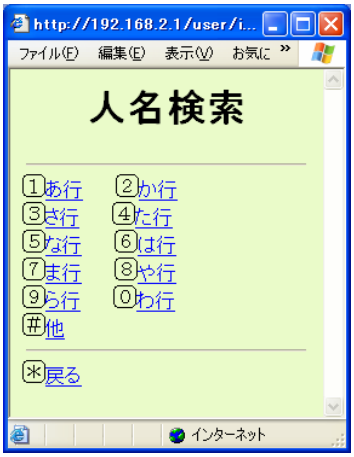
☞ FOMA「N900iL」では、①～⓪、✱、#は、ダイヤルボタンで操作可能です。

17.4.3.　　会社電話帳・人名検索

17.4.3.1 人名検索

人名のフリガナを元に、五十音順で表示をします。

連絡先の登録が英数記号またはフリガナがない場合は『**＃.他**』ボタンを選択します。



画面 17-17　人名検索

①～⓪あ行～わ行

・フリガナ(名前)が設定された連絡先をリスト表示します。

#他

・フリガナ（名前）なし／英数記号が設定された連絡先をリスト表示します。

✱戻る

・一つ前の画面に戻ります。

17.4.3.2 人名検索リスト

選択された「あ行～わ行、その他」のリストを表示します。
1 ページには 10 件表示します。電話番号を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.4.5 会社電話帳・詳細」へリンクします。

画面 17-18　人名検索リスト

①　～⓪

・１～０を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.4.5 会社電話帳・詳細」を表示します。

＊　戻る

・一つ前のページに戻ります

＃　次へ

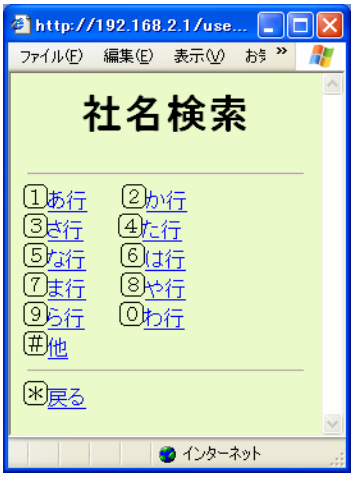
・次のリストを表示します。

☞ FOMA「N900iL」では、①～⓪、＊、＃は、ダイヤルボタンで操作可能です。

17.4.4.　会社電話帳・社名検索

17.4.4.1 社名検索

会社名のフリガナを元に、五十音順で表示を行います。
連絡先の登録が英数記号またはフリガナがない場合は『＃.他』ボタンを選択します。
会社名の登録がない連絡先は表示しません。



画面 17-19　社名検索

①～⓪あ行～わ行

・フリガナ(会社名)が設定された連絡先をリスト表示します。

＃他

・フリガナ（会社名）なし／英数記号が設定された連絡先をリスト表示します。

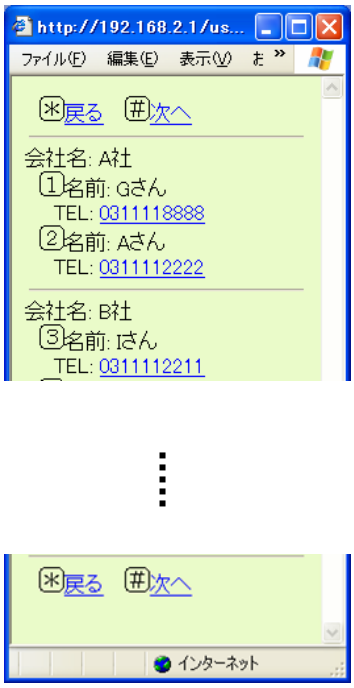
＊戻る

・一つ前の画面に戻ります。

17.4.4.2 社名検索リスト

選択された「あ行～わ行、その他」のリストを表示します。

1 ページには 10 件表示します。電話番号を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.4.5 会社電話帳・詳細」へリンクします。



①～⓪

・１～０を選択すると、電話の発信、登録情報の変更・削除を行う画面「17.4.5 会社電話帳・詳細」を表示します。

＊戻る

・一つ前のページに戻ります

＃次へ

・次のリストを表示します。

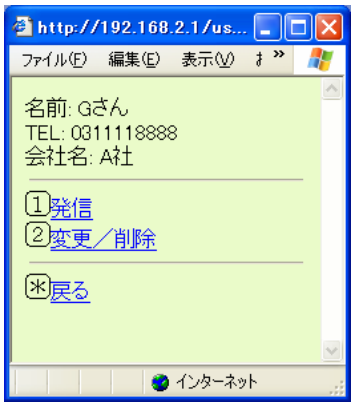
☞ FOMA「N900iL」では、①～⓪、＊、＃は、ダイヤルボタンで操作可能です。

画面 17-20　社名検索リスト

17.4.5.　　会社電話帳・詳細

会社電話帳へ登録されている連絡先の詳細な情報を表示します。

表示されている連絡先へ発信または登録されている連絡先の変更・削除を行います。



① 発信

・上記の電話番号に発信します。

② 変更／削除

・登録情報の変更／削除を行います。

＊ 戻る

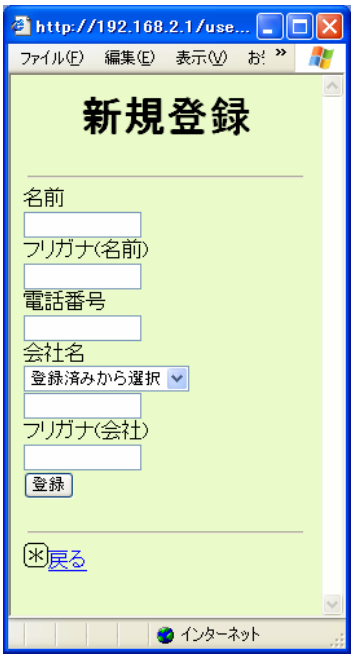
・一つ前の画面に戻ります。

画面 17-21　詳細画面

17.4.6.　　会社電話帳の登録・変更･削除

17.4.6.1 新規登録

会社電話帳に新規の連絡先を登録します。



画面 17-22　新規登録

【入力項目】

項目名	入力できる文字の種類
名前	半角英数記号、スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 空欄不可、「’ ¥」文字は使用不可
フリガナ(名前)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 半角カタカナも入力可能ですが、全角カタカナに変換されます。 「’ ¥」文字は使用不可、ひらがなは入力不可
電話番号	半角数字と「 ＃ ＊ 」のみ。(半角 32 文字以内)
会社名	半角英数記号、スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 「’ ¥」文字は使用不可
フリガナ(会社)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 半角カタカナも入力可能ですが、全角カタカナに変換されます。 「’ ¥」文字は使用不可、ひらがなは入力不可

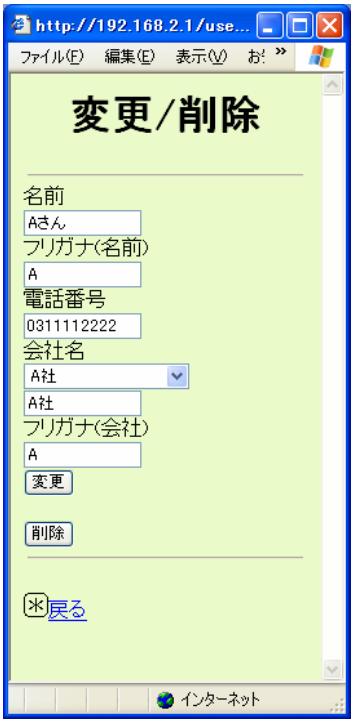
『**登録**』ボタン押下すると登録が反映されます。
　入力エラー時は同じ画面に戻り、上部にエラーメッセージが表示されます。

※会社電話帳に電話番号が同じ連絡先は登録できません。しかし個人電話帳に会社電話帳と同じ電話番号の連悪先の登録は可能です。ユーザが変わった場合でも、他の人が会社電話帳に、同じ電話番号を登録しようとしても登録できません。

【例】
ユーザ(ID:101)が個人電話帳にＡさん(電話番号：1234)を登録し、ユーザ(ID:102)が個人電話帳にＢさん(電話番号：1234)を登録している場合、会社電話帳にはＡさんかＢさんのどちらかしか登録することはできません。

17.4.6.2 変更・削除

会社電話帳に登録されている連絡先の変更・削除を行います。



画面 17-23　登録情報の変更・削除

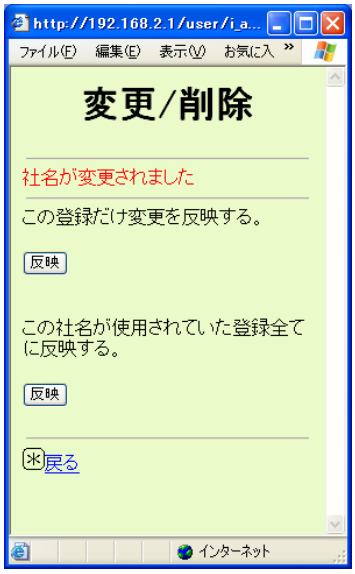
『**変更**』ボタン押下すると、変更内容が反映されます。
『**削除**』ボタン押下すると、削除内容の確認画面「017.4.6.4 登録情報の削除・確認」に遷移します。
入力済みの社名を変更した場合「017.4.6.3 社名の変更」の確認が表示されます。
入力エラー時は同じ画面に戻り、上部にエラーメッセージが表示されます。

【入力項目】

項目名	入力できる文字の種類
名前	半角英数記号、半角スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 空欄不可、「’ ¥」文字は使用不可
フリガナ(名前)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 「’ ¥」文字は使用不可、ひらがなは入力不可
電話番号	半角数字と「 # * 」のみ。(半角 32 文字以内)空欄不可
会社名	半角英数記号、半角スペース、全角文字。(全角 16 文字以内) 「’ ¥」文字は使用不可
フリガナ(会社)	全角カタカナ・全半角英数記号。(全角 32 文字以内) 「’ ¥」文字は使用不可、ひらがなは入力不可

17.4.6.3 社名の変更

入力済の会社名の変更を行った場合、その会社名が使用されていた登録に対して、全て反映させるか、このユーザだけを反映させるかを選択します。

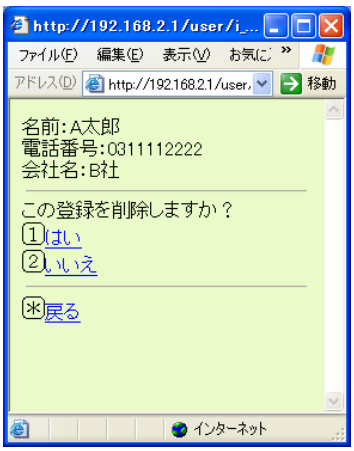


画面 17-24　社名の変更

『**反映**』ボタン押下すると、変更を行った人のみ、もしくは、登録されている同一社名全ての変更を実行します。

17.4.6.4 登録情報の削除・確認

登録情報を削除します。



画面 17-25　登録情報の削除・確認

①はい

・削除を行います。

②いいえ

・削除をキャンセルします。

✳戻る

・一つ前の画面に戻ります。

17.5. プレゼンス(在籍状況)

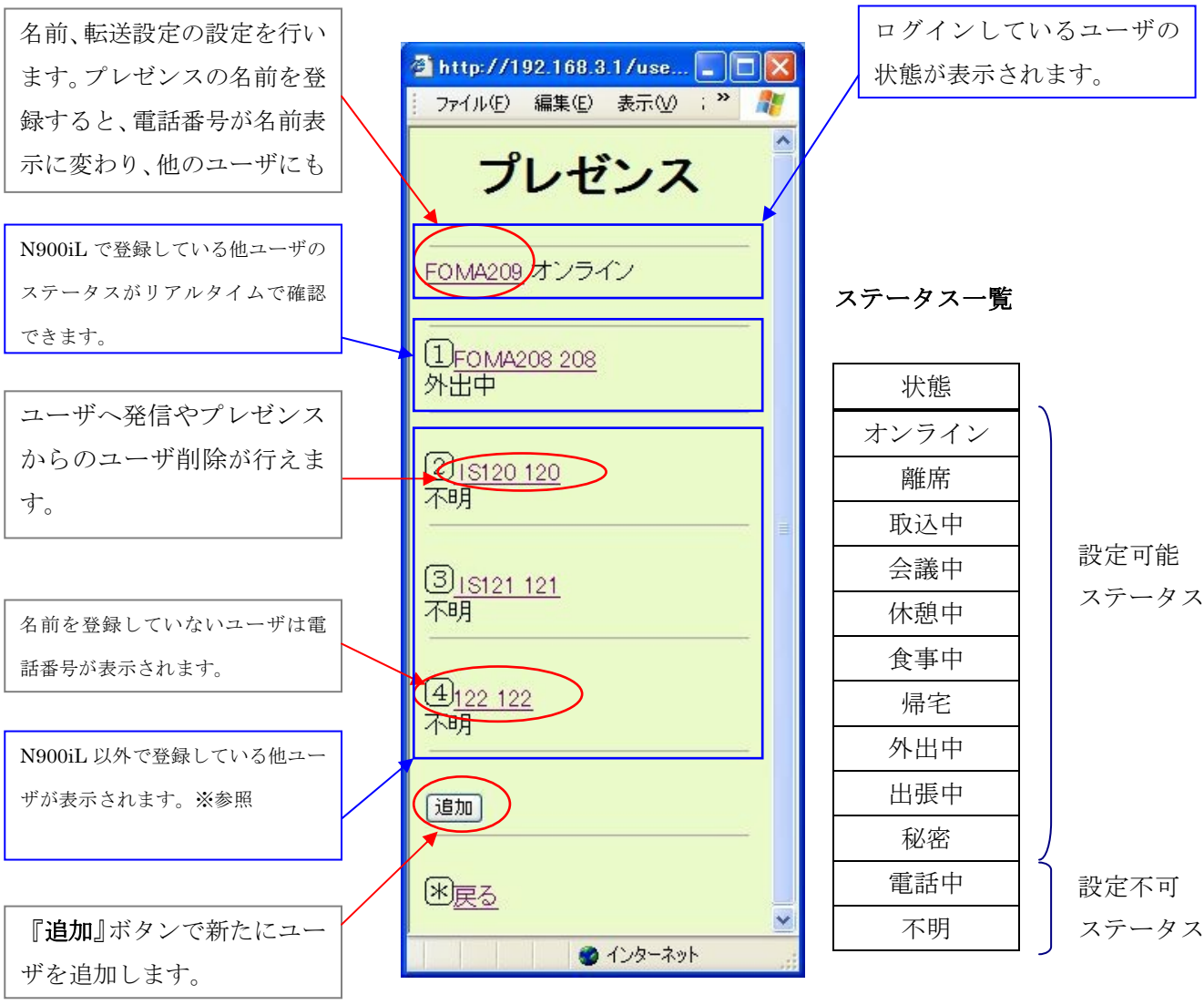
登録したユーザ(内線番号)のステータス情報を、リアルタイムで確認できます。

17.5.1. プレゼンスリスト

17.5.1.1 リスト表示

登録されているユーザの状況を一覧で表示します。

※ステータスの変更は、FOMA「N900iL」のプレゼンス機能をご利用して設定します。



画面 17-26 プレゼンスリスト

設定不可ステータスは、設定可能ステータスよりも優先されます。

※不明：FOMA「N900iL」以外の端末、または FOMA「N900iL」よりステータス情報が受信されていない場合は、ステータスが「不明」と表示されます。また本機に接続されていない内線番号も「不明」と表示されます。

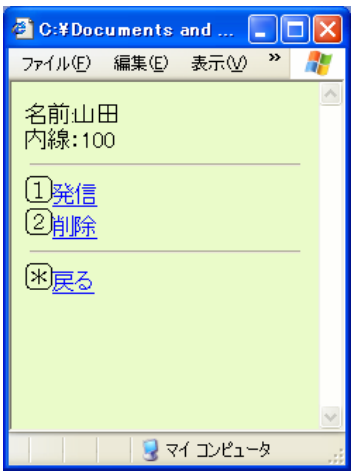
1～0：１～０を選択すると、ユーザへ発信やプレゼンスからのユーザ削除を行う「17.5.1.2 プレゼンス・詳細」を表示します。

米戻る：一つ前のページに戻ります

井次へ：次の 10 件のリストを表示します。

17.5.1.2 プレゼンス・詳細

プレゼンスリストのユーザ名・電話番号からリンクされ、ユーザへの発信や登録の削除を行います。



画面 17-27　プレゼンス詳細

①発信

・表示されている電話番号に発信します。

②削除

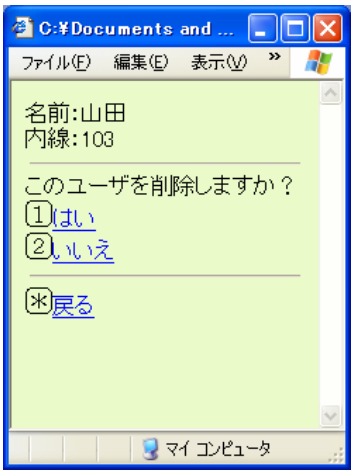
・プレゼンスからユーザの削除をします。

✻戻る

・一つ前の画面に戻ります。

17.5.1.3 プレゼンス・ユーザ削除

プレゼンス・ユーザの削除を行います。



画面 17-28　プレゼンス・ユーザ削除

①はい

・プレゼンス・ユーザの削除をします。

②いいえ

・プレゼンス・ユーザの削除をキャンセルします。

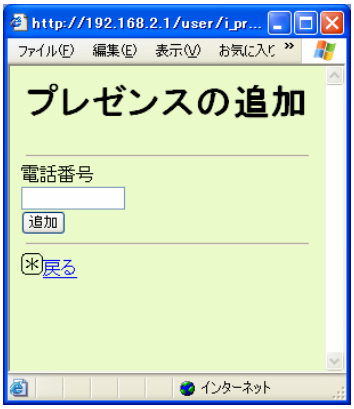
✻戻る

・一つ前の画面に戻ります。

17.5.1.4 プレゼンス・ユーザ追加

プレゼンス・ユーザの追加を行います。登録件数は 49 件です。

『**追加**』ボタン押下後、続けてプレゼンス・ユーザの追加ができます。入力エラー時は同じ画面に戻り、上部にエラーメッセージが表示されます。



電話番号

・ユーザの内線番号を入力することによって、プレゼンスリストにユーザが追加されます。

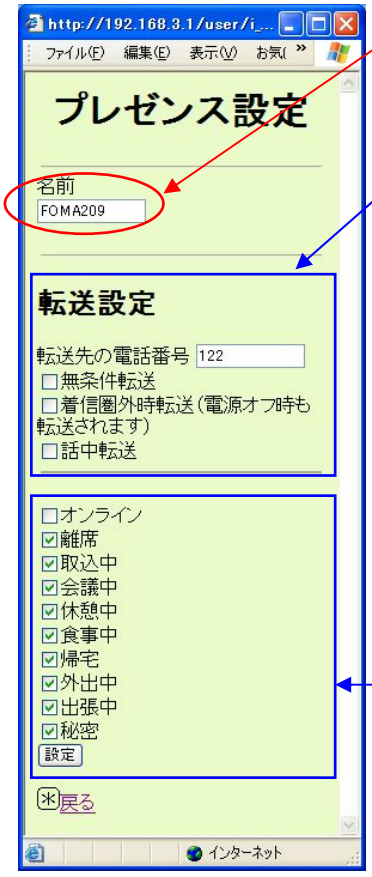
画面 17-29　プレゼンス・ユーザ追加

17.5.2.　　プレゼンス設定

17.5.2.1FOMA「N900iL」端末時の設定

ユーザ名の設定とユーザごとの転送設定を行います。

※ステータスの変更は FOMA「N900iL」の携帯電話メニューの「プレゼンス」にて設定を行います。（詳細は携帯電話の取り扱い説明をご覧下さい。）



名前

・プレゼンスに表示する名前を入力します。

転送設定

・転送先の電話番号を入力します。□にチェックをつけた場合は、下記の表を参照して下さい。

※グループ着信の転送は行いません。

※IP 電話着信後の転送先が IP 電話番号以外（ISDN/PSTN/携帯番号等）は正常に転送できません。但し、ISDN 着信後の転送先には前記制限が有りません。

※内線番号に存在しない 4 桁以下の数字を転送先に指定すると、転送は行われません。

転送時の状態設定

・ステータスにチェックをつけた状態の時に転送番号に転送されます。

※FOMA「N900iL」の WLAN が圏内のとき、チェックを入れた転送条件と、設定したステータスが一致したとき転送を行います。

画面 17-30　プレゼンス設定（FOMA「N900iL」）

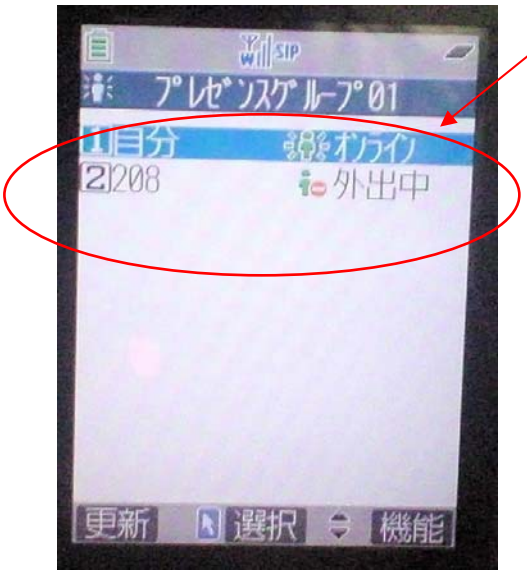
【入力項目】

項目名	入力できる文字の種類
名前	半角英数記号、スペース、全角文字（全角 16 文字以内） 空欄不可、「'¥」文字は使用不可
転送先の電話番号	半角数字と「＃＊」のみ。（半角 32 文字以内） 自身の内線番号は、設定不可 グループ番号は、設定不可 本機に設定した外線番号は、設定不可 「0XX0」で始まる番号、「*98X」、「*98XX」、「*99X」、「*99XX」、「1XX」のうち、PBX で内線番号登録されていない番号、は設定不可
無条件転送	他の転送条件、ステータスに関係なく常に転送番号に着信の転送を行う。
着信圏外時転送	FOMA「N900iL」の WLAN が圏外や電源オフのとき、転送番号に着信の転送を行う。
話中転送	WLAN で通話中時もしくは FOMA「N900iL」で通話時に転送番号へ着信を転送します。

『設定』ボタン押下すると、入力した設定内容が反映されます。

17.5.2.2FOMA「N900iL」のプレゼンス機能紹介

ステータスの変更は FOMA「N900iL」の携帯電話メニューの「プレゼンス」にて設定を行います。



自分

・プレゼンスに表示する自分のステータスを登録します。

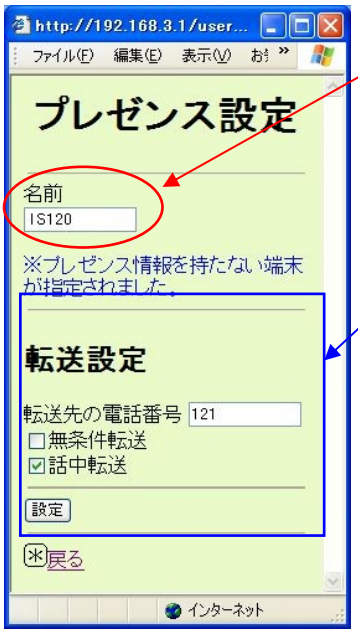
・登録されている他のユーザのステータスも自動的に表示されます。

※登録に関する詳細な手順は、携帯電話の取り扱い説明をご覧下さい。

画面 17-31　プレゼンス設定（FOMA「N900iL」）

17.5.2.3FOMA「N900iL」端末以外のプレゼンス設定

プレゼンス情報を持たない機器のユーザ名と転送設定を行います。



名前

・プレゼンスに表示する名前を入力します。

転送設定

・自分の設定状態によって転送を行います。ステータスにチェックをつけた状態の時は転送番号に転送されます。

※グループ着信の転送は行いません。

※IP 電話着信後の転送先が IP 電話番号以外（ISDN/PSTN/携帯番号等）は正常に転送できません。但し、ISDN 着信後の転送先には前記制限が有りません。

※内線番号に存在しない 4 桁以下の数字を転送先に指定すると、転送は行われません。

画面 17-32　プレゼンス設定（FOMA「N900iL」以外）

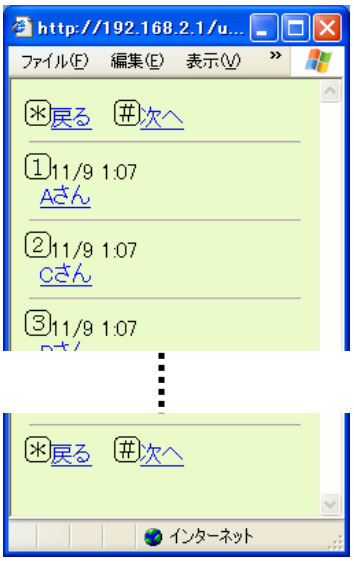
17.6.　発信通話履歴

17.6.1.　　履歴リスト

ユーザの発信通話履歴を表示します。

1 ページには 10 件表示します。最大 50 件まで表示されます。

発信先のリンクを押すと「17.6.2 発信通話履歴・リダイヤル」を表示します。



①～⓪

・1～10 件目の電話番号を選択すると、発信通話履歴の発信を行う画面「17.6.2 発信通話履歴・リダイヤル」を表示します。

戻る

・一つ前のページに戻ります

次へ

・次のリストを表示します。

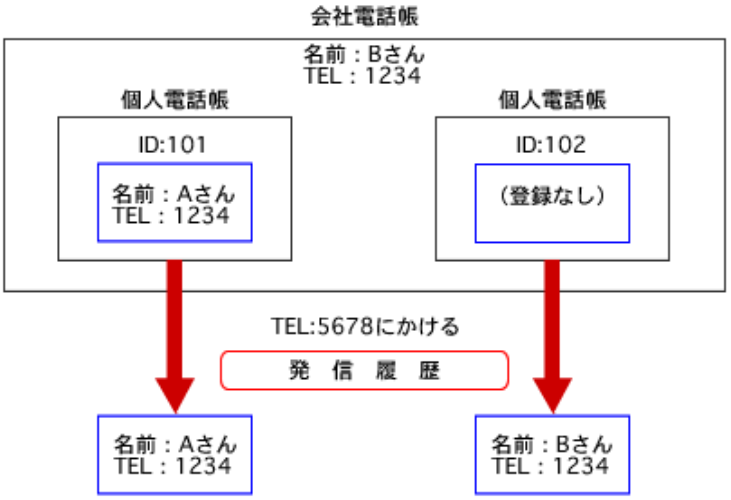
画面 17-33　発信通知履歴

【発信通話履歴の表示方法について】

各ユーザの個人電話帳と会社電話帳の中に同じ電話番号での登録がある場合、個人電話帳の登録内容が優先され、発信通話履歴に表示されます。個人電話帳の中に同じ電話番号の登録がなかった場合は、会社電話帳の登録内容が発信通話履歴に表示されます。

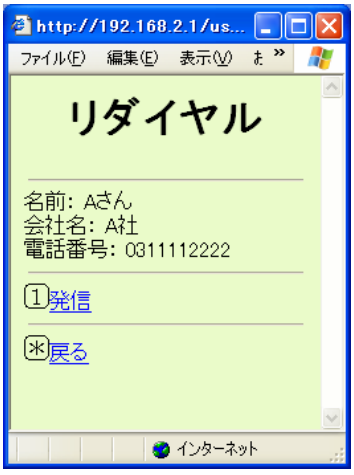
【例】

ユーザ(ID:101)は個人電話帳にAさん(電話番号:1234)を登録しているが、ユーザ(ID:102)は個人電話帳に電話番号(1234)の登録はしておらず、会社電話帳にBさん(電話番号:1234)が登録されている場合、ユーザ(ID:101)が(電話番号:1234)に発信した場合は発信通話履歴にAさんの登録内容が表示され、ユーザ(ID:102)が(電話番号:1234)に発信した場合は発信通話履歴にBさんの登録内容が表示されます。



17.6.2. 発信通話履歴・リダイヤル

名前・会社名は、プレゼンス・ユーザ名、電話帳(個人・会社)に該当がある場合に表示されます。



画面 17-34 リダイヤル

①発信

・発信します。

***戻る**

・一つ前の画面に戻ります。

17.7. 着信通話履歴

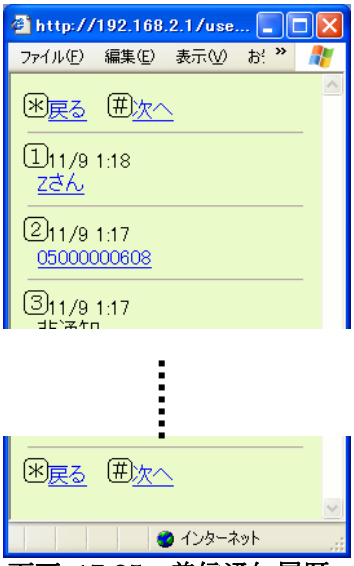
17.7.1. 着信リスト

ユーザの着信通話履歴を表示します。

1 ページには 10 件表示します。最大 50 件まで表示されます。

電話番号・名前のリンクからコールバックが行えます。非通知の場合は、コールバックはできません。

電話番号から「17.7.2 着信通話履歴・コールバック」へリンクします。



画面 17-35 着信通知履歴

①～⓪

・1～10 件目の電話番号を選択すると、着信通話履歴の発信を行う画面「17.6.2 発信通話履歴・リダイヤル」を表示します。

✻戻る

・一つ前の画面に戻ります。

#次へ

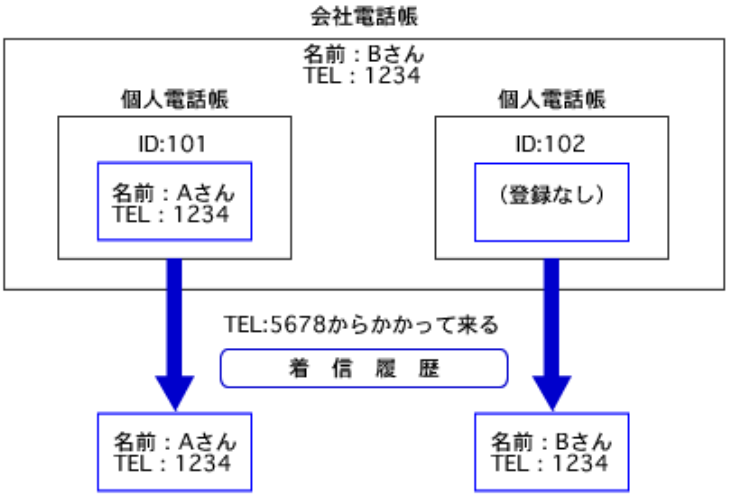
・次のリストを表示します。

【着信通話履歴の表示方法について】

各ユーザの個人電話帳と会社電話帳の中に同じ電話番号での登録がある場合、個人電話帳の登録内容が優先され、着信通話履歴に表示されます。個人電話帳の中に同じ電話番号の登録がなかった場合は、会社電話帳の登録内容が着信通話履歴に表示されます。

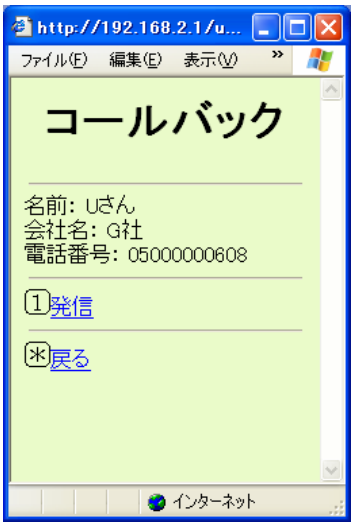
【例】

ユーザ(ID:101)は個人電話帳に A さん(電話番号：1234)を登録しているが、ユーザ(ID:102)は個人電話帳に電話番号 1234)の登録はしておらず、会社電話帳に B さん(電話番号：1234)が登録されている場合、ユーザ(ID:101)が(電話番号：1234)から着信した場合は発信通話履歴に A さんの登録内容が表示され、ユーザ(ID:102)が(電話番号：1234) から着信した場合は発信通話履歴に B さんの登録内容が表示されます。



17.7.2. 着信通話履歴・コールバック

名前・会社名は、電話帳(個人・会社)から検索して、該当がある場合は表示されます。



画面 17-36 コールバック

①発信

・発信します。

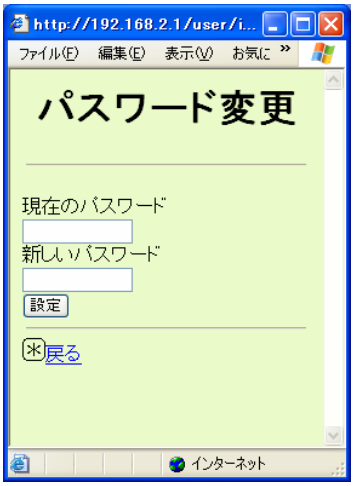
✱戻る

・一つ前の画面に戻ります。

17.8. パスワード

17. 8. 1. パスワード変更

ログインパスワードの変更を行います。『**設定**』ボタン押下後は、「17.2.2 メニュー」に戻ります。



画面 17-37 パスワード変更

現在のパスワード

・現在使用しているパスワードを入力します。現在のパスワードを間違えた場合は上部にエラーメッセージが表示されます。

新しいパスワード

・新しいパスワードを入力します。新しいパスワードのフォーマット入力エラー時は上部にエラーメッセーが表示されます。

【入力項目】

現在のパスワード	半角英数字(32 文字以内)空欄不可
新しいパスワード	半角英数字(32 文字以内)空欄不可

18. 運用例（PBX モード）

18.1. 構成

営業部２台、総務部２台、FAX１台、携帯電話１台の運用例を記載します。

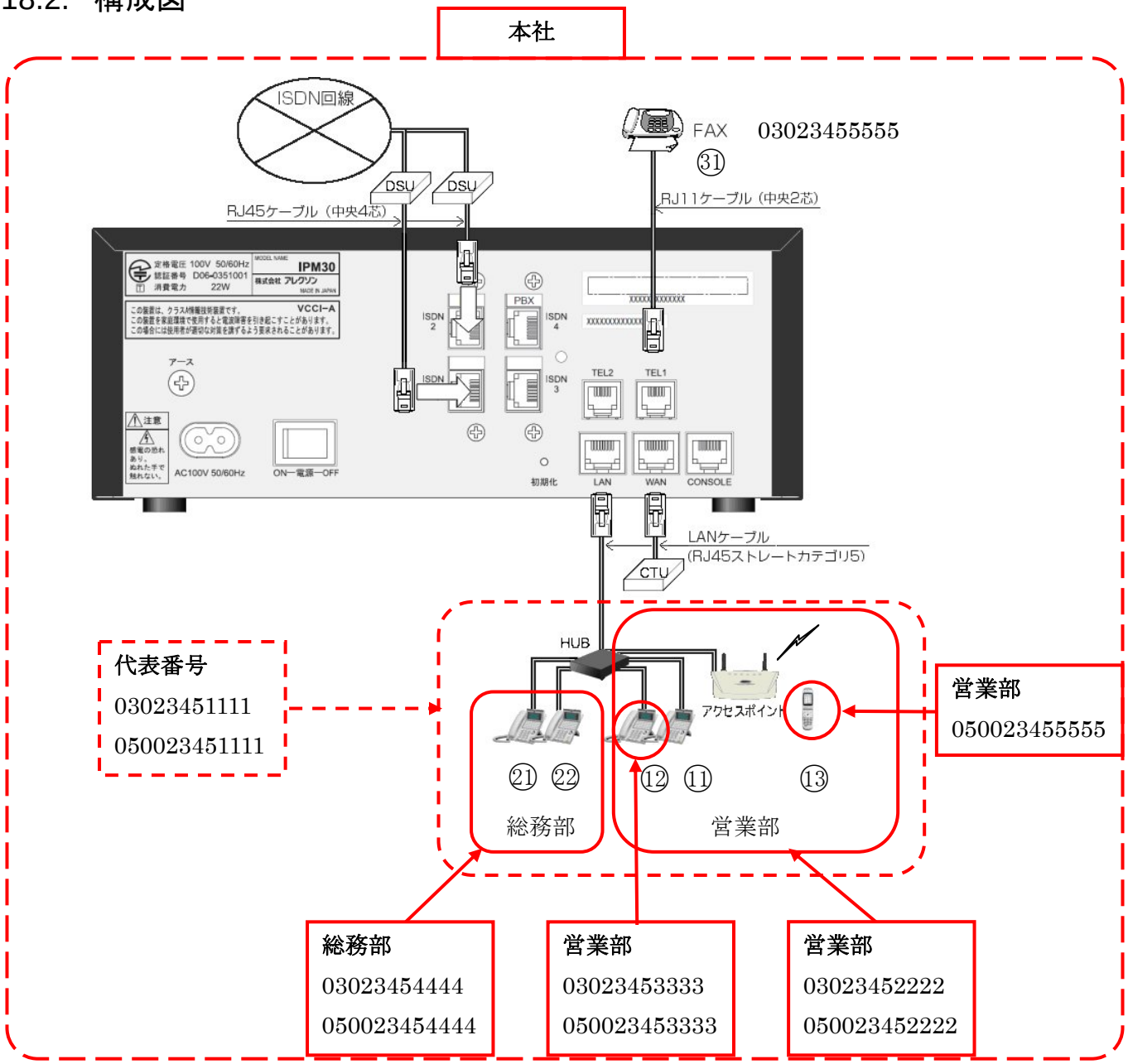
A 社	営業部２台、総務部２台、FAX１台、携帯電話１台					
回線	IP 電話	４番号（４チャンネルプラン＋５ダイヤルイン追加番号契約）				
	ISDN 回線	２回線（代表組ダイヤルイン５番号契約）				
配置と鳴動	部署	設置機種	設置台数	中代表	グループ	内線
ボタン電話：IS 携帯電話：N900iL	営業部	IS	２台	グループ１	10	11,12
		N900iL	１台			13
	総務部	IS	２台	グループ２	20	21,22
	FAX	FAX（ｱﾅﾛｸﾞ）	１台	１台	１台	31

代表番号	部署	外線		グループ代表	
	営業部	03023451111	大代表（INS）	40	
		050023451111	大代表（IP）		
		03023452222	グループ１		10
		050023452222	グループ１		
		03023453333	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ１	12	
		050023453333	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ１		
		050023455555（携帯電話用）	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ２	13	
	総務部	03023451111	大代表（INS）	40	
		050023451111	大代表（IP）		
		03023454444	グループ２		20
		050023454444	グループ２		
	FAX	03023455555			30

外線発信	発信優先　IP 電話→ISDN（FAX は ISDN 回線のみで使用）
内線番号	２桁
電話台数	６台

項目	ID	パスワード（初期値）
ネットワーク設定「http://ipm30.set/adm/」	admin	administ
PBX 設定「http://ipm30.set/pbx/」	pbx	administ
プレゼンスユーザ管理設定	00000000	00000000
PPPoE	ISP 提供	ISP 提供
IP 電話	IP 電話サービス会社提供	IP 電話サービス会社提供

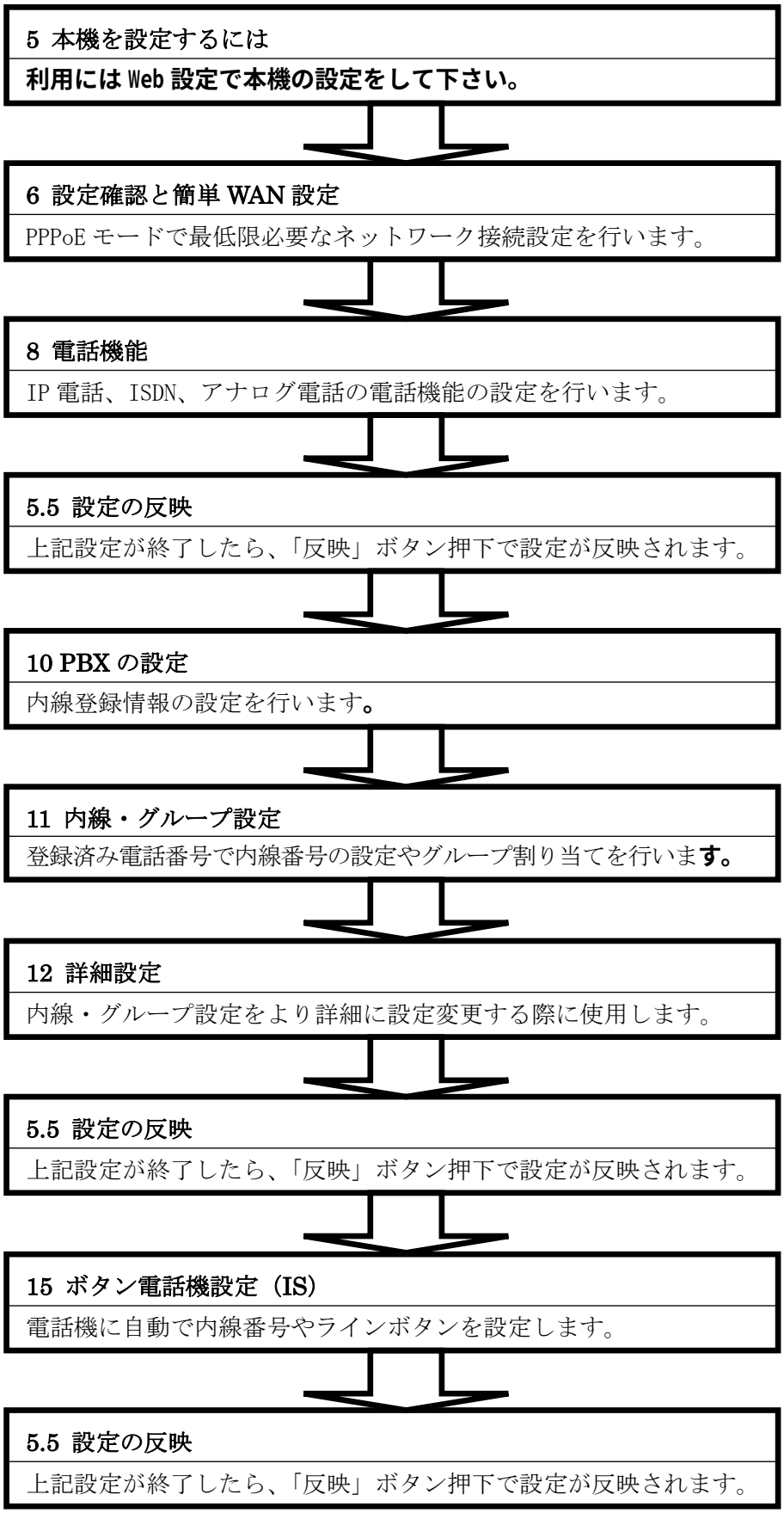
18.2. 構成図



18.3. 準備するもの

機器・ケーブル	数
本機	1台
アクセスポイント	1台
ハブ（8ポート）	1台
IS（ボタン電話）	4台
ACアダプター（ボタン電話用）	4台
N900iL（携帯電話）	1台
DSU	2台
FAX	1台
LANケーブル	7本
RJ45ケーブル（DSUとの接続用）	2本
RJ11ケーブル（アナログ電話との接続用）	1本

18.4. 設定の流れ

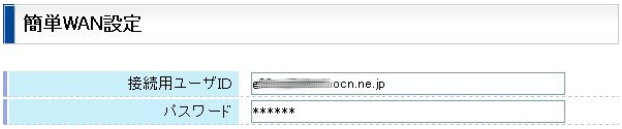

5 本機を設定するには
利用には Web 設定で本機の設定をして下さい。
6 設定確認と簡単 WAN 設定
PPPoE モードで最低限必要なネットワーク接続設定を行います。
8 電話機能
IP 電話、ISDN、アナログ電話の電話機能の設定を行います。
5.5 設定の反映
上記設定が終了したら、「反映」ボタン押下で設定が反映されます。
10 PBX の設定
内線登録情報の設定を行います。
11 内線・グループ設定
登録済み電話番号で内線番号の設定やグループ割り当てを行います。
12 詳細設定
内線・グループ設定をより詳細に設定変更する際に使用します。
5.5 設定の反映
上記設定が終了したら、「反映」ボタン押下で設定が反映されます。
15 ボタン電話機設定（IS）
電話機に自動で内線番号やラインボタンを設定します。
5.5 設定の反映
上記設定が終了したら、「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

18. 5. 設定の詳細

1. 各機器の電源をＯＦＦで有ることを確認する。
2. 「18.2 構成図」に基づき接続を行う。
3. 本機の電源をＯＮする。約３分後に設定可能となる。
4. ＨＵＢに設定用パソコンを接続する。
5. 「4 パソコン側を設定するには」に基づきパソコンの設定を行う。
6. 「5 本機を設定するには」に基づきネットワーク関係の設定を行う。

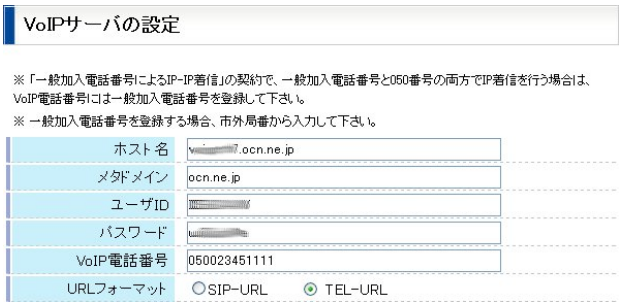
7. パソコンより Internet Explorer（6.0 SP1 以降）アイコンをダブルクリックします。
8. URL フィールドに本機の URL「http://ipm30.set/adm/」を入力し、Enter キーを押します。
9. 「5.2Web 設定を使用する」に基づき「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、Web 設定を始める。

10. 「5.3 リモートメンテナンスの設定」に基づき「許可する／許可しない」の設定を行う。
11. 「6 設定確認と簡単 WAN 設定」に基づきＷＡＮの設定を行う。
12. 「TOP」の「簡単 WAN 設定」を選択し、「6.2 簡単 WAN 設定」に基づき PPPoE モードの場合は、「接続ユーザ ID」と「パスワード」の設定を行い「設定」ボタンを押下する。その他のモードは、「7.1WAN 設定」をご参照下さい。

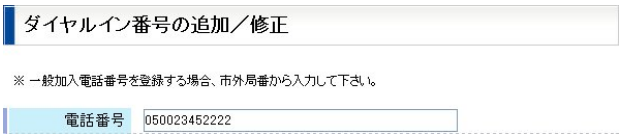


13. 「電話設定」→「VoIP 電話の設定」→「VoIP 電話設定」選択し、「8.1VoIP 電話設定」に基づき IP 電話関係の「設定」を行う。
14. 「8.1.1VoIP 電話設定」に基づき「チャンネル数」の「設定」を行う。

15. 「VoIP サーバの設定」を押下して、「8.1.2VoIP サーバ設定」に基づき VoIP サーバの「設定」を行う。その後、VoIP 電話設定画面に戻る。



16. 「ダイヤルイン番号の追加」を押下し、「8.1.3 ダイヤルイン番号の追加」に基づき「ダイヤルイン番号の追加／修正」の「設定」を行う。その後、VoIP 電話設定画面に戻る。



17. 引き続き、「ダイヤルイン番号の追加」を押下し、ダイヤルイン番号の追加を４回繰り返して「設定」を行う。

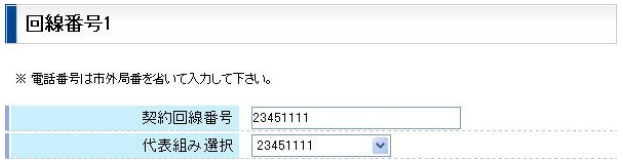
18. 「電話設定」→「VoIP 電話基本設定」を選択し、「8.1.4VoIP 電話基本設定」に基づき「市外局番」と「発信者番号通知」の「設定」を行う。

19. 「電話機能」→「ISDN 回線の設定」→「代表組設定」を選択し、「追加」を押下して代表組番号を設定する。

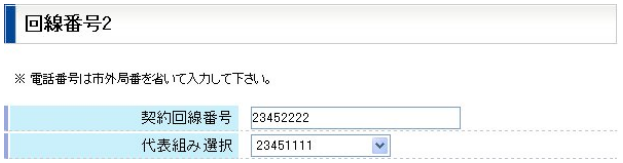
20. 「代表組設定」で「親番号」で親番号を設定し、「設定」ボタンを押下し、「子番号の追加」で「子番号」を設定して、「追加」ボタンを押下する。

21. その後、「設定」ボタンを押下後、「戻る」ボタンを押下して「代表組設定」の画面に戻る。

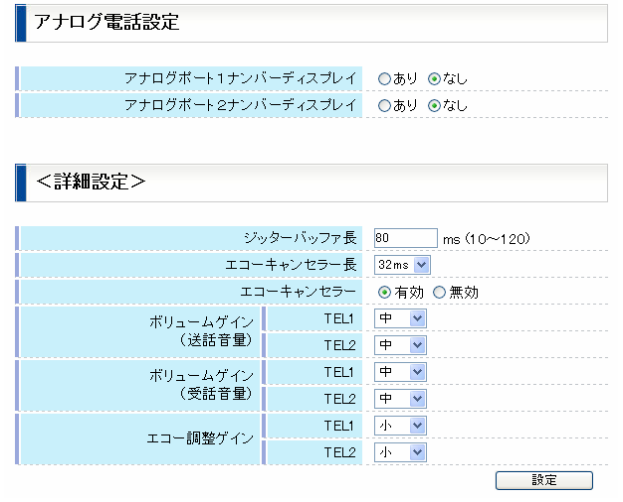
22. 「電話機能」→「ISDN 回線の設定」→「回線番号１」を選択し、「回線番号１」に「契約回線番号」を入力し、「代表組み選択」を選択してから、「設定」ボタンを押下する。



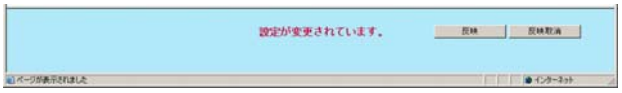
23. 「電話機能」→「ISDN 回線の設定」→「回線番号２」を選択し、「回線番号２」に「契約回線番号」を入力し、「代表組み選択」を選択してから、「設定」ボタンを押下する。



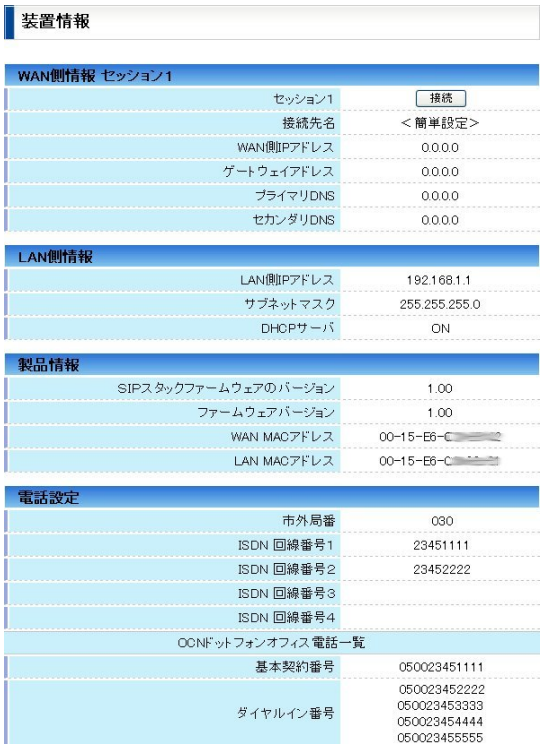
24. 「電話機能」→「アナログ電話設定」を選択し、「8.3 アナログ電話設定」に基づき「アナログ電話設定」を設定する。「詳細設定」ボタンを押下して設定内容を確認してから「設定」ボタンを押下する。



25. 画面下部のフレームの「**設定が変更されています。**」という下記メッセージが表示を確認します。このとき『**反映**』ボタンを押下すると確認画面が表示されます。続いて『**OK**』ボタンを押下すると、設定の反映が実行されます。設定終了迄に約３分程度時間を要します。



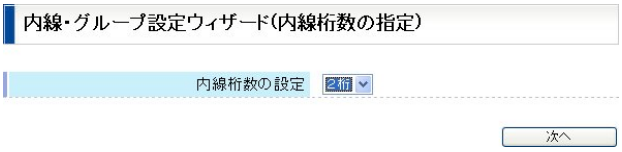
26. 再起動すると、「装置情報」を表示しますので設定内容を確認します。



ＰＢＸ関係の設定

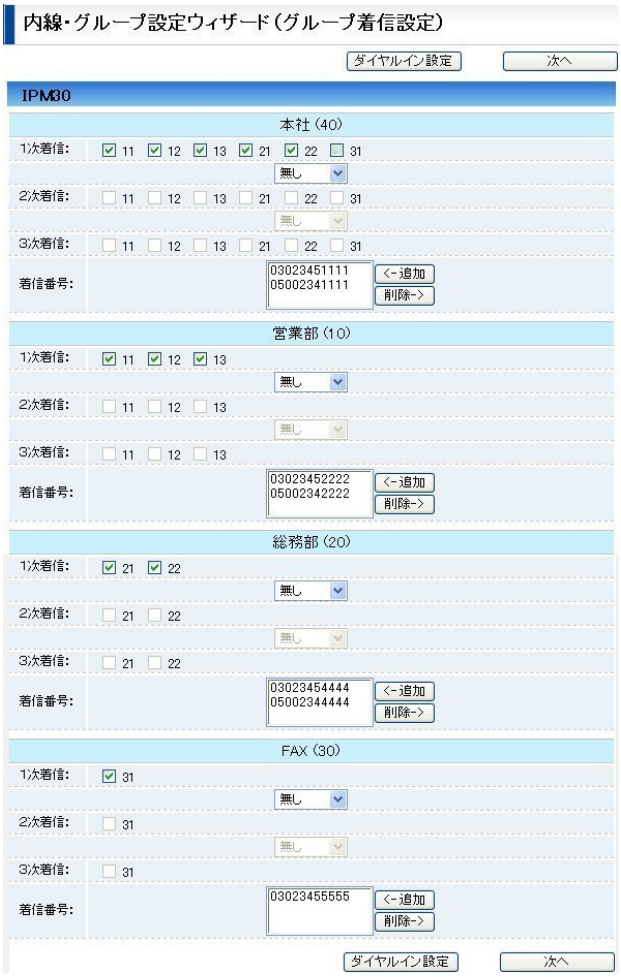
27. URL フィールドに本機の URL「http://ipm30.set/pbx/」を入力し、Enter キーを押します。
28. 「10PBX の設定」に基づき「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、Web 設定を行う。

29. 「PBX 設定」→「かんたん設定」→「内線・グループ設定」→「内線・グループ設定ウィザード」を選択し、「11 内線・グループ設定」に基づき「内線番号」や「グループ割り当て」を行う。
30. 「内線桁数の指定」を選択し、「次へ」を押下します。

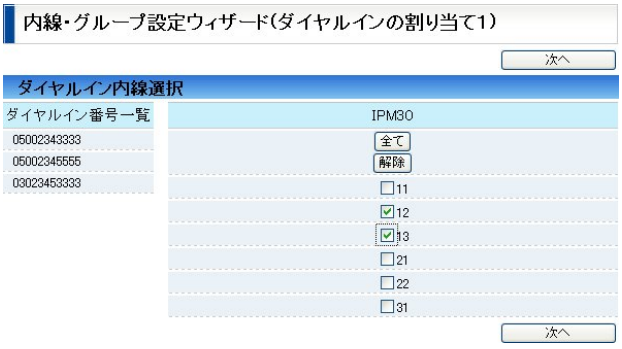


31. 「グループの追加」で「本社」・「営業部」・「総務部」・「FAX」を「追加」ボタンを押下しグループを登録する。「グループ番号」を入力し、「内線追加」で各内線番号を入力して「追加」ボタンを押下し登録する。「次へ」を押下します。

32. 「11.2.3 グループ着信設定」に基づき。グループ毎に「一次着信する内線番号」を選択し、「ダイヤルイン番号一覧」から「着信番号」へ追加する。下記設定例のように設定が完了してから、「ダイヤルイン設定」を押下します。

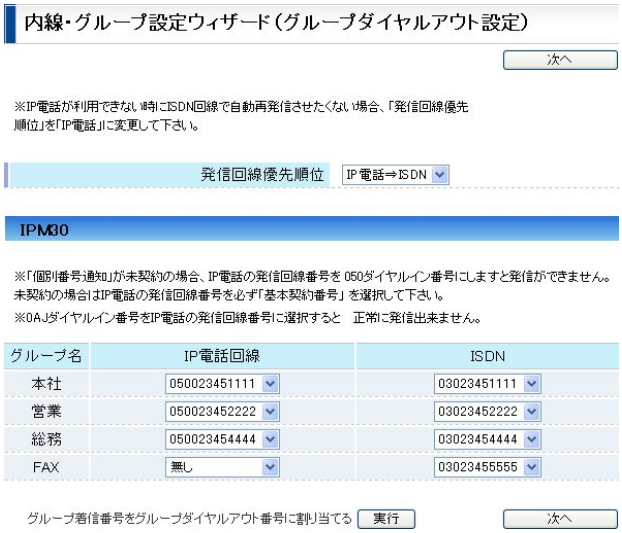


33. 「11.2.4 ダイヤルイン設定」に基づき「ダイヤルインの内線選択」を設定し、「次へ」を押下します。



34. 「ダイヤルイン番号一覧」から「ダイヤルイン番号選択」へ追加し、「次へ」を押下します。

35. 「11.2.5 グループダイヤルアウト設定」に基づき「発信回線優先順位」を決めて、「IP 電話回線」と「ISDN」の電話番号を設定し、「次へ」を押下します。



36. 「11.2.6 内線機種選択」に基づき「内線番号」に合わせた「機種」を決めて、「完了」を押下します。

37. 「内線・グループ設定ウィザード」の設定内容を確認する。

IPM30

グループに属さない内線	無し	
本社(40)	内線一覧	11 12 13 21 22
	一次着信	11 12 13 21
	二次着信	
	三次着信	
	グループダイヤルイン	03023451111 050023451111
	グループ発信回線	IP電話回線 : 050023451111 ISDN : 03023451111
営業部(10)	内線一覧	11 12 13
	一次着信	11 12 13
	二次着信	
	三次着信	
	グループダイヤルイン	03023452222 050023452222
	グループ発信回線	IP電話回線 : 050023452222 ISDN : 03023452222
総務部(20)	内線一覧	21 22
	一次着信	21 22
	二次着信	
	三次着信	
	グループダイヤルイン	03023454444 050023454444
	グループ発信回線	IP電話回線 : 050023454444 ISDN : 03023454444
FAX(30)	内線一覧	31
	一次着信	31
	二次着信	
	三次着信	
	グループダイヤルイン	050023455555
	グループ発信回線	IP電話回線 : 無し ISDN : 03023455555

38. 画面下部のフレームの「**設定が変更されています。**」という下記メッセージが表示を確認します。このとき『**反映**』ボタンを押下すると確認画面が表示されます。続いて『**OK**』ボタンを押下すると、設定の反映が実行されます。設定終了迄に約３分程度時間を要します。

39. 接続ボタン電話「ＩＳ」全てを「15.1.3 電話機をローカル保守に設定」に基づき「ローカル保守」表示状態にする。

ローカル保守

40. 「PBX 設定」→「電話機自動設定」を選択し、「15.1 電話機自動設定」に基づき「検査」を押下して「電話機の検索」する。

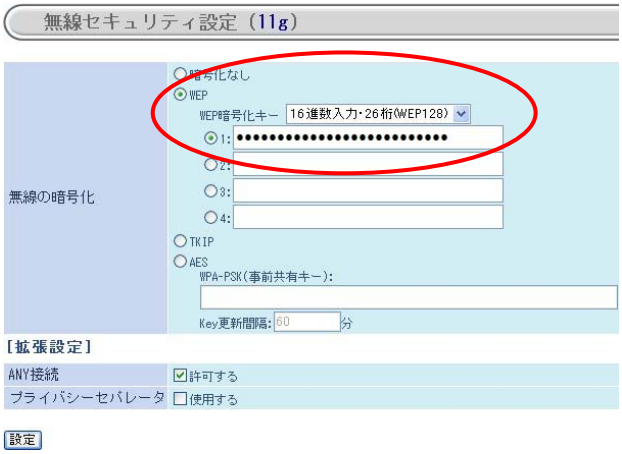
41. 検出された電話機に割り当てるラインボタンの設定し、「設定」を押下します。主に、パーク保留・外線着信表示等にラインボタンの設定を行う。

42. 画面下部のフレームの「**設定が変更されています。**」という下記メッセージが表示を確認します。このとき『**反映**』ボタンを押下すると確認画面が表示されます。続いて『**OK**』ボタンを押下すると、設定の反映が実行されます。設定終了迄に約３分程度時間を要します。

アクセスポイントの設定
設定例：WHR-G54S

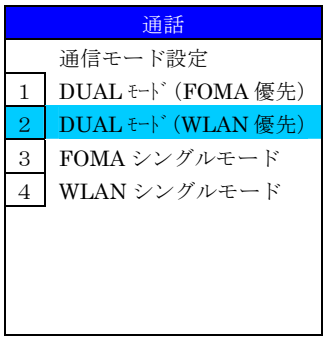
43. 子機に N900iL を使用される場合、まずアクセスポイントの設定を行う。アクセスポイントの説明書に従って設定を行う。
44. アクセスポイントを「動作モード切替スイッチ」を BRI.：「ブリッジモード」に設定する。
45. アクセスポイントにパソコンを接続し電源を入れる。パソコン側の IP アドレスを「192.168.11.99」に変更する。
46. URL フィールドにアクセスポイントの URL「192.168.11.100」を入力し、Enter キーを押します。
47. 「管理設定」が「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、Web 設定を行う。
48. 下図の様に「無線基本設定」を行う。
    設定例
    SSID：ALEXON2
    フレームバースト：使用しない

49. 下図の様に、「識別情報の設定（WEP）」設定を行う。
    設定例
    WEP：16 進数入力・26 桁（WEP128）
    1：12345678901234567890123456



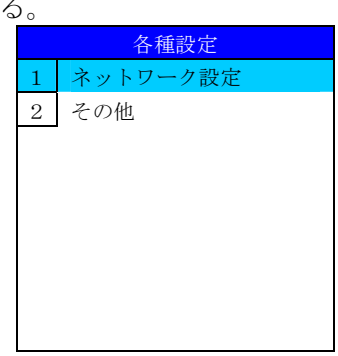
N900iL の設定

50. 「モード」ボタンを押下し、「通信モード設定」を表示して、「DUAL モード（WLAN 優先）」に設定する。

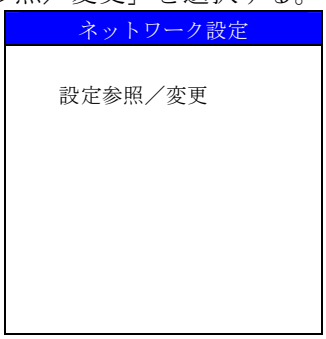


51. 「ＭＥＮＵ」キーを押下し「各種設定」アイコンを選択する。

52. 「▼」キーを押下し、「ネットワーク設定」を選択する。



53. 「設定参照／変更」を選択する。



54. 「無線 LAN 暗証番号は？」を選択する。「初期値：0000」

設定参照／変更
無線 LAN 暗証番号は？

55. 「無線 LAN 設定」を選択する。

設定参照／変更	
1	無線 LAN 設定
2	Ｓｃａｎ方式設定
3	共通設定
4	情報設定

56. 「プロファイル 01」を選択する。

プロファイル一覧	
1	プロファイル 01
2	プロファイル 02
3	プロファイル 03
4	プロファイル 04
5	プロファイル 05
6	プロファイル 06
7	プロファイル 07
8	プロファイル 08
9	プロファイル 09
0	プロファイル 10

57. 「プロファイル名設定」を選択する。

プロファイル― 01	
1	プロファイル名設定
2	ＥＳＳＩＤ設定
3	ＩＰアドレス設定
4	ＤＮＳ設定
5	Ｐｒｏｘｙ設定
6	通信チャンネル設定
7	セキュリティ方式設定
8	ＳＩＰサーバ設定

58. 「プロファイル名編集」でアクセスポイント名を設定する。「設定例：AIRSTATION」

プロファイル名編集
AIRSTATION

59. 「ESS ID 設定」で ESS ID を設定する。「設定例：ALEXON2」

ESSID 編集
ALEXON2

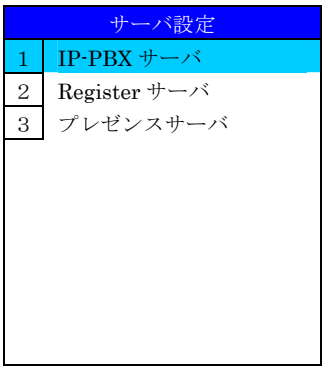
60. 「SIP サーバ設定」→「移動機 SIP アドレス設定」を選択する。

SIP サーバ設定	
1	移動機 SIP アドレス設定
2	サーバ設定
3	SIP シーケンス設定
4	ユーザ設定

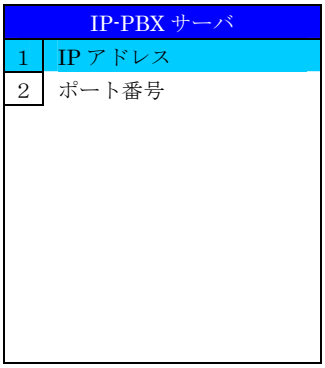
61. 「SIP アドレス編集」で本機のアドレスを設定する。「設定例：13@192.1681.1」

SIP アドレス編集
13@192.168.1.1

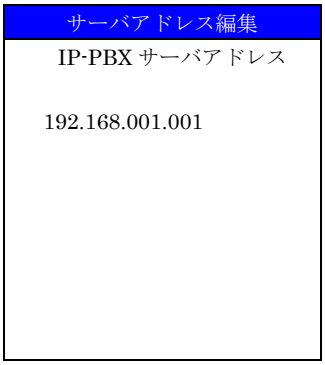
62. 「SIP サーバ設定」→「サーバ設定」→「IP-PBX サーバ」を選択する。



63. 「IP アドレス」を選択する。



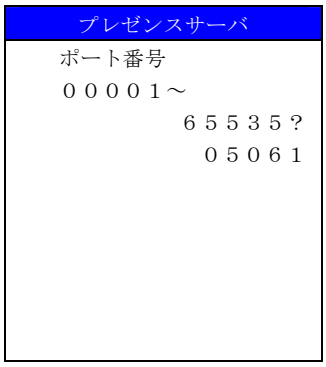
64. 「IP-PBX サーバアドレス」を設定する。「設定例：192.168.1.1」



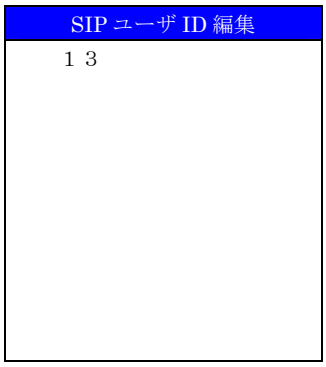
65. 「ポート番号」を選択し「ポート番号」を設定する。「設定例：05060」

66. 「サーバ設定」に戻り、「Register サーバ」→「IP アドレス」を選択し、「サーバアドレス」を設定する。「設定例：192.168.1.1」

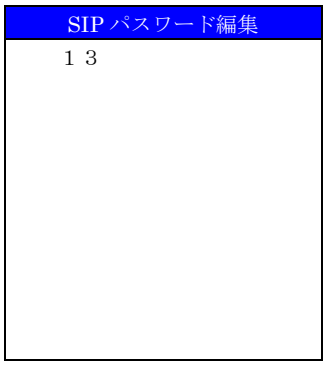
67. 「サーバ設定」に戻り、「プレゼンスサーバ」→「ポート番号」を選択しポート番号を設定する。「設定例:05061」



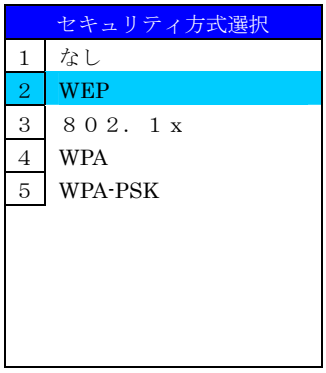
68. 「SIP サーバ設定」に戻って、「ユーザ設定」→「ID」を選択し、「SIP ユーザ ID」（端末内線番号）を設定する。「設定例：13」



69. 「パスワード」を選択し、「SIP パスワード」（端末内線番号）を設定する。「設定例：13」



70. 「プロファイル」メニューに戻り、「セキュリティ方式設定」→「セキュリティ方式選択」を選択し、「WEP」を選択する。



71. 「WEP キー」で「128bit／HEX」を選択する。

WEP キー設定	
1	64bit／ASCII
2	64bit／HEX
3	128bit／ASCII
4	128bit／HEX

72. 「WEP キー」を設定する。「設定例:12345678901234567890123456」

WEP キー編集
12345678901234567890
123456

73. 「設定参照／変更」画面に戻り、「Scan 方式設定」を選択する。

設定参照／変更	
1	無線 LAN 設定
2	Ｓｃａｎ方式設定
3	共通設定
4	情報設定

74. 「指定 Scan」→「AIRSTATION」を「確定」する。「CLR」キーを押下する。

Ｓｃａｎ方式	
1	ＡｎｙＳｃａｎ
2	指定Ｓｃａｎ

75. 「設定参照／変更」画面に戻り、「共通設定」を選択する。

設定参照／変更	
1	無線 LAN 設定
2	Ｓｃａｎ方式設定
3	共通設定
4	情報設定

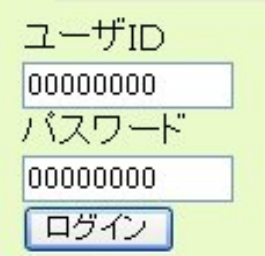
76. 「PowerSave 設定」→「OFF」を「選択」する。「CLR」キーを押下し、「完了」を選択する。「設定反映中」が表示されます。

共通設定	
1	PowerSave 設定
2	接続待ち時間設定
3	Ｓｃａｎタイプ設定
4	ＳＳＬ証明管理

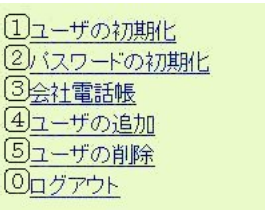
77. アクセスポイントと接続すると、W マークとアンテナマークを表示します。また、本機と接続されると、SIP マークが表示されます。これで N900iL の設定は完了です。

プレゼンスの設定
ユーザの登録

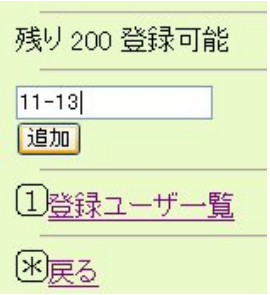
78. URL フィールドに本機の URL「http://ipm30.set/」を入力し、Enter キーを押します。
79. 「16.1.1 ログイン」に基づき「ユーザーID」と「パスワード」を入力して、Web 設定を行う。



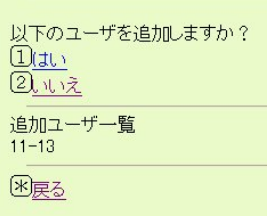
80. メニューより「ユーザの追加」を選択する。



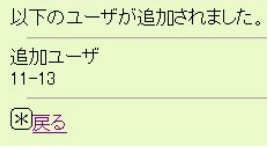
81. 「16.3.1 ユーザ追加」に基づき、内線番号「11-13」を入力して「追加」ボタンを押下する。



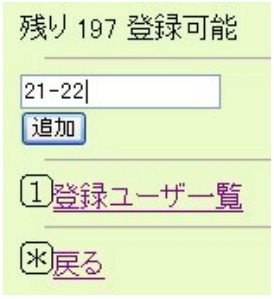
82. 登録内容を確認後、「はい」を選択する。



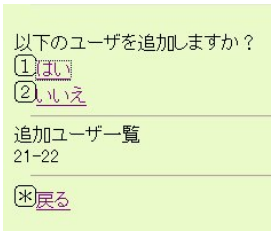
83. 下記表示後、登録が正常に終了する。



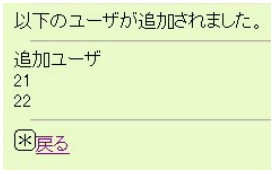
84. 「16.3.1 ユーザ追加」に基づき、内線番号「21-22」を入力して「追加」ボタンを押下する。



85. 登録内容を確認後、「はい」を選択する。

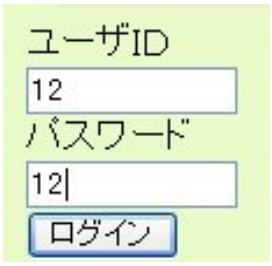


86. 下記表示後、登録が正常に終了する。



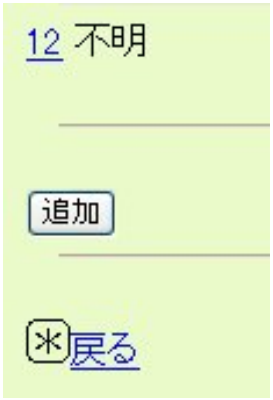
プレゼンス機能
転送の場合

87. URL フィールドに本機の URL「http://ipm30.set/」を入力し、Enter キーを押します。
88. 「17.2.1 ログイン」に基づき「ユーザーID」と「パスワード」を入力して、Web 設定を行う。内線番号 12 の場合は、下記の様に入力する。（ボタン電話の場合）

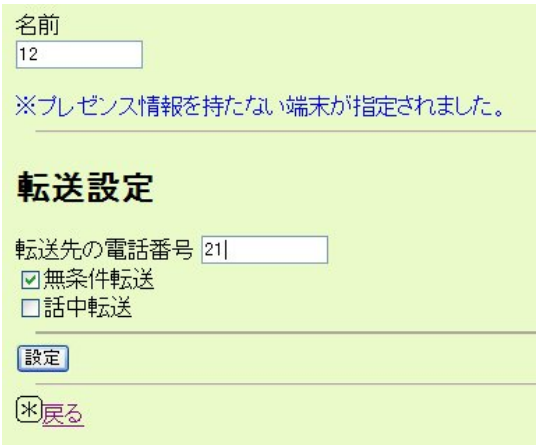


89. 「17.2.2 メニュー」に基づき「プレゼンス」を選択する。

90. 下記画面の「１２」を選択する。



91. 内線番号１２の「転送先の電話番号」を入力してから、「無条件転送」又は「話中転送」を選択する。



19. 運用例（GW モード）

19.1. 構成

営業部３台、総務部２台の運用例を記載します。

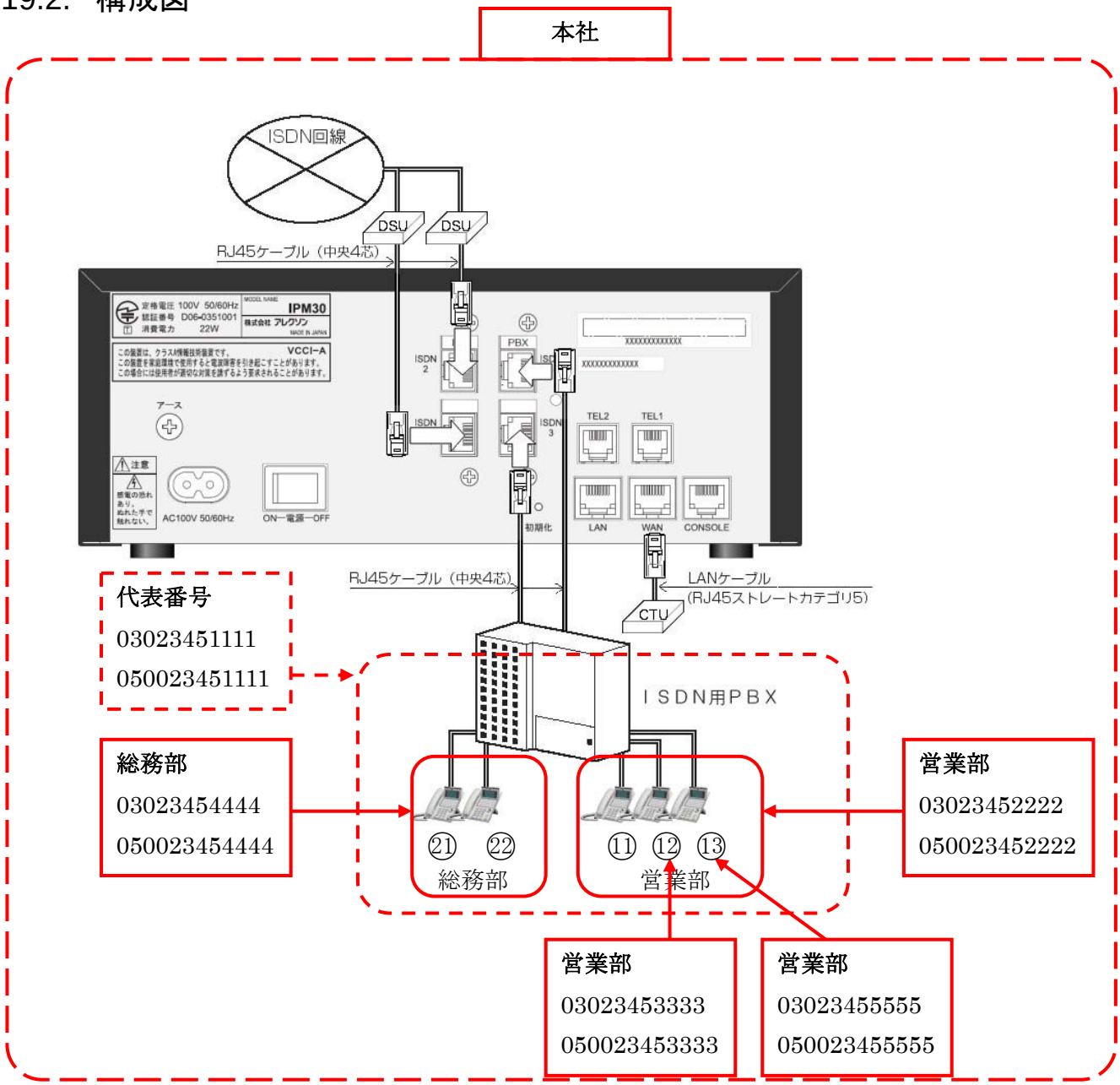
A 社	営業部３台、総務部２台					
回線	IP 電話	４番号（４チャンネルプラン＋５ダイヤルイン追加番号契約）				
	ISDN 回線	２回線（代表組ダイヤルイン５番号契約）				
配置と鳴動	部署	設置機種	設置台数	中代表	グループ	内線
ボタン電話	営業部	PBX 用電話	３台	グループ１	10	11-13
	総務部	PBX 用電話	２台	グループ２	20	21,22

代表番号	部署	外線		グループ代表	
	営業部	03023451111	大代表（INS）	40	
		050023451111	大代表（IP）		
		03023452222	グループ１		10
		050023452222	グループ１		
		03023453333	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ 1	12	
		050023453333	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ 1		
		030234555555	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ 2	13	
		0500234555555	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ 2		
	総務部	03023451111	大代表（INS）	40	
		050023451111	大代表（IP）		
		03023454444	グループ２	20	
		050023454444	グループ２		

外線発信	発信優先　IP 電話→ISDN
内線番号	２桁
電話台数	５台

項目	ID	パスワード（初期値）
ネットワーク設定「http://ipm30.set/adm/」	admin	administ
PBX 設定「http://ipm30.set/pbx/」	pbx	administ
プレゼンスユーザ管理設定	00000000	00000000
PPPoE	ISP 提供	ISP 提供
IP 電話	IP 電話サービス会社提供	IP 電話サービス会社提供

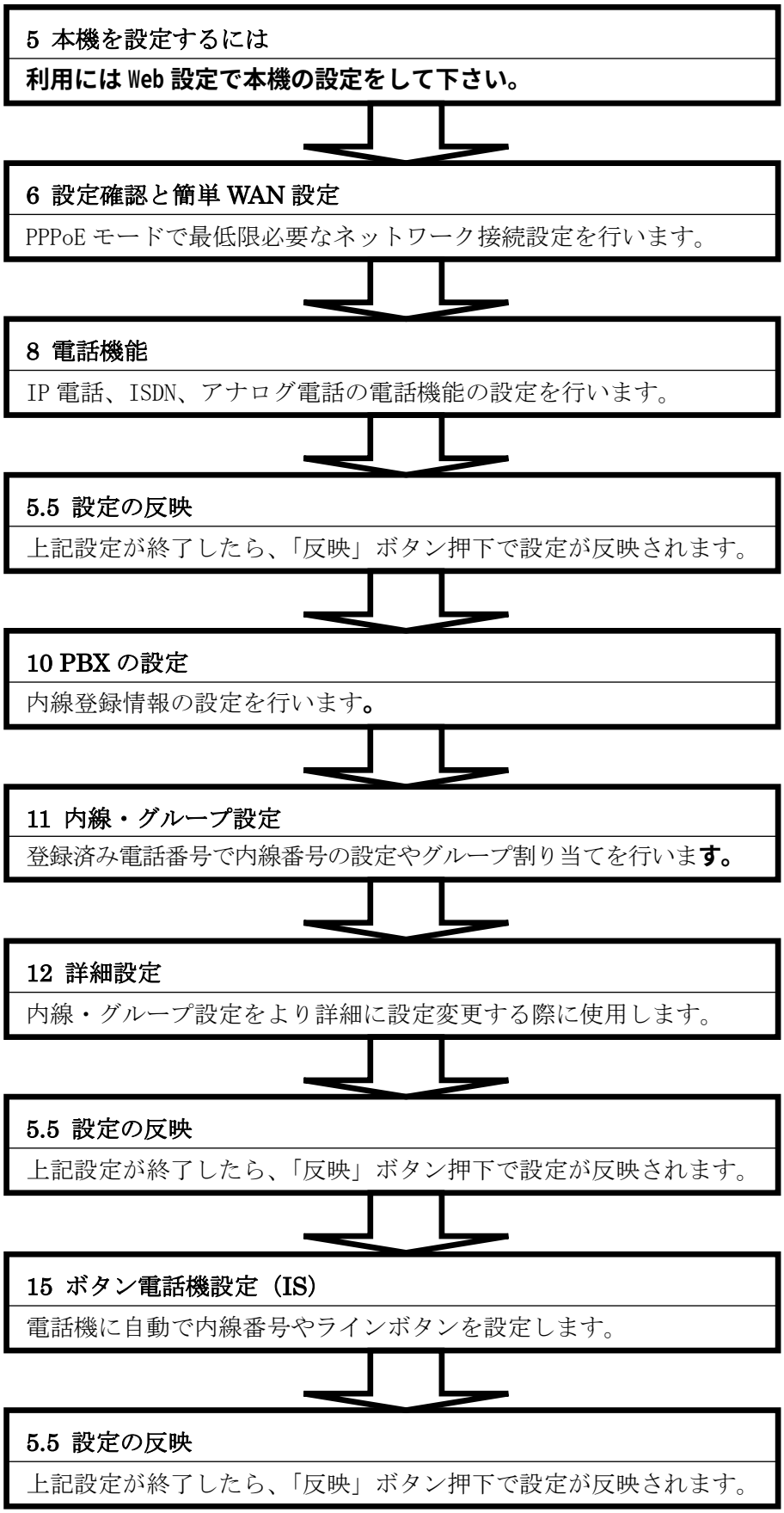
19.2. 構成図



19. 3. 準備するもの

機器・ケーブル	数
本機	1 台
ISDN 用 PBX（既存設置品）	1 台
PBX 用ボタン電話（既存設置品）	5 台
DSU（既存設置品）	2 台
RJ45 ケーブル（DSU との接続用）	2 本

19.4. 設定の流れ

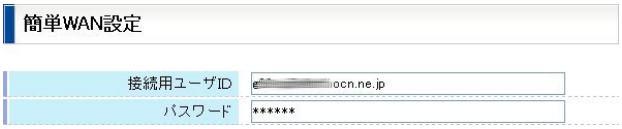

5 本機を設定するには
利用には Web 設定で本機の設定をして下さい。
6 設定確認と簡単 WAN 設定
PPPoE モードで最低限必要なネットワーク接続設定を行います。
8 電話機能
IP 電話、ISDN、アナログ電話の電話機能の設定を行います。
5.5 設定の反映
上記設定が終了したら、「反映」ボタン押下で設定が反映されます。
10 PBX の設定
内線登録情報の設定を行います。
11 内線・グループ設定
登録済み電話番号で内線番号の設定やグループ割り当てを行います。
12 詳細設定
内線・グループ設定をより詳細に設定変更する際に使用します。
5.5 設定の反映
上記設定が終了したら、「反映」ボタン押下で設定が反映されます。
15 ボタン電話機設定（IS）
電話機に自動で内線番号やラインボタンを設定します。
5.5 設定の反映
上記設定が終了したら、「反映」ボタン押下で設定が反映されます。

19. 5. 設定の詳細

1. 各機器の電源をＯＦＦで有ることを確認する。
2. 「18.2 構成図」に基づき接続を行う。
3. 本機の電源をＯＮする。約３分後に設定可能となる。
4. LAN ポートに設定用パソコンを接続する。
5. 「4 パソコン側を設定するには」に基づきパソコンの設定を行う。
6. 「5 本機を設定するには」に基づきネットワーク関係の設定を行う。

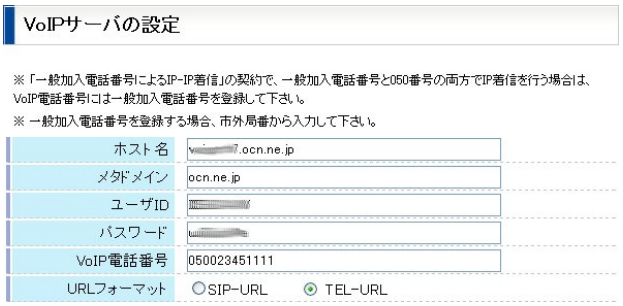
7. パソコンより Internet Explorer（6.0 SP1 以降）アイコンをダブルクリックします。
8. URL フィールドに本機の URL「http://ipm30.set/adm/」を入力し、Enter キーを押します。
9. 「5.2Web 設定を使用する」に基づき「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、Web 設定を始める。

10. 「5.3 リモートメンテナンスの設定」に基づき「許可する／許可しない」の設定を行う。
11. 「6 設定確認と簡単 WAN 設定」に基づきＷＡＮの設定を行う。
12. 「TOP」の「簡単 WAN 設定」を選択し、「6.2 簡単 WAN 設定」に基づき PPPoE モードの場合は、「接続ユーザ ID」と「パスワード」の設定を行い「設定」ボタンを押下する。その他のモードは、「7.1WAN 設定」をご参照下さい。

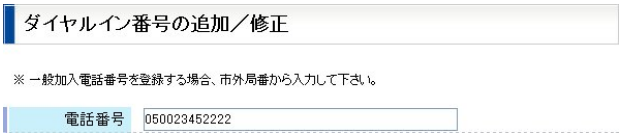


13. 「電話設定」→「VoIP 電話の設定」→「VoIP 電話設定」選択し、「8.1VoIP 電話設定」に基づき IP 電話関係の「設定」を行う。
14. 「8.1.1VoIP 電話設定」に基づき「チャンネル数」の「設定」を行う。

15. 「VoIP サーバの設定」を押下して、「8.1.2VoIP サーバ設定」に基づき VoIP サーバの「設定」を行う。その後、VoIP 電話設定画面に戻る。



16. 「ダイヤルイン番号の追加」を押下し、「8.1.3 ダイヤルイン番号の追加」に基づき「ダイヤルイン番号の追加／修正」の「設定」を行う。その後、VoIP 電話設定画面に戻る。



17. 引き続き、「ダイヤルイン番号の追加」を押下し、ダイヤルイン番号の追加を４回繰り返して「設定」を行う。

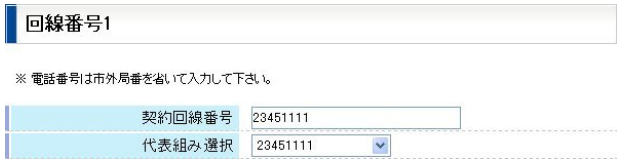
18. 「電話設定」→「VoIP 電話基本設定」を選択し、「8.1.4VoIP 電話基本設定」に基づき「市外局番」と「発信者番号通知」の「設定」を行う。

19. 「電話機能」→「ISDN 回線の設定」→「代表組設定」を選択し、「追加」を押下して代表組番号を設定する。

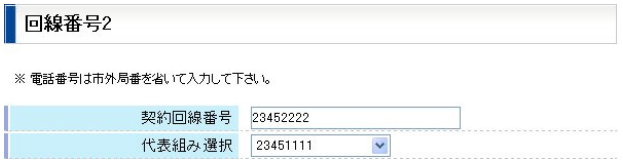
20. 「代表組設定」で「親番号」で親番号を設定し、「設定」ボタンを押下し、「子番号の追加」で「子番号」を設定して、「追加」ボタンを押下する。

21. その後、「設定」ボタンを押下後、「戻る」ボタンを押下して「代表組設定」の画面に戻る。

22. 「電話機能」→「ISDN 回線の設定」→「回線番号１」を選択し、「回線番号１」に「契約回線番号」を入力し、「代表組み選択」を選択してから、「設定」ボタンを押下する。

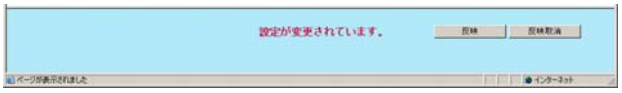


23. 「電話機能」→「ISDN 回線の設定」→「回線番号２」を選択し、「回線番号２」に「契約回線番号」を入力し、「代表組み選択」を選択してから、「設定」ボタンを押下する。



24. 「メンテナンス」→「システム管理」→「PBX モード／GW モード」→「GW モード」を選択し、「設定＆反映」ボタンを押下する。

25. 画面下部のフレームの「**設定が変更されています。**」という下記メッセージが表示を確認します。このとき『**反映**』ボタンを押下すると確認画面が表示されます。続いて『**OK**』ボタンを押下すると、設定の反映が実行されます。設定終了迄に約３分程度時間を要します。



26. 再起動すると、「装置情報」を表示しますので設定内容を確認します。

装置情報

WAN側情報 セッション1	
セッション1	接続
接続先名	＜簡単設定＞
WAN側IPアドレス	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
プライマリDNS	0.0.0.0
セカンダリDNS	0.0.0.0

LAN側情報	
LAN側IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバ	ON

製品情報	
SIPスタックファームウェアのバージョン	1.00
ファームウェアバージョン	1.00
WAN MACアドレス	00-15-E6-C
LAN MACアドレス	00-15-E6-C

電話設定	
市外局番	030
ISDN 回線番号1	23451111
ISDN 回線番号2	23452222
ISDN 回線番号3	
ISDN 回線番号4	
OCNドットフォンオフィス電話一覧	
基本契約番号	050023451111
ダイヤルイン番号	050023452222 050023453333 050023454444 050023455555

ＰＢＸ関係の設定

27. URL フィールドに本機の URL「http://ipm30.set/pbx/」を入力し、Enter キーを押下します。
28. 「10PBX の設定」に基づき「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、Web 設定を行う。

29. 「PBX 設定」→「かんたん設定」→「内線・グループ設定」→「内線・グループ設定ウィザード」を選択し、「11 内線・グループ設定」に基づき「内線番号」や「グループ割り当て」を行う。
30. 「内線桁数の指定」を選択し、「次へ」を押下します。

内線・グループ設定ウィザード(内線桁数の指定)

内線桁数の設定 2桁

次へ

31. 「グループの追加」で「本社」・「営業部」・「総務部」を「追加」ボタンを押下しグループを登録する。「グループ番号」を入力し、「内線追加」で各内線番号を入力して「追加」ボタンを押下し登録する。「次へ」を押下します。

内線・グループ設定ウィザード(内線・グループ追加/削除)

次へ

IPM30

グループ	グループ番号	内線追加	内線番号
グループに属さない内線		追加 削除	
本社 削除	40	追加 削除	11-13,21-22,41
営業部 削除	10	追加 削除	11-13
経理部 削除	20	追加 削除	21-22

グループの追加

追加

次へ

32. 「11.2.3 グループ着信設定」に基づき。グループ毎に「一次着信する内線番号」を選択し、「ダイヤルイン番号一覧」から「着信番号」へ追加する。下記設定例のように設定が完了してから、「ダイヤルイン設定」を押下します。

33. 「11.2.4 ダイヤルイン設定」に基づき「ダイヤルインの内線選択」を設定し、「次へ」を押下します。

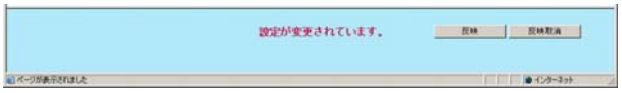
34. 「ダイヤルイン番号一覧」から「ダイヤルイン番号選択」へ追加し、「次へ」を押下します。

35. 「11.2.5 グループダイヤルアウト設定」に基づき「発信回線優先順位」を決めて、「IP 電話回線」と「ISDN」の電話番号を設定し、「次へ」を押下します。

36. 「11.2.6 内線機種選択」に基づき「内線番号」に合わせた「機種」を決めて、「完了」を押下します。

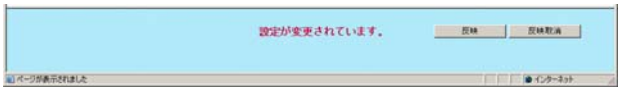
37. 「内線・グループ設定ウィザード」の設定内容を確認する。

38. 画面下部のフレームの「**設定が変更されています。**」という下記メッセージが表示を確認します。このとき『**反映**』ボタンを押下すると確認画面が表示されます。続いて『**OK**』ボタンを押下すると、設定の反映が実行されます。設定終了迄に約３分程度時間を要します。



39. 「12.5.3 代表ダイヤルインの設定」に基づき「回線番号」と「内線番号」を決めて、「設定」を押下します。

40. 画面下部のフレームの「**設定が変更されています。**」という下記メッセージが表示を確認します。このとき『**反映**』ボタンを押下すると確認画面が表示されます。続いて『**OK**』ボタンを押下すると、設定の反映が実行されます。設定終了迄に約３分程度時間を要します。



20. ご参考

20.1. INS ネット 64（ISDN）の付加サービスについて

ISDN 付加サービスのご利用の時は、「0000」を最初に付加して下さい。

サービス名称	可否	サービス名称	可否
フレックスホン（キャッチホン）	×	INS ナンバー・リクエスト	○
フレックスホン（通信中転送）	×	INS メンバーズネット	×
フレックスホン（三者通話）	×	迷惑電話おことわりサービス	○
フレックスホン（着信転送）	×	でんわばん	○
ｉ・ナンバー	○	二重番号サービス	○
ダイヤルイン	○	空いたらお知らせ１５９	○
サブアドレス	○	代表取扱サービス	○
発信者番号通知	○	オフトーク通信	×
INS ナンバー・ディスプレイ	○	料金通知サービス	×
ネーム・ディスプレイ	×	通話中機器移動サービス	×
Ｌモード	×	通話中機器移動通知機能	×
INS マジックボックス	○	ユーザー間情報通知サービス	×
INS ボイスワープ／INS ボイスワープセレクト	○	通信中着信サービス	×
INS なりわけサービス	×		

○　：本機でご利用できる「INS ネット 64」の付加サービスです。（但し、接続する ISDN 機器がサービスに対応していて、主に付加サービスの契約が必要です。）
×　：本機でご利用できない「INS ネット 64」の付加サービスです。

20.2. IP 電話の付加サービスについて

2006 年 11 月 30 日現在

サービス名称	可否	サービス名称	可否
050 ダイヤルインサービス	○	一般加入電話番号による IP-IP 着信	○
ダイヤルインサービス（一般加入電話番号）	○	代表サービス	○
代表番号通知/基本契約番号通知	○	電話会議サービス	○
個別番号通知機能	○		

○　：本機でご利用できるサービスです。（オプション契約が必要なサービスが有ります。）

20.3. N900iL を内線コードレスとしてご利用する場合の注意点

- N900iL にて保留した通話を転送する場合は、ディスプレイ画面の状態を確認して操作して下さい。
- N900iL で連続したボタン操作を行った場合、ボタン操作しても何も応答しない事があります。その場合、N900iL の電源を入れ直して下さい。
- 転送先の N900iL が無線 LAN のサービスエリア外にいる時、N900iL への転送はできません。
- 保留転送時、ダイヤル先に特番の番号を入力した場合、保留中のまま相手の方が切断されるまで N900iL の操作ができなくなります。その場合、N900iL の電源を入れ直して下さい。
- 無線 LAN モードで N900iL をご利用中に、FOMA からの音声着信等と競合した場合に N900iL が再起動することがあります。
- FOMA で N900iL をご利用中に、無線 LAN 通信からの音声着信が競合した場合に N900iL が再起動することがあります。
- N900iL のマルチタスク機能はご利用になれません。
- 保留中に履歴ボタンの操作はできません。
- 無線 LAN モードでご利用の場合、「ドライブモード」「非通知着信拒否」「電話帳登録外着信拒否」等の「着信拒否」の設定をしないでご利用下さい。
- N900iL にて通話を保留したまま圏外に移動した場合、それ以降の通話において音声が通らなくなることがあります。その場合は、N900iL の電源を入れ直して下さい。
- N900iL で「104」や「フリーアクセス」「フリーダイヤル」等の電話番号への通信では、PB 信号を送出することができません。
- N900iL から IP 電話をご利用すると相手先の IP 電話機により、正常な音声が出ない場合が有ります。必ず N900iL の「各種設定」→「ネットワーク設定」→「設定参照／変更」→「無線 LAN 暗証番号は？」→「共通設定」→「PowerSave 設定」を「OFF」にして下さい。
- 応答後転送で N900iL からグループ番号へ発信後放置した場合、３分後内線端末と N900iL の保留が解除され通話状態となります。グループ内線の TEL ポートの端末・N900iL の鳴動は停止しません。
- N900iL で外線通話（ISDN)を内線端末へ応答前転送すると、外線端末が保留音のままになります。着信した内線端末で応答すると通話可能ですが、呼出中に外線端末が回線を切ると内線端末が呼出状態のままとなります。また、このとき内線端末をオフフックするとビジー音が聞こえます。
- N900iL でパーク保留機能はご利用できません。その他、ボタン電話（IS）との仕様の差からご利用できない機能がございますのでご注意下さい。
- グループ着信でグループ内の端末がオフフックした場合、N900iL に「不在着信」の表示が残ります。

ワンポイント

- N900iL の電源を入れ直しするには、（☎ PWR HLD）を２秒以上押下します。

20.4. その他の注意点

- プレゼンス設定の「着信転送」（「17.5.2 プレゼンス設定」参照）は、IP 電話着信後の転送先が IP 電話番号以外（ISDN/PSTN/携帯番号等）は正常に転送できません。但し、ISDN 着信後の転送先には前記制限が有りません。
- ISDN 付加サービスのご利用の時は、「0000」を最初に付加して**下さい**。但し、発信者番号はグループダイヤルアウト番号に従わず､回線番号１から順番に空き回線を探して契約者回線番号で発信します。
- ISDN 付加サービスで「通信中着信通知サービス」をご契約の場合、ISDN 回線に空き回線が無い場合、新たな着信が有ると「故障トーキー」が流れます。解約を御願いします。(解約費用は無料です。)
- リダイヤル規制について、ISDN 回線への発信は同一回線番号に対して、3 分間に 3 回以上のリダイヤルは出来ませんのでご注意下さい。
- コールバック中継発信では 32 桁目のダイヤル押下で自動発信します。
- ボタン電話 IS では発信可能番号は 31 桁迄です。
- ISDN 回線へは初期のバージョンでは 31 桁迄発信可能ですが、32 桁迄発信可能になります。
- TEL ポートからは＃xxxx への発信はできませんのでご注意ください。
- MTU サイズの相違点があると、正常にご利用いただけない場合があります。

  データのパケットサイズ（MTU サイズ）・・・フレッツ・光プレミアム：1438Byte
  Ｂフレッツ　　：1454Byte
  本機初期値　　：1438Byte

  Ｂフレッツ等では、MTU サイズを 1454byte に設定して下さい。MTU の変更方法は、「7.2.2 接続先設定」と「7.2.3 接続先の追加／訂正」をご参照下さい。

- 内線設定済みボタン電話機（IS）と同じ内線番号に別の電話を内線設定する場合、設定済みのボタン電話（IS）を初期化してから（下記、ワンポイント参照）、「12 詳細設定」や「15 ボタン電話機設定（IS)」をご参照の上、個別に設定を行って下さい。

- ボタン電話機（IS）の初期化方法。
  １．電話機のLANケーブルを外す。
  ２．電話機の電源を切断する。
  ３．「確定」と「３」ボタンを同時に押下する。
  ４．電話機の電源を投入する。
  ５．「初期化」表示を確認する。
  ６．ボタンを離す。
  ７．しばらくすると、電話の単体初期化を完了します。
  ８．電話機にLANケーブルを接続する。

20.5. 内線機能について

- 「ピックアップ」

着信して呼出している端末を、呼出していない端末から横取りする機能です。ピックアップ操作は“＊＊”を押下します。ただし内線端末「TEL1･TEL2」や「NT ポート接続機器」からはピックアップは行えません。本機には、ピックアップには下記の機能が有ります。

《外線着信をピックアップする場合》

グループにダイヤルイン設定した電話番号で外線着信を受けた場合は、同じグループの内線端末のみが、ピックアップを行えます。

内線番号にダイヤルイン設定をした電話番号で外線着信を受けた場合は、その内線番号が属しているグループの内線端末のみが、ピックアップを行えます。(複数のグループに属している場合は、そのグループ全ての内線端末が対象になる)グループに属さない内線番号にダイヤルイン設定した電話番号で外線着信した場合は、他の内線端末からはピックアップは行えません。

《内線間着信をピックアップする場合》

内線間通話は基本的には全てピックアップできます。しかし、グループに属さない内線番号に着信しているものについては、ピックアップできません。

- 「自己保留」

通話状態のときに「保留ボタン」を押下する事で通話を保留にできます。再度「保留ボタン」を押下する事で保留を解除できます。

- 「応答後転送」

通話状態のときに、「保留ボタン」を押下し転送したい相手に電話をかけ、相手が出てからオンフックすることで、最初に通話していた相手と、転送をした相手とが通話状態になります。
ボタン電話 IS では、呼出放置して 200 秒経過すると呼出を停止してから「応答ボタン」を押下すると通話再開できます。
N900iL では、呼出放置して 200 秒経過すると保留を解除し通話を再開します。
但し、呼出中の中断は出来ません。

- 「パーク保留」

ボタン電話 IS 専用の機能です。通話状態にあるときにラインボタンを押下すると、その接続がパークボタンに保留され、全ての内線端末のラインボタンが点滅し共有される状態をパーク保留と呼びます。パーク保留された接続は、再度ラインボタンを押下する事で保留を解除できます。パーク保留後応答しない場合は 90 秒後に呼び戻しが有ります。但し、パーク保留している端末のスピーカがオンの場合、90 秒経過しても呼び戻しをせずに非保留側が BT になります。

※注意：既に点滅しているラインボタンには、保留することは出来ません。

20.6. 主な仕様

項目			サービス内容
回線側	ISDN側	適用回線	INSネット64（ISDN）
		インタフェース構造	2B+D（基本インタフェース）S/T点（TE動作）
		インタフェース形態 及びレイヤ１起動種別	P-MP呼毎（P-MP常時と接続可,P-P接続不可）
		ポート数	2ポート（TEボードを追加すると4ポートが可能）
		回線接続コネクタ	8pinモジュラージャック（RJ45）×2
		利用通信サービス	INSネット64（ISDN）　伝送速度：64Kbps×2ch
	WAN側		PPPoE,PPP
		インタフェース	IEEE 802.3/802.3u/802.3x準拠（10/100BASE-T/TX）
		ポート数	1ポート
		接続コネクタ	8pinモジュラージャック（RJ45）
		その他	10/100Mbps自動認識,Full/Half Autonegotiation機能
端末側	LAN側	インタフェース	IEEE 802.3/802.3u/802.3x準拠（10/100BASE-T/TX）
		ポート数	1ポート
		接続コネクタ	8pinモジュラージャック（RJ45）
		その他	10/100Mbps自動認識,Full/Half Autonegotiation機能、 Auto MDI/MDI-X機能
	TEL側	発信ダイヤル	PB（プッシュホン）
		ポート数	2ポート
		接続コネクタ	6pinモジュラージャック（RJ11）
		その他	約48V（無負荷時）、極性反転機能、ナンバーディスプレイ
	PBX側	適用回線	INSネット64（ISDN）
		インタフェース構造	2B+D（基本インタフェース）S/T点（NT動作） （Dチャンネル・パケット通信非対応）
		インタフェース形態 及びレイヤ１起動種別	P-MP呼毎（P-MP常時と接続可､P-P接続不可）
		ポート数	2ポート（TEボードに入れ換えるとPBXポートは無し）
		回線接続コネクタ	8pinモジュラージャック（RJ45）×2
		供給電圧	約40V（無負荷時）
VoIP機能	呼制御プロトコル		SIP
	音声圧縮方式		G.711(64kbps),G.729A(8kbps)
	その他機能（QoS）		音声パケット優先制御，WAN側上り帯域制御
その他	装備		状態表示LED×3,Web設定,
	操作部		電源スイッチ,設定初期化スイッチ
	電源	商用電源	AC100V±10%(50/60Hz)
	添付品		電源コード、取扱説明書、LANケーブル（ストレート）、ユーザー登録カード
	消費電力		約22W
	外形寸法		250mm(W)× 292mm(D)× 96mm(H)
	質量		約2.4ｋｇ
	使用環境		温度0～40℃　湿度20～80%（但し結露なきこと）

※　仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

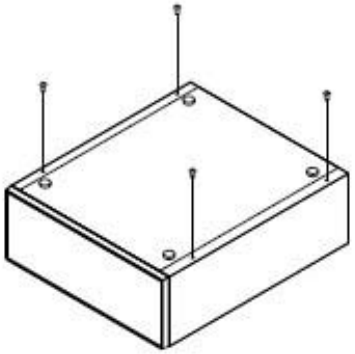
IPM30 本体への ISDN 基板の組み込み方法

本体へのISDNボード組み込み方法

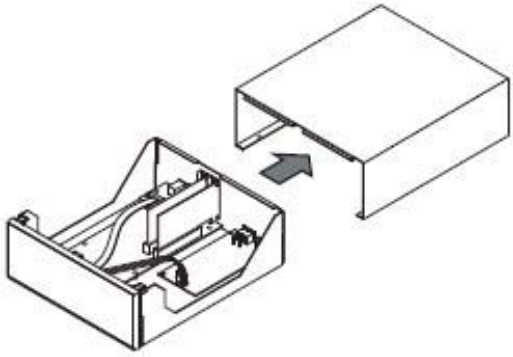
本体カバーの取り外し方法及び、ISDNボードの差し込み方法

標準装備のISDNボード(ISDN1,2)の取り外し、及びオプションのISDNボード(ISDN3,4)の取り付けは以下の手順で行ってください。

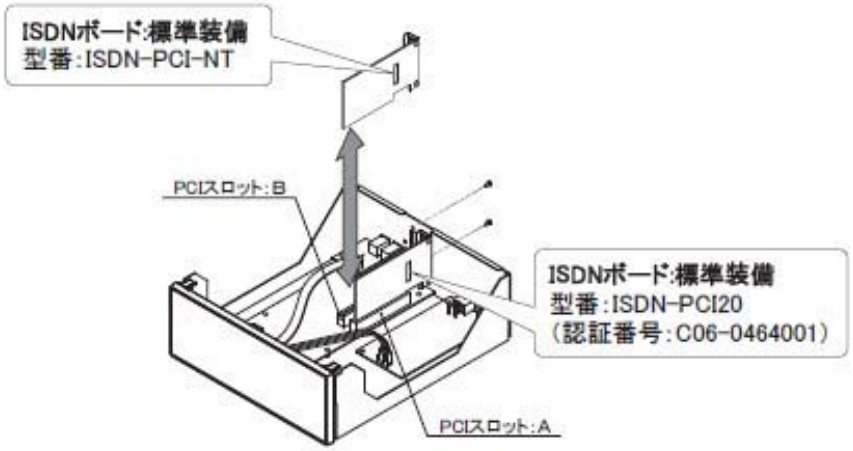
❶
本体のコンセントを抜き、底面のネジ(4ヶ所)を外してください。



❷
カバーを後方にスライドさせ、引き出してください。内部の基板が現れます。



❸
追加オプションに同梱の「ISDNボードの取り付け方法」に従い、ISDNボードを指定のPCIスロットに挿し込み、背面からネジで固定してください。



❹
ISDNボードが正しく接続されている事をご確認の上、筐体のカバーを閉めてください。

電源を入れてください。

ALEXON

保　証　書

機器名　　IPM30　　お買い上げ日　　年　　月　　日

製造番号　　保証期間　　お買い上げ日より１年間 有効

お客様	貴社名／ご芳名	
	ご住所　〒	
	部署名	ご担当者名
	ＴＥＬ	ＦＡＸ
販売店	店　名	住　所

保　証　規　定

◆ 保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、弊社が無償修理致します。

◆ 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ弊社に依頼して下さい。

◆ 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- 使用上の誤りおよび不当な分解や修理・改造による故障および損傷
- お買い上げ後の取付場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
- 本書のご提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 消耗品の交換

◆ お客様より、製品を発送いただく際の運送費につきましてはお客様のご負担とさせていただきます。予め、ご了承願います。

◆ 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

◆ 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
　この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※有償・無償にかかわらず、弊社では出張修理及び設置工事は行いません。

「免責事項」

- 自然災害及び当社の責任以外の事故、お客様の故意、過失、誤用等により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負わないものとします。
- 本製品の使用及び、使用不能から生じる損害（記憶内容の消失、事業利益の損失等）に関して、当社は一切の責任を負わないものとします。
- 本書及び取扱説明書の記載内容以外の使用方により生じた損害について、当社は一切の責任を負わないものとします。
- 当社が関与しない接続機器及びソフトウェア等との組み合わせ使用により生じた損害について、当社は一切の責任を負わないものとします。

株式会社 アレクソン

お問い合わせ先　サポートセンター　　伊丹　☎072-780-1101

受付時間：月曜～金曜　　9:20～12:00・13:00～17:00

（祝祭日、年末年始、弊社休日を除く）

http://www.alexon.co.jp/

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは、堅くお断りします。
本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

2007.01.12

TIM2095B